

第七十三回帝國議會
衆議院
國家總動員法案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
國家總動員法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月八日(火曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理事豐田 豐吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事宮脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事井阪 豐光君 理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

林 平馬君 眞鍋 儀十君

眞鍋 勝君 池田 秀雄君

小山 谷藏君 高橋壽太郎君

川崎末五郎君 長井 源君

河野 一郎君 小高長三郎君

泉 國三郎君 羽田武嗣郎君

濱田 國松君 河上 哲太君

熊谷 直太君 植原悦二郎君

猪野毛利榮君 牧野 良三君

若宮 貞夫君 岩元榮次郎君

坂田 道男君 藤本 捨助君

山崎 常吉君 清瀬 一郎君

守屋 榮夫君 三輪 壽壯君

淺沼稻次郎君 今井 新造君

三田村武夫君

同日委員坂田道男君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ木下成太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 米内 光政君

司法大臣 鹽野 季彦君

陸軍大臣 杉山 元君

農林大臣 伯爵有馬 頼寧君

商工大臣 吉野 信次君

鐵道大臣 中島知久平君

拓務大臣 大谷 尊由君

內務大臣 末次 信正君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 風見 章君

法制局長官 船田 中君

法制局參事官 森山 銳一君

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 橫山 勇君

企畫院書記官 內田源兵衛君

內務省警保局長 富田 健治君

陸軍參與官 比佐 昌平君

陸軍中將 山脇 正隆君

海軍參謀官 岸田 正記君

海軍少將 井上 成美君

司法省行刑局長 瀧川 秀雄君

司法省調查部長 井上 登君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

農林省蠶絲局長 細川 利壽君

農林省米穀局長 周東 英雄君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工書記官 波江野 繁君

拓務政務次官 八角 三郎君

拓務省管理局長 棟居 俊一君

厚生省勞働局長 成田 一郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍歩兵中佐 山之内二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 是ヨリ開會致シマス、藤本

君ニ質問ノ繼續ヲ許シマス

○藤本委員 極メテ簡單ニ商工大臣ニ二三

御尋致シマス、計畫經濟ハ統制法ト雙生兒

見タヤウナ關係ニアルノデアリマシテ、一方ガ生ズレバ必ズヤ他方ハ之ニ隨伴致スト云フヤウナ傾向ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ此統制法ナルモノガ「スムース」ニ行ハレル爲ニ、私ハ大體次ノ三ツノ限界ガ必要デアラウト思フノデアリマス、即チ統制トハ國家ガ或ル主義目的ヲ定メ、之ニ對シ國民ヲ強制スルノデハナク、寧ロ此主義、或ハ此目的ニ向ッテ、國民ガ進ンデ自發的ニ協力スルト云フヤウニ爲スベキデアル、第二ニ、隨テ統制法ハ國民ノ經濟生活ノ現狀ト懸離レテハイカス、即チ「ギャップ」ガアツテハイカス、若シ國民ノ經濟生活ノ現狀ト之ヲ、外的ニ規律スル所ノ統制法トノ間ニ「ギャップ」ガアリマスレバ、所謂人ハ何人ト雖モ、其力以上ニ義務付ケラレナイト云フ法的格言ニ矛盾致スコトニナルノデアリマス、是ハ或ハ法ノ解釋ニ依リ、或ハ刑罰ニ依ッテ補足スルトシマシテモ、是ダケデハ本當ニ國民ノ遵法精神ヲ、ソコマデ高メ得ナイト思フノデアリマス、故ニ統制法ヲ作ル場合ニハ、國民ノ經濟生活ノ現狀ト「ギャップ」ヲ餘リ作ッテハイケナイ、併シ必要ハ法ノ母デアリマシテ、國家非常時ニ際シ、其必要ガアル

ナラバ是亦已ムヲ得ナイノデアリマスガ、更ニ第三トシマシテ、經濟生活ソレ自體ニ固有ノ經濟法ガ内在シテ居ルモノデアリマス、即チ經濟生活或ハ經濟組織ノ内部ニ固有ノ法ガ内在シテ居ル、ソレヲ統制法ガ蹂躪シテハイカス、若シ蹂躪シマスナラバ、其經濟生活ナルモノノ自發的發達ハ望メスト思フノデアリマス、故ニ之等ノコトハ統制法ノ運用ニ際シテ、極メテ肝要ナル限界ト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ豫テ其御片鱗ヲ商工大臣ヨリ承ッテ居リマスガ、只今其全貌ト申シマスカ、御所見ヲ詳細ニ承ルコトヲ得マスレバ幸デアリマス

○吉野國務大臣 大體私モ御話ノ通りニ考ヘテ居リマス、唯自由主義ニ基キマシテ發達シタル現在ノ產業經濟デアリマスカラ、ソレガ國防經濟ノ見地カラ、其間ニドウシテモ「ギャップ」ガアルコトハ免レナイノデアリマス、其場合ニハヤハリ國防ト云フコトガ第一義デアリマスカラ、其見地ニ於キマシテ相當強力ナル統制ヲ國家ガ加ヘルト云フコトハ必要デアリマス、併シヤルニ付キマシテハ、今御話ニナリマシタヤウナ三ツノ點ハ、是ハ基本的ノ原則トシテ何處マデモ尊重シナケレバナラスト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○藤本委員 明快ナル御答辯ヲ得タノデアリマスガ、次ニ此法ノ適用サレル場合ヲ考ヘテ見マスルニ、國民ハ二十一條ニ依リマシテ、先ヅ職業能力ノ申告或ハ検査、更ニ第四條ニ依リマシテ徵用サレ、更ニ勞働條件ヤ、勞力ノ分配ニ付キマシテ統制サレ、隨テ或ハ居住移轉ノ制限ヲ受ケルト云フヤウナコトニ相成リ、或ハ又經濟人トシマシテ、或ハ經濟團體トシマシテハ、各産業部門別ニ、或ハ地域的ニ統制サレルカモ知レマセヌ、或ハ更ニ爲替管理、材料ノ割當、製品價格ノ統制、販路ノ統制、輸出入ニ付テノ禁止制限等ノ統制ガ考ヘラレルノデアリマス、其結果色々ナ群小ノ機關ノ濫立ガ統制命令ガ汎濫致ス譯ニナリマス、獨逸ニ會テ玩具ヲ賣リ其代價トシテ羊毛ヲ輸入致シ、其手續ヲ完済致ス迄ニ、大體六百八十ノ様式ヲ履ミ、而モ其手續ガ完了スル迄ニハ大體取引ヲ行ッテカラ、一年半掛ッタト言ハレテ居ルコトガアリマス、又或一ツノ取引ニ於キマシテ、四十ノ形式ヲ履ンダト云フコトモアルノデアリマシテ、統制命令ガ濫出致ス場合ニハ、必ズヤ斯ウ云フ結果ヲ見ルト思フノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ、大キナ會社ナラバ相當ノ専門家が居リマスカラ差支ナイカモ知

レマセヌガ、小會社ニナリマス、非常ニ困ルダラウト思フノデアリマス、或ハ又統制命令ガ朝令暮改致スト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、故ニ業者ノ此不便ヲ一掃致ス爲ニ、或ハ運用ノ能率ヲ擧ゲル爲ニ、事前ニ之等ニ對シテ相當ノ御準備ガアツテ然ルベシト思フノデアリマスガ、豫メ其御抱負ヲ承リタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 御話ノ通り統制ト云フコトハ、譬ヘガ惡イカモ知レマセヌケレドモ、泥田ニ足ヲ突込ムヤウナモノデアッテ、右ノ足ヲ突込メバ必ズ左ノ足ガ伴フ、左ノ足ヲ突込メバ右ノ足ガ伴フト云フヤウナ譯デ、御話ノ通りニ法規ダケデバラノニヤリマスト、雨霞ノヤウナ法規ガ必要デアルト云フヤウナコトヲ、各國ノ事例ニ於キマシテモ見テ居ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、斯ウ云フコトヲヤルニハ餘程注意ヲシナケレバナラズ、又日本ノ現狀ニ於テ、又國民性ニ於キマシテ、餘リ法規ヲ以テサウ云フ風ニヤルコトハ、私ハ適當デナイト思フノデアリマス、ソコデ此總動員法ノ十八條ニモゴザイマスガ、私ノ考デハ關係ノ者ガ同業者ト云フモノヲ、單ニ横ノ關係ノミナラズ縦ノ關係カラ、原料カラ生産ニ至リマスル迄全部ノ關係カラ、ソレモ今御話

ニナリマシタ通り、大企業モアレバ、中小ノモノモアル、サウ云フモノハ皆打ッテ一丸トシテ組合團體ト云フモノヲ作ッテ、是ガ國家ノ國策ニ順應シテ、寧ろ國ノ行政ト云フモノヲ斯ウ云フ團體デヤル、斯ウ云フ氣持デ其統制ノ計畫ヲ立テマシテ、原料カラ製品ニナリマスル迄ヤラセルト云フコトガ、私ハ必要ダラウト思ヒマス、サウシマスル爲ニハ、平時ノ準備トシマシテハ、大キイモノハ比較的差支ナイト思ヒマスケレドモ、中小ノモノニハヤハリ同業者ノ間ニ於テ、或ハ現在ノ法制ノ下ニ於テ工業組合ナリ、或ハ商業組合ナリ、貿易組合ト云フヤウナモノヲ作ラシテ、平時カラサウ云フコトヲスル必要ガアル、斯ウ思フノデアリマシテ、ソレニ關聯スル法ノ改正ナドモ、既ニ致シタモノモゴザイマスシ、又商業組合法ノ改正ハ今度ノ議會ニ御協賛ヲ願ッテ居ル、斯ウ云フ次第デアリマス

○藤本委員 統制ハ形式的ニハ法ニ據リマスガ、實體的ニハ、歸スル所戰時下ニ於ケル軍需、民需ノ程度ニ依存スルダラウト思ヒマス、而シテソレハ戰爭ノ程度、即チ戰爭ノ相手ニ依ル、或ハ戰爭ノ幅ニ依ル等色々アリマセウガ、併シソレヲ只今御尋スルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、併シ是ガ分ラ

ナケレバ、第一如何ナル種類ノ事業ヲ起スカ、或ハ如何ナル程度ニ事業ヲヤルカ、或ハ材料ヲドウスル、或ハ技能者或ハ職工ヲドウスル、或ハソレヲドウ云フ風ニ養成スル、或ハ豫算ガドウトカト云フコトハ決ラヌノデアリマス、豫算ヲドウスルカト云フコトガ決ラナケレバ實行出來ヌノデアリマス、故ニ斯ル見地カラシマシテ、此際軍需、民需ノ程度ヲ御聽キ出來ナイト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマス、併シ御聽キ出來ナイト云フコトト、軍需、民需ノ程度ガ大體分ツテ居ナイト云フコトトハ別デアリマスカラ、只今唯ソレガ分ツテ居ルカドウカト云フコトダケヲ承リタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 勿論此總動員法ハ軍需、民需ト云フコトヲ總テ考ヘマシテ、ドチラニ重點ガアルカト言ヘバ、軍需工業其モノヲ、此總動員法ニ依ツテ生産ヲ擴充スルト云フ方ニ重點ハナイノデアリマス、ヤハリ軍需、民需ト云フモノヲ、全體ヲ打ッテ一丸トシテ國民經濟ガ戰時ニ於テ運行ヲ滑ラカニスルト云フ所ニ重點ガアルノデアリマスカラ、御話ノヤウナ點ハ十分ニ計畫ヲ立テル譯デアリマス

○藤本委員 尙ホ此點ニ付キマシテハ、昨日議事ノ進行トシテ當ヲ得タ御依頼ガアリ

マシタガ、アレハ成ベク早く御聽カセヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ物價ノ統制ニ付キマシテ御伺致シマス、原料ニ付キマシテハ、政府ハ國家管理、即チ輸入ヲ獨占管理スル御意思ガアリマスカ

○吉野國務大臣 今ノ御尋ハ現在ノ事變ニ關スル御尋デアレバ、國デ只今管理スルダケノ考ハ持ッテ居リマセヌ

○藤本委員 現在デナイノデアリマス

○吉野國務大臣 將來ノ問題トシテハヤハリ事變ノ進展如何ニ依リマスケレドモ、重要ナ原料ニ付テハ或ハ國家管理、或ハ國家管理ニ準ズルヤウナ形態デ、詰リ當業者ノ間ニ先刻申シマシタ通り團體ヲ作ラセマシテ、實際ハ國ガ之ニ介入シテヤル、サウ云フヤウナ組織ガ、事變ガ大キクナリマスケレバ必要ニナルノデハナイカト云フヤウニ、私ハ考ヘテ居リマス

○藤本委員 若シ國家管理、或ハ輸入獨占ト云フヤウナコトガ行ハレヌトシマスケレバ、公定價格ノコトガ問題ニナリマス、ソレハ原料價格ニ「プラス」一定ノ利潤デアリマセウガ、其利潤ノ程度ニ依リマシテハ、其原料ニ依ッテ出來タ製品ヲ、國家ガ軍需品トシテ買フ場合ニ、其利潤ダケ國家ノ負擔ガ増大

致スノデアリマス、殊ニ戰費ノ増大ガ豫想サレマス時、サウ云フコトヲ考ヘマスケレバ初カラ國家管理、或ハ輸入獨占ト云フヤウナ御方針ヲ立テタ方ガ宜クハナイデセウカ

○吉野國務大臣 利潤ノ點ニ付キマシテハ、前會モドナタカノ御質問ニ對シテ御答致シマシタ通りニ、戰時經濟ニ於テハ、必要ナモノダケ入レルノデゴザイマスカラ、平時經濟ノ場合ノ如クニ、其物ヲ入レタ爲ニ萬一損ヲスルカモ知レヌト云フ危險ハ多クハナイ、ソレデスカラ利潤ノ觀念ハ、平時經濟ナラバサウ云フヤウナ損失ガアレバアリ得ルノデアリマスカラ、ソレヲ償フ意味ニ於テ、相當高イ利潤ト云フモノモ必要デアリマスケレドモ、戰時經濟ナラバ、其利潤ト云フモノハ平時經濟ヨリモ少クテ済ム、斯ウ云フ見地カラシテ國家管理ニシヨウ、或ハ國家管理デナシニ、當業者ノ團體的ノ自治的管理ニシヨウ、勿論利潤ト云フモノニ對シテハ國ガ相當ニ抑制シテ、平時考ヘルヤウナコトデナシニ出來ルダケ少ナキ利潤ヲ以テ、總テ物ヲ配給スルト云フヤウニヤラナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○藤本委員 製品ノ價格統制ハ生産費ガ基準ニナルデアリマセウガ、更ニドノ程度ノ利潤ヲ御考ヘナリマスカ、何レ公定價格ヲ、而モ最高ノ公定價格ヲ御定メニナルト想像スルノデアリマスガ、其生産「コスト」ヲ御定メニナル場合ニ業者ノ報告ヲ以テスルノデアリマスカ、ソレトモ特別ニ審査致シマシテ、大體ノ生産「コスト」ト云フモノヲ御定メニナルノデアリマスカ

○吉野國務大臣 價格問題ニ付キマシテハ色々アルノデゴザイマスカ、公定價格ヲ決メル場合モアリマスケレバ、或ハ關係ノ方デ價格ヲ公示スル——公定デアリマスケレドモ、國ガ入ラナイデ、或ハ届出ヲ以テ満足スルトカ、色々ソコニ段階ガゴザイマスカ、今御尋ニナリマシタ最高價格ヲ直接カ間接カ假ニ政府ガ決メル、サウ云フ場合ニハ勿論其生産費ト云フモノガ基礎ニナルノデアッテ、其場合ニハ現在ノ事情ヲ見ル、御承知ノ通り其生産費ニハ高イノモアリ低イノモアリ、甲乙ガアル譯デアリマスカラ、原則論トシテ一番高イ生産費ヲ標準トスルコトガ適當デナイコトハ、私が申上グル迄モナイノデアリマス、サリトテ一番安い極ク一二ノモノダケヲ以テ律スルト云フコトモ、亦適當デナイト思ヒマス、ソレデ其場合ニ應ジテ考ヘマシテ、標準ノ生産費ト云フモ

ノヲ決メマシテ、ソレニ依ッテ律シテ行ク、
斯ウ云フ考デアリマス

○藤本委員 配給上ニ付キマシテ、地域制
度デモ御採用ニナル御用意ガゴザイマスガ、
例ヘバ東京ノモノガ東京ニ出來ルモノヲ大
阪カラ買フ、大阪ニ居ッテ大阪デ出來ルモノ
ヲ東京デ買フト云フヤウナコトガ、實際ノ
取引關係上アルト思フノデアリマスガ、サ
ウ云フ場合ニ於テ輸送上ノ勞力ヤ、費用ヲ
節約致ス爲ニ、地域制度ト云フコトガ問題
ニナリマス、之ニ對スル御考ガアレバ只今
承ッテ置キタイノデアリマス

○吉野國務大臣 事件ガ大キクナレバ、勿
論サウ云フ配給管區ト云フコトモ考ヘナケ
レバナラスト思ッテ居リマス

○藤本委員 最後ニ今一ツ伺ヒマス、政府
ハ平時ノ體制ヲ戰時體制ニ移ス爲ニ、色々
ノ準備ヲナシ、又其必要ニ際シテハ急速ニ
之ヲ實行ニ移スデアリマセウ、併シ私ノ御
尋致シタイト思ヒマスノハ、戰時體制カラ
平時體制ニ引戻ス事ノ用意ニ付テデアリマ
ス、所謂戰後ノ經營ニ付キマシテノ御用意
ガ極メテ大事デアリマシテ、業者或ハ財
界人ハ、戰後ノ反動ヲ恐レマシテ、色々
積極的ニ協力致シタクテモ、敢テ爲シ得ナ
イカモ知レマセヌ、併シソレハ決シテ愛國

心ノ貧困ノミデハナイノデアリマシテ、戰
後ノ反動ヲ恐レテ敢テ積極的ニ出ナイノカ
モ知レマセヌ、故ニ平時機構ヲ戰時機構ニ
移行セシムル準備ノ必要デアルト同様ニ、
戰時體制ヲ平時體制ニ引降スト云フ準備モ
亦必要デアラウト思ヒマス、只今其御用意
ヲ承リタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 問題ハ御話ノ通り非常ニ
重要ナ問題デアリマシテ、物ニ依ッテハ色々
違ヒマスルガ、丁度今御話ノアリマシタ通
リニ、戰時ダケナラバ非常ニ景氣ガ宜シイ
ケレドモ、之ヲウカ／＼擴張致シマスと平
時ニハ困ル、ト言ッテ戰時ノ需要ヲ充足スル
上ニ於キマシテ、放任シテ置イテハ十分ニ
生産ガ擴張出來ナイト云フコトガ實際ニア
ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ適當ニ政
府ニ於テ其損失ヲ補償スルカラヤレ、或ハ
又其場合ニ、戰時デハ今斯ウ云フヤウニシ
テ居リマスガ、平和經濟ニナッタナラバスウ
云フヤウニ轉換スルノダ、ソレカラ今戰時
ノ必要デ斯ウ云フコトヲヤッテ居ルノダガ、
此政策ハ平和ノ經濟ニ於テモ續ケルモノデ
アルト云フコトヲ勿論考ヘマシテ、戰時經
濟ノ體制ト云フモノヲ整ヘルコトニ致シタ
イト思ヒマス、尙ホ其變リ目ニ付キマシテ
ハ、是ハ色々複雑ナ問題モゴザイマスガ、

歐羅巴大戰ノ實例ナドニ依リマシテモ、其
點ハ十分ニ考ヘテ混亂ヲ出來ルダケ來サナ
イヤウニ致シタイ、問題ハ非常ニ複雑デ重
要ナ問題デアリマスカラ、今此席デ箇々ノ
事ニ付キマシテ申上ゲルコトハ差控ヘタイ
ト思ヒマスケレドモ、ソレダケノ用意ハ十
分ナル積リデアリマス

○藤本委員 只今承リマシテ安心致シマシ
タガ、併シ十五條ノ規定ヤ其施行要項ニ依
リマスルト、唯拂下ノ場合ノ優先權ト僅ニ拂
下ノ報告トカ、手續位ノコトシカ規定シテ
ナイノデアリマス、併シサウ云フコトハ當
然ノコトデアリマシテ、決シテ特別ノ救済
トハナリマセヌ、惟フニ業者ハ政府ノ管理
ニ依リマシテ、或ハ事業ガ萎縮致スカモ知
レマセヌ、或ハ使用收益ニ依リマシテ得意
關係、或ハ取引關係ヲ喪失致シマシテ、再
起不能ニナルカモ知レマセヌ、サウ云フコ
トヲ考ヘマスルナラバ、戰後ノ經營ニ付テ、
今ノヤウナ御方針ノ下ニ御配意下サルコト
ガ極メテ肝要デアッテ、ソレハ同時ニ戰時ニ
於テ本法ノ運用ヲ非常ニ圓滑且ツ效果的
ニナラシムルコトト思ヒマス、特ニ御配意
ヲ煩シタイノデアリマス、私ノ商工大臣ニ
對スル質疑ハ是ダケデ打切りマス瀧總裁ニ
一二御尋致シタイト思ヒマス、先般來本法

律ノ運用ニ付キマシテノ機關ニ付キマシテ、
其大要ヲ承ッタノデアリマスカラ、之ニ付キ
マシテハ申上ゲマセヌ、併シ唯此法案ガ法
制化致シ、更ニ其適用ヲ見ル場合ニ、如何
ナル地域ニ於テ之ヲ實施致スカ、詰リ御尋
ハ總動員法實施ノ區域ニ付テデアリマスガ、
政府ハ之ヲ行政區劃ニ依ルカ、或ハ軍管區
ニ依ルカ、或ハ又特ニ御規定ニ相成ルカ、
御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○瀧政府委員 一寸御尋ノ意味ヲ取違ヘテ
居ルカモ知レマセヌガ、適用ノ地域ト申シ
マス、内地、外地ヲ問ハズ全部適用スル、
斯ウ云フ感じヲ以テ、今拜聽シテ居リマシ
タガ、サウ云フコトト違ヒマスカ

○藤本委員 全面的デアリマス、即チ内地
ハ内地、或ハ臺灣、朝鮮、南洋委任統治區
域或ハ關東州ト云ツタ風ニ御説明ヲ煩シタ
イノデアリマス……

○瀧政府委員 内地外地ヲ問ハズ、全面的
ニ適用致シマス

○藤本委員 ソレハ無論デアリマスガ、御
尋ハドウ云フヤウナ單位ニ分ケテ之ヲ適用
スルカト云フコトデアリマス

○瀧政府委員 色々管區ニ分ケテ施行スル
ト云フコトモ研究サレテ居リマスガ、詳シ
イコトハ他ノ方カラ御答致シマス

○青木政府委員 ヤハリ外地ニモ適用致ス

ノデアリマスガ、其際ノ執行官廳等ニ付キマシテハ、ソレノ從來ノ例ニ依リマシテ、外地ニ或ル程度委任スルヤウナコトニナルカト思ヒマス、物資ノ統制其他ニ付キマシテモ、ヤハリ實情ニ即シテ迅速ニ目的ヲ達スルヤウニ致ス必要上、御説ノヤウナ組織モ必要カト考ヘテ研究致シテ居リマス

○藤本委員 其制定ハ法カ勅令カデ以テ之ヲ致ス必要ハナイノデアリマスガ、例ヘバ行政區域ハ内地ニ於キマシテハ之ヲ法律デ、軍管區ハ之ヲ勅令デ規定シテ居リマスガ、總動員法實施ノ區域ハ法律ト勅令ノ何レニ依ルノデスカ

○青木政府委員 只今ノ所具體的ニ其處マデハ決メテ居リマセス、今後ノ情勢ニ應ジマシテ、サウ云フ組織モヤハリ考ヘナケレバナラスデハナイカト研究致シテ居ル次第デアリマス

○藤本委員 茲ニ聊カ關係ヲ持ツノデアリマスガ、現在ノ軍管區ハ、大體宇垣陸相時代ノ遺物ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、現在各地ニ於キマシテ非常ニ不便ヲ見テ居ルノデアリマスガ、此總動員法ヲ實施スル際ニ於キマシテハ、更ニ又今日以上ノ不便ヲ見ルデアラウト思ヒマスノデ、之ヲ改正

致ス必要ヲ御認ニナルカドウカ、軍ノ政府委員ノ方ニ御尋致シタイト思ヒマス

○山之内陸軍歩兵中佐 軍管區ニ付キマシテハ、今ノ所考ヘテ居リマセス、總動員ノ實施ニ付キマシテハ、是ハ國務ニ屬スル範圍デアリマシテ、國務ノ方ノ系統ニ依ッテ律セラレルモノト考ヘテ居リマス

○藤本委員 シカシ御承知ノ通り、現在ノ軍管區ハ例ヘバ一縣ガ三區位ニ分割サレテ居ルノデアリマシテ、非常ナ不便ヲ見テ居ルノデアリマス、故ニ此點ニ付キマシテハ將來又企畫院ニ於キマシテモ、適宜ニ御配意下サルコトガ非常ニ宜シイカト存ジマシテ、一言申添ヘタ譯デアリマス、私ノ御尋シタイト思ヒマスノハ、大體是デ終了致シマス

○小川委員長 河野君

○河野委員 商工大臣ニ前回ニ引續キマシテ少シ御尋シテ見タイト思ヒマス、昨日事務當局ニ、總動員法ト各種ノ統計ノコトニ付テ、事務的ニ御尋ラシタノデアリマスガ、私ノ想像通り生産、消費、配給ノ統計ニ付キマシテハ、確タルモノヲ御持合セナイノデアリマス、若シ總動員法ヲ實施致シマス際ニ、統計ヲ御持合セニナッテ居リマセヌデ、如何ナル尺度、如何ナル基準ニ依ッテ其政策ヲ遂行セラレマスガ、具體的ニ申上ゲマス

ト、例ヘバ今回ノ「ガソリン」ノ消費統計ヲ

ヤリマスニ付キマシテモ、相當ノ時日ヲ其調査ニ要スル、是ト同様ニ總テノモノニ付キマシテ、消費統計ヲヤリマス場合ニハ、消費ニ對スル目安ガナケレバ出來マイト思フ、其他總動員法ノ基準ト致シマシテハ、生産カラ消費マデラ大體見合セテ、之ヲ總動員體制下ニ置イテ然ルベク統制シテ行クト云フコトニナッテ居リマス、所ガ我國ノ現在ニ於キマシテハ、生産ノ統計ハ稍、或ルモノハ有ルト云フ程度デアルガ、消費統計ニ至リマシテハ、殆ド其モノガナイト云フ狀態ヲラウト思フノデアリマス、之ニ對シテ商工大臣ハ如何ナル御方針ヲ御持チデアリマスガ、御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、總括的御答辯ヲ伺ヒマシテ、進ン

デ御尋ラ致シマス

○吉野國務大臣 御尤ナ御質問デアリマシテ、消費ノ統計ト云フモノハ、多分昨日モ政府委員カラ申上ゲタト思ヒマスケレドモ、餘リ的確ナモノハナイノデアリマス、唯私共ノ總括的ノ考ハ、生産ガアリ、ソレカラ又輸入ガアリ、輸出ガアル譯デアリマスカラ、ソコヲ差引キマシタモノガ、即チ生産消費ニ向ケラレル譯デアリマス、唯實際問題トシテ其中間ニ、現在ノ配給組織ニ

於キマシテハ、商人ガソレヲ手持ラスル分量ガアル譯デアリマス、ソレガ景氣ノ如何ニ依ッテ始終違フノデゴザイマス、景氣ガ悪い時ニハ持ッテ居レバ損デアリマスカラ、手持ヲ少ク致シマスガ、景氣ノ好い時ニハ澤山抱ヘ込ム、併ナガラソレハ空ノ需要デハナク、ヤハリ實需ナノデス、其事ハ商工省

ノ調査ヲ致シマス時ニ、何時デモ惱マサレテ居リマス、其商人ガ景氣ノ如何ニ依ッデドノ位持ツカ、ソレヲ實需トシテドノ程度ニ見ルカト云フコトガ、生産ナリ、或ハ輸入ナリ、我ハ輸出ナリ、消費ノ計畫ヲ立テル時ニ困難ヲスル場合デゴザイマスケレドモ、其點ニ付キマシテハ、ドウモ現在ノ所、ソレヲ確メル方法ハナイノデアリマス、併シ大體過去何年間ト云フヤウナモノノ統計ヲズツト取ッテ見マシテ、生産ナリ、輸入ナリ、輸出ナリト云フコトカラ彈キ出シマス

ト、略、國內ノ消費ト云フモノガ、斯ウ云フ限度デハナイカト云フコトノ推測ガ付ク譯デアリマス、ソレデアリマスカラ大體ノ標準ニ依ッテ、消費ノ基礎ヲ測ルト云フコト以外ニハ方法ガナイノデアリマスカラ、サウ云フ方法ニ依ッテ現ニヤッテ居リマスシ、又將來モヤッテ参リタイト考ヘテ居リマス

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、

平時ノ商工行政ノ見透シトシマシテハ、ソレデ私ハ結構ダラウト思ヒマス、所ガ申上ゲル迄モナク、一朝有事ノ際ニ於キマス所ノ總動員態勢、是ハ申上ゲル迄モナク積極的ニ消費ノ制限ヲスルトカ、場合ニ依リマシテハ消費ノ制限ヲシテサウシテソコニ徒ニ混亂ヲ起サセナイヤウニスルトカ、又或ル部分ノモノヲ軍需ニ振向ケルト云フコトヲ積極的ニ早急ニオヤリニナル必要ガアル、早急ニ「カーブ」ヲ切ル時ニ混亂ヲ起サセナイヨウニスル、之ニハ相當ノ準備ガナケレバナラス、ソレニハ今仰セニナリマスヤウニ、生産ガアリ、輸入ガアリ、輸出ガアル、其殘リガ消費ダラウト云フ程度ノ目標デハ一寸尺度ニナラスト私ハ思フ、ト申シマスノハ、全國一圓ヲ睨ンデオヤリニナルナラバ是ハ宜シイカモ知レナイケレドモ、今商工大臣ノ答辯ハ、私ハ餘リ推測ガ過ギルカモ知レヌガ、唯全國ヲ睨ンデ之ヲ二割制限スレバ宜シイト云フコトデ、二割ノ目標ニ向ッテ進ムト云フコトニナレバ、要領ノ宜イ者ハ宜イガ、弱イ者、眞面目ナ者ガ非常ナ壓迫ヲ受ケ、迷惑ヲ蒙ムルト云フヤウナ公平ヲ缺ク場合ガ起ッテ來ルト思フ、同時ニ副作用トシテ投機ノ弊害ガアル、投機ト云ッタラ語弊ガアルカモ知レナイガ、

思惑ダトカ、投機ダトカ、手持ヲ増加スル、或ハ先高ニ向ッテ多分ナ物ヲ持ツト云フヤウナコトガ起ッテ來ル、現ニ今「ガソリン」デオヤリニナッテ居リマスヤウニ、二割制限シヨウ、三割制限シヨウト云フコトヲヤリマス爲ニハ、少クトモ今迄ノ過去ノ實績ヲ徴シテ、ソレニ依ッテヤルト云フ所マデ行ケバ、非常ニ公平デ圓滿ニ行クト思フ、ソコ迄ノ或ル程度ノ基礎ニナル數字ヲ御持合セニナルコトガ絕對必要ダト思フ、サウスレバ宜イノデスケレドモ、ソレデナシニ今ノ程度ノ御答辯デアリマスレバ、平時ノ商工行政ハ其程度デ、而モ堪能ナ方ガオヤリニナルナラバ宜イカモ知レナイガ、サウハ行クマイト思フ、是ハ現ニ商工當局ガ、各方面ニ非常ニ惱ンデ居ルカラ輕々ニ手ガ出セナイ、民需ニシマシテモ中々手ガ出セナイト云フノハ、ソコヘ來ルノデハナイカ、サウシマス、總テヲ勅令ニ讓ル、命令ニ讓ルト云フ迄ニシテ、早急ニ總動員法ヲヤレルヤウナ體制ニシテ置キマシテモ、結局ハ著手スル場合ニハ手間ガ取レル、ヤリ出セバ朝令暮改、ヤッタモノヲ、是モヤッテ見タガ拙イカラ、コッチヘ變ヘルンダ、アッチヘ變ヘルンダト云フ風ナコトニナッテ、益々混亂スル虞レガアルノデハナイカ、斯ウ云フコト

ヲ申上ゲテハ失禮デスガ、今回ノ事變デ吉野商工大臣ガ今マデオヤリニナリマシタ産業統制ノ結果ヲ見マシテモ、急ガズニデックリ考ヘテ、各種ノ情勢ヲ見定メテオヤリニナッタモノハ、割合ニ混亂モナク旨ク行ッテ居ル、所ガサウ云フ暇ナシニ急イデヤラナケレバナラスト追込マレタモノハ、目茶々々ニナル、デスカラ鐵ノ如キ方法デオヤリニナッタモノハ、其中間ニアッテ非常ニボロイ儲ケラスル奴ガアルト云フヤウニ、結果カラ逆ニ見マス非常ナ弊害、蹉跌、手違ヒガ起ッテ居ルヤウニ思フ、是等ハ一ニソレ等ノ調査ヲ爲シ、尺度ヲ持ッテオイデニナラヌカラ、思切ッテ乗出スコトガ出來ナイト云フコトニナルダラウト思フ、是ハ私ハ何モ議論シヨウト思フノデハナイ、其結論トシテハ相當思切ッテ調査費用ヲ御取リニナッテ、其準備ノ爲ニ調査ヲナサル必要ガアル、統計ヲ御作りニナル必要ガアル、斯ウ思フ、ソレナシニオヤリニナルコトハ非常ニ危險ダ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘル、是ハ同時ニ後刻農林大臣ガ御見エニナリマシタラ、農林大臣ニ一々伺ッテ見ヨウト思フノデスガ、今ノ商工大臣ノ御答辯デハ一寸諒解シ兼ねマスノデ、進ンデ一ツ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 其御尋ハ物ニモ依ルト思ヒマス、私ハ今平時ノ場合ノ大體ノ心組ヲ申上ゲタノデスガ、戰時デヤルト云フ時ニハ物ニモ依リマス、例ヘバ其物ガ軍需ニ非常ニ關係ガゴザイマシテ、軍需ノ方ニ兎ニ角、大部分凌ッテ行カレル、足ラヌ物ヲ補給スル場合ニハ國內ノ生産ハ間ニ合ハナイ、外國カラ輸入スル必要ガアル、サウ云フ場合デモ自ラ國際收支其他ノ關係カラ、外國カラ來ル物モ決ッテシマヒマスカラ、要スルニ無イ袖ハ振レナイ、ドンナコトヲシテモ民需ニナル物ノ分量ハ、是ダケシカナイト云フヤウナ場合モアリ得ル譯デアリマス、サウ云フ場合ニハ過去ニ於キマシテ、サウ云フ物ノ需要ガドウアラウトモ、場合ニ依ッタラ其半分或ハ六割モ制限ヲシナケレバナラス譯デアリマスカラ、問題ハ足りナイナラ足りナイデ宜シイガ、唯ソレヲ如何ニシテ公平ニヤルカト云フコトニ問題ガアル譯デアリマス、サウ云フコトヲヤル場合ニハ、現在モサウデアリマスガ、關係ノ消費ノ方面ノ人ヲ呼びマシテ、是ハ大キイ者モ小サイ者モ呼びマシテ、サウ云フ者ノ意見ニ依ッテ是ダケシカナイノダ、無イ袖ハ振レナイカラ、平生ノ場合カラ考ヘルトオ氣ノ毒ダガ、是デ以テヤッテ呉レヌカト云フヤウナ話合ヒ

デ、大體ノコトヲ決メルト云フ方針ヲ執ッ
テヤッテ居ル譯デアリマス

○河野委員 例へば綿絲ニシテモ、大キイ
者ハ相當ノ物ヲ持ッテ居リマスガ、小サイイ
ハ金ヲ出シテモ——商工省デ値段ヲ決メラ
レテ居ルガ、金ヲ出シテモ分ケテ呉レナイ
ト云フコトハ、私ガ改メテ申上ゲナクテモ、
現在ノ實情デス、ソレガ即チ大臣ガ仰シヤ
ル通りニ、人ヲ集メテ、無イノダカラ是デ
我慢ヲシロト仰シヤルガ、商工省ガチヤン
トシタ尺度ヲ持ッテオ居デニナラヌカラ、サ
ウ云フコトニナル、結局商工省ニ呼集メラ
レル程度ノ有力ナ者ハ、ソレデ宜イカモ知
レヌガ、ソコニ入ラナイ飾カラ落ちル連中
ハ、所謂小サイ大衆程迷惑スルト云フコト
ニナリハシナイカト思フ、ソコデ是ハ先程
申上ゲマスヤウニ、無イモノヲドウスルト
云フノデハナイガ、ドウシテモ是ハ統計ヲ
チヤントシテオ居デナサラヌト、小サイイ
ガ非常ニ壓迫ヲ受ケル危險ガアル、ドウシ
テモ目滯シニナル、小サイイ者ハ我慢シロト
云フコトニナル、何シロ時局ハ此際デアル、
今日ハ各方面各層ヲ通ジテ、大キナ者程非
常時ノ聲ヲ聞イテカラ得ラスル、大體有力
ナ者ガ儲ケテ、小サイイ者ガ犠牲ヲ拂ハサレ
ルノガ非常時ダト云フ氣持ガスル、時局ガ

重大ニナレバナル程、有力ナ者ハ重大ノ蔭
ニ隠レテ金儲ヲスル、所ガ小サナ當局ノ目
滯シニ合フヤウナ者ハ、事毎ニ壓迫ヲ受ケテ
居ル、是ハ商工省ガ品物ガ足りナクテ困ッテ
居ルモノ總テニ於テサウダラウト思フ、是ハ
甚ダ遺憾デアリマスカラ、此程度ノ時局デ
モ斯ウ云フ狀態デアリマスカラ、將來時局
非常ニ急迫致シマシテ、總動員體制下ト云
フコトニナレバ是ハ面倒ダラウト思フ、デ
アリマスカラ、ドウカ相當金ガ掛ッテモ此統
計ダケハ——主ナ我國ノ資源カラ想定致シ
マシテ、相當ノ見當ガ付クダラウト思フ、
ソレ等ニ付テハ常時統計ヲ取ッテ、サウシテ
其統計ヲ基礎ニシテ、一朝有事ノ際ニ、此
總動員法發動ノ際ニハ、斯ウ云フ目安デ行
クノダト云フコトガナケレバ、總動員法ノ
基準ガ立ツマイト思フ、唯行當リバツタリ
デ、其物ガ足りナクナツタラ業者ヲ集メテ
適當ニ我慢シロ、分ケロト云フヤウナコト
デハ、結局總動員法ヲ御出シニナッテモ、之
ヲ運行サレル尺度ト云フモノガナイ、基礎
ニナルベキモノガナイ、勅令ヲ書ケバ書ケ
マスケレドモ、勅令ヲ運用スル根幹トナル
ベキ、基礎トナルベキモノガナイト云フコ
トニナッテハ、唯之ヲオ役人ニ任セテ置クコ
トハ、今日ノ總テノ狀態ヲ一般民間ガ心配

致シマスヤウニ、ドウモ是ハ宜シクナイダ
ラウト思フ、ソレヨリ一定ノ據ドコロヲ作ッ
テ置イテ、其據ドコロニ依ッテ政府ハ公平
ニヤルノダト云フ所ニ、時局ヲ安定サスル、
社會不安ヲ除去スル根幹ガアルダラウト思
ヒマス、是ハ特ニ申上ゲテ置キマス、モウ
一ツ別ノ意味カラ考ヘタイコトハ、其一例
トシテ生絲ヲ取ッテ見マス、國內デ生産ヲ
非常ニスル、所ガ總動員法ガ發動サレルヤウ
ナ時局ニ於キマシテ、例へば國際關係ガ非
常ニ惡化致シマシテ、外國ニ賣レナクナッ
タト云フヤウナモノハ、一體ドウスルカ、
是モ結局サウ云フヤウナモノハ積極的ニ抑
ヘルダラウト思フ、總動員法ニ依ッテ、國內
ニ於テ必要ナル勞力ニ振替ヘル、總テノ設
備ヲ振替ヘルト云フコトハ無論總動員法デ
オヤリニナルト思フ、サウスルト第一番ニ
吾々ガ考ヘナケレバナラヌノハ、生絲、製
絲工場、養蠶業ト云フヤウナモノガ代表的
ニ問題ニナルダラウト思フ、是等ニ對シテ
ハドウ云フ方針デドウ云フ風ナ動向ヲ示
シテオヤリニナルノカ、農林大臣、商工大
臣御列席デアリマスカラ、一ツソレム御
話合ノ上デモ宜シイ、承ッテ置キタイト思ヒ
マス

○吉野國務大臣 今御話ニナリマシタ生絲

ト云フヤウナ平和産業、ソレガ戰爭ノ規模
ガ大キクナレバ其勞力ヲ軍需ノ方ヘ向ケル
ト云フコトモアリ得ルト思ヒマス、又程度
如何ニ依ッテハ、生絲ト云フモノハ農家ノ經
濟カラ云ヘバ非常ニ重要ナモノデゴザイマ
ス、デアリマスカラ戰時ノ場合ニハ縁ガナ
イト云ッテ放ッテ置ク譯ニイカナイト云フ他
ノ事情モアリマス、デアリマスカラ輸出ノ
先タル亞米利加ナラ亞米利加ニ、是ハ假設
デアリマスケレドモ事ヲ構ヘルト云フヤウ
ナコトニナレバ是ハ困ル譯デアリマスガ、
若シサウデナイト云フ時ニハ、サウ云フモ
ノハ又別ナ見地デ特ニ輸出ヲ獎勵スルト云
フヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌト思ヒ
マス、現ニ御承知ノ通り伊太利ハ「エチオ
ピア」戰爭ナドニ於キマシテハ、國家ガ法
律ヲ以テアノ伊太利ノ生絲ト絹織物ノ輸出
ヲ命ジテ居ル、損シテモ宜イ、損ハ國家ガ
補償スル、總動員法ハサウ云フコトモ考ヘ
テ居ル譯デアリマス、併シ又サウ云フコト
ガ出來ナイノダト言フ時ニハ、私ハ又國內
問題ト致シマシテモ、今日ノ情勢ニ於テハ
ソコマデハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、織
維ノ問題ニ付テ何モ苦シンデ窮屈ナコトラ
シテ棉ヲ買ッテ國內デ使フト云フコトノ必要
モナイ、サウ云フ考ヘ方モアルカモ知レヌ、

是ハ値段ノ問題モアリマスケレドモ、イザト云フコトニナレバ全部生絲ヲ自給自足ノ根本的ナコトマデヤラナケレバナラスト云フヤウナコトマデモ、戦争ノ規模如何ニ依ッテハ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、今御話ニナリマシタヤウナ點モ、其場合々々ニ依ッテ、ドノ方策ヲ執ルカト云フコトハ其時ニ決セラルベキ問題デハナイカト考ヘテ居リマス

○河野委員 一寸申上ゲテ置キ、タイデスガ、委員會ヲ通ジテ私ハ斯ウ云フ氣分ガスル、政府ノ方ハ議員ノ質問ニ對シテ、議員ノ方デ時局ヲ小サイヤウナ見方デ普通ノ立前デ質問ヲスルト、ドウ云フ大キナ時局ガ起ルカモ知レヌカラスト云フ立前デ答辯ヲサレル、コチラノ方デ大キナ時局ヲ想定シテ質問ヲスレバ、今度ハ小サナ時局ノヤウナ立前ニテ答辯ヲサレル、自分ノ都合ノ好イ方デバカリ答辯サレル、コチラデ質問スル者ガ想定スルヤウナ立前デ答辯シテ戴キマセヌト話ガ喰違ッテ困ル、私ガ今生絲ノ話デ御尋スルノハ、兎ニ角世界全部ヲ相手ニシテ戦ワスル最大難局ヲ想定シテ御尋シテ居ル、サウ云フ立前デ御尋スルノニ、亞米利加ニ輸出ガ出來ルトカ、輸出ノ積極的的命令モ出來ルト云フヤウナ考ヘ方、サウ云フ場

合モアルデセウ、併シサウ云フ場合ヲ想定シテ質問シテ居ルノデハナイ、ソレハ頭ノ良イ吉野サンハ御分リノ筈デアル、ソレヲ別ノ方ヘ持ッテ行ッテ答辯サレテハ困ル、ソレデハ審議ガ遅レルカラ、大體コチラノ聞イテ居ルヤウナコトニ合フヤウニ答辯サレテ戴キタイ、兎ニ角此間カラ御話ニナリマシヤウニ、非常ナ難局ヲ想定シテ此總動員法ヲヤル、サウ云フ場合ニハ生絲ガ外國ヘ賣レナイト云フコトヲ考ヘルコトモ出來ル、サウ云フ場合ニハ一體ドウスルカト云フコトヲ想定シテ御尋シテ居ル、所ガ生絲ハ纖維工業擁護ノ見地カラ、之ヲ國內消費ニ向ケテモト仰シヤルガ、是ハ暴論ダト思フ、ヤレバ出來ナイコトハアリマセヌガ、價格ノ點カラ行キマシテモ、物價ガ暴騰シ、綿絲類モソコマデ暴騰スレバ是ハ別カモ知レマセヌガ、ソコマデノ物價騰貴ヲ想定シテハ最早生活ノ安定ト云フコトヲ論ズル譯ニハ一寸行キ兼ねル、サウ云フコトモ考ヘラレナイコトハナイケレドモ、ソレデヤ國民生活ノ安定ト云フコトハ一寸「レベル」ヲ變ヘテ考ヘナケレバナラス、サウ云フコトハ一寸想像ガ付カヌ、今ノ想像トシテハ或ル程度マデ之ヲ下ゲナケレバナラス、下ゲテ參リマスト農家ノ收支ガ合ッテ來ナイ、是ハドウ

シテモ其努力ヲ他ニ振向ケルカ、其設備モ他ニ變ヘルコトヲ考ヘナケレバナラス、是ハ單リ生絲ダケデヤアルマイト思フ、養蠶業ダケデハナカラウト思フ、外ニモサウ云フ産業ヲ相當考ヘナケレバナラスト思フ、サウ云フモノニ對シテ豫メノ準備計畫、想定トカ云フモノハ一體御持合セニナルノデアリマスカ、ナイノデアリマスカ、總動員法ノ準備トシテハサウ云フコトハヤッテ居ルノカ居ナイノカ、如何デスカ

○吉野國務大臣 工業ニ付キマシテハ、ヤハリ平和産業ヲ戰時ノ場合轉換セシムルト云フコトハ相當準備ヲ持ッテ居リマス

○河野委員 其準備ハ今資源局、企畫廳アタリデ豫メ準備サレテ居ル、斯ウ云フコトニ吾々諒承シテ居ッテ宜シウゴザイマスカ

○吉野國務大臣 其通りデゴザイマス

○河野委員 ソレデハ一ツ、是ハ念ノ爲ニ承ッテ置キマス、別ニ是ガ國防上ニソナニ支障ガアルトハ考ヘナイノデ、軍需品ヲドウスルト云フ問題デモナイト思ヒマスカ

ラ、其計畫ノ一班ヲ御漏シ願ヒタイト思フ

○横山政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、生絲ハ戰時ニ於キマシテモ我國ノ産業上、殊ニ農村ヲ維持スル爲ニ非常ニ必要デゴザイマス、隨テ生絲ガ外國

ニ賣レナイヤウナ場合ニドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、出來ルダケ養蠶生絲等ヲ維持スルト云フ方針デ居リマス、而シテ之ヲ國內ノ需要ニ振向ケルヤウニ考ヘテ居リマス、値段ノ問題モゴザイマスガ、生絲ト「ステープル・ファイバー」ヲ混ゼルト云フヤウナコトニ依リマシテ値段ヲ幾分デモ下ゲ、成ベク之ヲ國內ノ需要ニ充テタイト考ヘテ居リマス、又其時分ニハ棉花ノ輸入ノ困難ナ場合ガゴザイマスカラ、全般ノ被服ノ原料ト致シマシテ出來ルダケ生絲ヲ使ヒタイ、ソレニハ今ノ「ステープル・ファイバー」ヲ混ゼマシテ値段ヲ下ゲルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、尙ホ軍用ニモ成ベク生絲ヲ使ヒタイ、軍用ニモ相當麻トカ棉花ヲ使フ物モゴザイマスノデ、幾分デモサウ云フ方法ニ依リマシテ生絲ノ需要ヲ維持致シマシテ、サウシテ農村ノ産業ヲ維持シタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○河野委員 御趣旨ノ程ハ大變吾々諒トスル所ガアリマスカ、今ノ御答辯デハ一寸満足致シ兼ねマスノデ、進ンデ御尋シマス、サウ致シマス問題ハ値段デス、農村ノ經濟ヲ維持スル爲ニ、生絲養蠶業ヲ其儘維持シヨウト云フ方針ハ承リマシタガ、甚ダ満足致シマス、併シ拵ヘタモノヲ、「ステープ

ル所ガアリマスカ、今ノ御答辯デハ一寸満足致シ兼ねマスノデ、進ンデ御尋シマス、サウ致シマス問題ハ値段デス、農村ノ經濟ヲ維持スル爲ニ、生絲養蠶業ヲ其儘維持シヨウト云フ方針ハ承リマシタガ、甚ダ満足致シマス、併シ拵ヘタモノヲ、「ステープ

ル・ファイバー」ヲ交ゼテ使ハセヨウト言ヘバ、何ヲドウスルヤウニスルト云フコトハ、是ハ命令デ書ケマスケレドモ、問題ハ幾ラニ賣レルカ、ドウ云フ風ニ捌ケルカト云フ問題デス、ソコデ一體ソレニ付テハドノ位ノ豫想計畫ヲ御持チデゴザイマスカ、「ステール・ファイバー」ヲドノ位交ゼテ、サウシテ幾ラ位ニ之ヲ賣リコナセルヤウニシテヤルカ、値段ガ下ツタ時ニハ、補償ノ方法ヲ探ルトカ、ソレトモドウ云フ方法ヲ探ルノデアリマスカ、其點ハ如何デアリマスカ

○横山政府委員 値段ノ點ハマダ十分ニ研究シテ居リマセス、從來研究中デゴザイマスガ、其點ハ甚ダ不十分デゴザイマス、今後十分ニ研究ヲシナケレバナラスト存ジテ居リマス

○河野委員 斯ウ云フコトヲ申上ゲテハドウモ甚ダ御無禮デゴザイマスケレドモ、ソコガ決ッテ居ラナケレバ、何モ私ハ調査モ研究モ出来テ居ラスト思フ、ソレハ吾々デモ其位ノコトハシテ戴キタイ位ノ希望ヲ持ッテ居ル、所ガ生絲ノ問題ヲ論ズル場合ニ、農家ノ經濟ヲ云々サレマス場合ニ、値段ノ點ニ付テ研究ガシテナケレバ是ハナイト同ジデス、ソレガアルカ、ナイカガ問題ノ岐レ目デス、拵ヘル方ハ何デモナイ、拵ヘサ

セラレテ、ソレガ適當ノ値段デ賣レルカ、賣レナイカガ問題ナンデス、百姓ト云フモノハ馬鹿ナモノダカラ、米デモ何デモ作レ作レト言ハレテ、政府ノ言ハレル儘ニ、獎勵サレル儘ニ、無暗ニ拵ヘテハ貧乏シテ居ル、拵ヘ過ギテ貧乏シテ居ルノハ百姓デス、生絲モ結構、養蠶モ結構デス、戰爭ニナッテモ其儘拵ヘサセルヤウニシタル、ソレ迄ハ大變有難イ御計畫デアリマスコトガ、幾ラニ賣レルヤウニシタルカト云フコトガナケレバ、是ハマルデ畫ニ描イタ牡丹餅ヨリマダ惡イ、是ハ一體ノ程度ニヤッテオ出デニナリマスノカ、一ツ商工大臣カラデモ「ステール・ファイバー」ノ方面カラ御答辯ヲ承リマセウ

○吉野國務大臣 今政府委員カラ申上ゲマシタノハ、ソレハ一體何圓何十錢デ賣ルカト云フヤウナコトニ付テハ調査ガナイノダ、斯ウ云フ意味ダラウト思ヒマス、併シ今河野サンガ御尋ニナリマシタヤウナ國家非常ノ場合デアッテ、ドウシテモ生絲ハ外ヘ出ナイノダ、而モ農家ノ經濟ト云フモノノ爲ニハ、ドウシテモヤハリ或ル程度ニ養蠶ナリ、製絲ヲ維持シナケレバナラスノダ、斯ウ云フ方策ヲ執ル場合、若シサウ云フ時ニ生絲ガ高クテイカスト云フナラバ、

私ハ其場合ニハ政府ガ補助金ヲ出シテ宜イト思フ、サウ云フ場合ニハ兎ニ角補助金ナリ、獎勵金ナリ出シテ、國內全體ノ國民經濟ガ動クヤウニシナケレバナラス、若シ其必要上國家ガ補助金ヲ出ス、是ハ國內ダケノ問題デアリマス、獎勵金、ソレダケデ動クノダ、ソレデ以テ農家經濟モ行クノダシ、サウシテ又一般ノ庶民モ補助金ト云フコトニ依ッテ、餘リ高クナイモノヲ着ラレルト云フヤウナコトデアアルナラバ、私ハサウ云フ場合ニハサウ云フ方策モ執ッテ一向差支ナイト考ヘテ居リマス

○河野委員 ソレハ大變結構ナ御答辯デス、結構ナ御答辯デアリマスガ、モウ一ツ御考ヲ願ハナケレバナラス、私ハ一例ヲ生絲ニ取ツタノデアリマスガ、サウ云フ事務局ガ起ツタ際ニ、國內デ餘ル産業ト云フモノニ對シテハ、大體補助金政策ヲ以テ立ツノカ、乃至ハ私ノ申上ゲマスノハ生絲ノヤウナモノハ、必シモ養蠶農家ニ生産制限ヲヤラスコトハ出来ナイ譯デハナイ、ヤラセルコトガ出来ルノデアアルカラ、之ヲ他ノ炭坑勞働等ノ方ヘ振向ケルコトガ徴用デハナイカト思フ、徴用ト云フコトハサウ云フ所ニ行クノデハナイカト私ハ想像スルノデアアルガ、サウ云フ想定ト云フモノハハッキリ分ッテ居ル

ノダカラ、非常ニ重大ナ時局ニナレバ、此養蠶農民大衆ノ方ハ、是ハモウ他ノ方ニ轉換シナケレバナラス、或ル程度マデサウスルノハ當リ前ダト思フ、サウスルニハサウ云フモノヲ何ニ振向ケルカ、其位ノ案ハ私ハアルモノダト思ッテ、所ガ其案ハアルノカト言ヘバ、生絲ハ其儘ヤラセルノダト仰シヤル、値段ハドウスルカト言ヘバ、値段ハ考ヘテ居ラス、商工大臣ハドウダト言ヘバ、是ハ補助金ヲ出シタラ宜イデハナイカト仰シヤル、僕ガ言ヘバサウ云フ答辯ヲサレル、ソレハ常識トシテハ國家ガ出スノダカラ其通りデセウ、百姓ガ食ヘナイト言ヘバ補助金ヲ出シタル、是ハ食ヘナケレバ補助金ヲ出シタル外ニ仕様ガナイ、ソレデヤ國家總動員ト云フモノハ何ノ爲メダ、總動員體制ト云フモノハ片方ニ努力ノ餘ル、不必要ナ産業ト云フモノヲ有效ナ産業ニ振向ケル、其計畫ヲ立デテ、其計畫ニ基イテ國家的ニ動カスノガ總動員法ダラウト私ハ思フ、ダカラ斯ウ云フハッキリシタモノニ付テハ、當然計畫ガナケレバナラス、ソレヲ何モ持タズニ此法律ヲ出スノハ私ハ面白クナイト思フ、法律ノ出シ急ギ、サモナケレバ今マデノ役人ノ懶ケデス、國家ガ其處マデ重大ニナッテ居ル時ニ、是非今マデニ是レ位

ノ計畫ハナケレバナラス、其計畫ナシニ法律ハ必要ダ、是デハ國民ハ困ルデハアリマセヌカ、大體ノ目安トシテ、サウ云フ際ニハ養蠶ハ大體下ノ位ニシナケレバナラスト云フ場合ガ起ルカモ知レス、國內産業トシテ此位ノモノハ想定スル、是ハ補助金デ是レ位デヤセル、所ガソレ以上ノモノハ餘ルカラ、其努力ヲドツチニ振向ケルカト云フ想定ガアツテ然ルベキダ、是ハ他ノ産業ニ付テ全部然ルベキモノデアラウト私ハ思フ、軍需産業ト平和産業ノ間ニ於テ、全部私ノ考ヘルヤウニ此法律ヲ見レバ書イテアルデハアリマセヌカ、餘ル努力ハ戰時産業ノ方ハ替ヘルト書イテアル、サウスルト是ハ恐ラク總テモノニ付テ案ガナイデセウ、一ツ突イテモモウ案ハアリマセヌ、是カラ考ヘルト云フコトニナルノデハナйкаト思フ、サウ言ハレテモ仕方ガナイデセウ、一例ヲ取ツタ養蠶ニ付テモ其通りデアル、ソレデハ甚ダ心細イデハアリマセヌカ、陸軍ノ方デモソレハ黙ッテ居ラレルカ、ダカラ陸軍ハ急ガレルノダト思フ、モウ少シ調子ガ合ハナケレバйкаス、陸軍ガ急ガレルノト外ノ官廳ノ調子ガ合ッテ行カナケレバナラス、今度ノ日支事變デモ其處ニアルト思フ、日支事變ガ起ツタ時ニハ、他ノ各省關係ノ方デ

ハ日支事變ナンカ夢ニモ知ラナカッタ、マルデ平和ノ方ヲ向イテ居ツタ、陸軍ノ方ハコッテヲ向イテ居ツタ、動向ガマルデ違ッテ居ルカラ、日支事變ガ起ツテカラ大慌テニ慌テナケレバナラスコトニナツタ、自分ノ方デ非常ニ慌テテカラ總動員法ヲ作ッテ、ヤレ總動員ダト云フ、國民ノ方ニハ日支事變ハチャント分ッテ居ル、知ラナカッタノハ政府ダケダト思フ、ソレハ本當デスヨ、ダカラソコヲ一ツ御考ニナラスト、今ノヤウナ手違ヒハ悉クノ問題ニ起ッテ來ル、總テノ産業ニ付テ十分御考ヲ願ハナケレバナラスト思フ、農林大臣ガ御出席デアリマスカラ、一ツ御聽キシタイ、商工大臣ニモ聽イテ置イテ戴キタイ、殊ニ軍ノ方モ居ラシヤイマスカラ、軍ノ人ニモ御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス、今回ノ事變ノ結果カラ致シマシテ、我國ニ於キマシテハ產馬計畫ニ付テ、相當長期ニ互ッテ政府、殊ニ陸軍ガ此計畫ヲ進メテ參ツタ、今回ノ事變ニ直面致シマシテ、其結果カラ見マスルト、實ニ不體裁極マル、アレダケ準備計畫ヲヤツテ參ツタ馬ガ、事變ノ結果カラ見テ實ニ不體裁極マル、サウシマスト、一體外ノ産業ニ付キマシテ、總動員法ヲ作リ、總動員體制ヲヤツテ置キマシテモ、今ノ政府ノヤラレマスコトデハ中々旨ク行カヌ

ト思フ、民間ノ協力ヲモウ少シ積極的ニ求メラレスト旨ク行カヌト思フ、言換ヘマシレバ、總動員準備ニ付テ、モット積極的ニ御考ニナラストイカスト思フ、此點ニ於テ非常ニ缺クル點ガアルト私ハ思フ、所ガ此總動員法ニハ準備ニ對スル規定方策ガ非常ニ薄イ、第一次ノ產馬計畫、第二次ノ產馬計畫ヲ御立テニナツタ所ガ、ソレダケ長年月ニ互ッテ相當ノ金ヲ使ッテ、サウシテヤツテ來タ、ソレガ一タビ支那事變ニナツタラバ國內ノ馬ノ値段ガ暴騰シテシマッタ、馬ガ足リナイト云フヤウナ、是ハ事實デスカラ、是等ニ付テ考ヘマスト、他ノ總テノ産業ニ於ケル總動員準備ト云フコトニ付テ餘程御考ヲ願ハナケレバナナルマイト思ヒマスガ、今度ハ一體ドウ云フ御決心ガアルノカ、ドウ云フ御覺悟ガアルノカ、一ツ率直ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○有馬國務大臣 平時ニ於キマシテ計畫ヲシテ居リマス只今御述ベニナリマシタ馬政計畫ノ如キモ、是ハ平時ノ計畫デアルト同時ニ、戰時ト云フコトヲ豫想シテヤツテ居ル譯ナノデアリマス、隨テ民間ノ所謂協力ヲ得テヤツテ居ッタノデアリマスガ、今回ノ戰時ニ際シマシテ、ソレガ十分ニ效果ヲ現ハサナカッタト云フ只今ノ御話ハ、或ル點ニ於テ私共認メルノデアリマス、隨テ國家總動員ノ體制デアリマスレバ、其國家總動員ノ體制ニ即應シテ、所謂平時ノ計畫ト云フヤウナモノモソレニ伴フヤウニ進メテ參リマシレバ、國家總動員ガ實際ニ起ッテ參リマシタ場合ニ、ソレニ差支ノナイヤウナ風ニ出來テ行ケルト思ヒマス、勿論平時ニ於テ民間ノ協力ヲ十分ニ得ナケレバナラスコトハ勿論デアリマスガ、サウ云フ方針デ進ンデ參リタイト思ヒマス

○河野委員 只今私ガ申上ゲマシタヤウニ、馬ノ計畫ハ軍ノ指導ノ下ニ農林省ガ主管致シマシテ、相當長年月ニ互ッテ有事ノ際ヲ想定シテ馬政計畫ヲ立テテ、サウシテ其計畫ニ基イテ相當ノ國費ヲ以テヤツテ來タ、所ガ此馬ガ足リヌコトハ事實デス、國內ノ馬ノ値段ガ倍位ニ騰ツタ、軍ノ方デモ非常ニ困ッテ居ラレルコトグラウト思ヒマス、是ダケノ計畫ヲ準備シテ來テサヘ此態デアリマス、サウスレバ總動員法ヲ作リマシテモ——總動員準備ニ付テ今一例ヲ馬ニ取ッテ、馬政計畫ト申シマスガ、產馬政策ニ取ツタノデスガ、他ノモノニ付キマシテハ其準備ニ關スル施設、準備ニ關スル經費ガ考ヘラレテ居ラス、サウシマスト、折角法律ヲ御作りニナリマシテモドウカト思フ、法律ノ

アルモノデサヘ其始末デアリマスカラ、何
トカ此處生産方面ニ於ケル方法ヲ一ツ考
ヘ直サストイカンノデヤナイカ、ソレハ平

和ノ時代ニ必要ナモノト、戦争ノ時ニモ必要
ナモノト同ジモノモアリマスガ、非常ニ違

フモノモアル、殊ニ馬ノ如キハ其一例デ、
普段ナラバ百姓ハ牛ノ方ガ宜シイ、牛ノ方

ガ農家經濟ノ方カラハ得ダ、所ガ戦争ノ時
必要ダカラ馬ヲ飼ヘト云フノデスガ、百姓

ノ方デハ得ナ牛ノ方ニ思ガ行ク、馬ノ方ニ
思ガ進ンデ行カス、是ハ當然デアアル、ソ

ナ牛ハコッチデイカン、平和ノ時代ニ於テハ
コッチガ宜イガ、戦争ノ時ニハ是デ行カナケ

レバナラスト云フヤウナモノハ、餘程政府ハ
思切ッテ、總動員準備體制ヲ作ル爲ニ努力ヲ

シナケレバナラス、所ガソレニ對シテドウシ
テモ思フヤウニ巧ク行カナイノデス、所ガ

總動員準備ニ對スル施設ト云フモノハ、總動員
法ト總動員準備法トガ竝行シテ行カナケレ

バナラス、而モ是ニハ豫算ガナイノデアリ
マスカラ、目的ヲ達スルコトハ非常ニ困難

ダト思フ、ソコデ政府トシテハ此總動員法
ヲ御考ニナルト同時ニ、之ニ對スル準備ト

シテ、積極的ニ生産擴充ニ付テ何等カノ方
策ガ御有リニナルノデスカ、ナイノデス

カ、是ハ考ヘナケレバイカント吾々ハ思フ

ガ、今マデノヤウナ「ビツチ」デ宜シイノデア
ルカドウカ、斯ウ云フコトヲ伺フノデス、

農林大臣ニモウ一遍御答辯ヲ願ヒタイ

○有馬國務大臣 只今御舉ゲニナリマシタ
馬政計畫ノ如キハ、御述ニナリマシタヤウ

ニ、非常ノ場合ニ於ケル軍馬ノ必要ト云フ
コトカラ、平素軍デ以テ全部ノ馬ヲ飼ッテ

置ク譯ニ行キマセヌカラ、隨テ農家ニソレヲ
飼ハセル、サウシテ戰時ノ場合ニハ、ソレ

ガ直グニ役ニ立ツヤウニト云フコトデ今マ
デヤッテ參ッタノデアリマスガ、今回ノ事變

ノ爲ニ、價格ノ上ノ變動デアルトカ色々ナ
關係カラ、今度ハ馬ヲ飼フヨリモ寧ロ牛ヲ飼

フト云フヤウナ傾向ガアル、サウ云フコト
デハ將來又有事ノ際ニ困ルカラト云フノ

デ、今後ハ馬ヲ飼ハスデ牛ヲ飼フモノニ對
シテ、馬ヲ飼ハセル爲ニハ相當ナ方法ヲ講

ジテ行カナケレバナラスコトハ勿論ダト思
フノデアリマス、隨テ國家總動員ノ爲ニ特

別ニ金ガ必要デアルコトハ勿論デスガ、ソ
レガナクテモ現在ノ計畫ト云フモノヲ進メ

テ參リマス上ニ、サウ云フ場合ヲ豫想シテ
行ケバ、現在ノ計畫デ其國家總動員ノ線ニ

沿ッテ計畫ヲシテ行ケバ、ソレデ行ケルノ
デハナイカト考ヘテ居リマス

○山崎委員 議事進行ニ付テ、簡單デ宜シ

ウゴザイマスカラ、此際發言ノ御許ヲ戴キ
タイト思ヒマスガ……

○小川委員長 山崎君

○山崎委員 先程ノ河野委員ノ政府陣ヘノ
質問ノ言葉ノ中ニ、百姓ハ馬鹿ダカラト云

フ御言葉ガアリマシタガ、アノ言葉ハ實ニ
不穩當ダト思ヒマス、是ハ委員長カラ河野

委員ニ命ジテ御取消ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、ソレハ過日ノ佐藤中佐ノ默レノコトニ

關シテ委員長カラ取消ヲ命ジタコトガアリ
マスガ、ソレヨリモ重イ意味ダト思ヒマス、

百姓ハ馬鹿ダカラト云フ、是ハ議員トシテ
使フベキ言葉デハナイト考ヘマス

〔意味ガ違フ〕ト呼フ者アリ

○西岡委員 只今河野委員ノ發言ニ對シテ
取消セト云フコトデゴザイマスガ、ソレヲ

取消シナサルカ取消シナサラヌカハ別ト致
シマシテ、此間ノ佐藤中佐ノ言葉ト同意

味ダト言ハレルコトハ全く違ヒマス、デス
カラソレハ別ノ意味ニ於テ、委員長ニ於テ

御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 只今私ニ對スル御注意デアリ
マシタガ、謹ンデ承ッテ置キマス、私モ自分

ガ百姓デスカラ、私ハ百姓ノ代表ヲ以テ終
始一貫シテ居リマシテ、他ノ代表トハ心得

テ居ラナイノデアリマス、私ハ百姓ガ皆集ッ

タ所デ口辯ノヤウニ、オ互ニ自分達ハ馬鹿
ダカラコンナ目ニ遭フノダト云フコトヲ言

フ、全國ノ者ヲ連レテ來テモ宜シイ、私モ

親代々百姓デ、百姓以外ノ何デモナイ、自

分ノコトヲ言ッテ居ル、百姓ハ馬鹿ダカラコ

ンナ目ニ遭フノダ、自分ハ自分デサウ信ジテ

居ル、サモナケレバ百姓ハモット良クナッテ

居ル筈デアアル、併シアナタカラ折角ノ御注

意デス、惡イト言ッテ褒メテ戴クノハ、自分

ガ褒メラレルヤウナ氣ガシテ有難イ、ソレ

ダケノ御親切ガアレバ農村問題ヲモット親

切ニヤッテ戴キタイ(山崎委員)何ヲ親切ニ

ヤルノダ、ソシナコトデ喧嘩ヲ賣ルノカ

ト呼フ)ソコ更ニ質問ヲ續ケマスガ、農

林大臣ニ更ニ御尋ヲ致シマス、ソレハ農產物

ト天災地變ノ事ニ付デアリマスガ、總動員

體制ヲ整ヘマスニハ、或種ノ物資ヲ國內ニ整

ヘナケレバナラス、所ガ一例ヲ米ニ取ッテ申

上デマスレバ、米ノ如クニ年々生産スルモ

ノヲ年々消費スル、一部分ハ政府ガ買上ゲテ

貯藏シテ居リマスケレドモ、是ハ平時ノ觀

念デヤッテ居ル、是ハ申上ゲル迄モナイ、所

ガ一朝有事ノ際ニ總動員法ヲ發動スルト云

フヤウナ際ニ、天災地變等ニ依リマシテ非

常ナ減收ヲ想定スルコトガ出來ル、非常ナ

生産減ヲ想定スルコトガ出來ル、サウ云フ

場合ニ對シテ、政府ガ總動員法ヲ御要求ニナリマスルナラバ、先ヅ其方面ニ於テ相當ノ準備ヲシナケレバナラスト思フ、即チ今マデナラバ平年持越シ五百万石トシマス、又當時政府ガ持チマス數量ヲ大體五百万石ト想定致シマス、其程度ノモノヲ政府ガ持ッテ居レバ宜シイト云フ觀念デ居リマスモノヲ、今度ハ總動員態勢ヲ整ヘテ行クノダト云フ際ニ於キマシテハ、之ニ對シテ平時ノ觀念ヲ變ヘテ掛ラナケレバナラスト私ハ思フ、申上ゲル迄モナク昨年ノ議會ニ於テ臨時米穀ニ關スル法律ヲ御出シニナリマシタノハ、是ハ今私ガ申上ゲル意味トハ違フノデス、ソコデ茲ニ私ガ農林大臣ニ御尋シタイノハ、此總動員體制ニ關聯シテ農産物ノ天災、非常ナル減收、減産ヲ想定致シマスコトニ對スル準備ヲ一體ドウ御考ニナルカ、準備ニ對シテ御考慮ガアルノカナイノカト云フコトヲ御尋シテ見タイト思フノデス、是ハ私ハ當然準備シナケレバナラストモト思フ、所ガ政府ノ方デハマダ準備ガ何等議會ニ出テ參リマセス、之ニ付テ一ツ御考ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○有馬國務大臣 只今ノ河野君ノ御述ニナリマシタコトハ、私共トシテ所謂非常ノ場合ヲ考ヘマス時ニ、一番考ヘナケレバナラ

ナイ問題ダト思ヒマス、食糧ノ獨立、食糧ノ充實ト云フコトハ、國家ノ非常ニ際シテ一番重大ナル關係ヲ持ツモノデアリマス、而モ日本ニ於テハ、御述ニナリマシタヤウニ災害ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ場合モ當然豫想シナケレバナライノデアリマス、唯サウ云フヤウナ場合ニドウスルカト云フコトヲ、今此處デ計畫ヲ立テ、其計畫ニ依ッテ進ンデ參ルト云フコトハ、實際上難カシイト思ヒマス、現在ノ平時ニ於ケル所謂食糧ノ準備ナリ、維持ナリト云フヤウナモノヲ、綜合シテヤッテ參リマス色々ナ法規色々ナ設備モアリマシガ、ソレニ依ッテ平時ニ於ケル計畫ヲシテ置イテ、ソレヲ實際ノ非常ノ場合ニ於テ十分ニ活用スル方法ト資金ガアリマスレバ、ソレヲ十分ニ活用シテ、非常ノ場合ニ備ヘルコトガ出來ルト私ハ考ヘテ居リマス

○河野委員 今ノ農林大臣ノ御答辯デハ少しシ工合ガ惡イト思フノデス、金ダケ持ッテ居ッテ、機關ダケアッテモ、天災、減收ト云フ時ニ、幾ラ金ト機關ガアッテモ是ハイカヌノデス、總動員法ヲ必要トスルヤウナ國情ニアルト云フコトヲ、政府當局ガ認識ナシマスル以上ハ、今年カラデモ、先ヅ餘ル年ニ之ヲ貯メテ置ク準備ヲシテ置クト云フコ

トヲナサル必要ガアルト思フ、サウシテ適當ナルモノヲ持ッテオ居デニナラナケレバ、總動員法ハ發動シタ、天災ニ打突カッテ、農産物ハ減收ダ、食糧ガ足ラスト云フ時ニハ、是ハモウドウシタッテ仕様ガナイ、是ハ他ノモノト違フ、商工關係ノモノトハ違ヒマシテ、是ハ「ステール・ファイバー」ヲ使ヘト云フ譯ニ行カヌノデスカラ、ソコデ豫メ準備ヲシテ持ッテ居ナケレバ駄目ナンデス、ソレヲ金ト機關ダケ持ッテ居テモ、是ハ何ニモナラス、當然速ニ總動員法ヲ要求サレルト同時ニ、米ナリ其他ノ食糧、農産物ニ付テハ特別ナル御考ヲ以テ、之ニ對シテ常時備荒貯蓄、貯藏ト云フヤウナモノヲヤラセマスカ、何等カノ方法ヲ御執リニナラナケレバナラス、積極的ニ御考ニナラナケレバナラスト思フ、サウシテ一朝有事ノ際ニ總動員體制ヲ整ヘルト云フコトデナケレバナラスト思フ、モウ一遍一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○有馬國務大臣 時局ニ關シマシテ、サウ云フヤウナ場合ニ——マア何年後ニト云フト語弊ガアリマスガ、今直グノ問題デハナイ、將來ニサウ云フヤウナ問題ガ起ル、又災害ト云フコトモ必ズ來ルト云フ譯デモナイノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ全然

困ライヤウニ、今カラソレダケノモノヲ整ヘテ持ッテ居ルト云フコトハ、是ハ私非常ニ難カシイ問題ダト思フノデアリマス、サウ云フコトヲスルノガ平時ノ産業上ニ於テ、惡イ結果ト云フコトハアリマセスガ、非常ノ場合ニ足リルダケノモノヲ平時ニ於テ整ヘテシマフト云フト、ソレガ平時ニ於テ却テ經濟上非常ニ困ルト云フヤウナ場合モ起ルト思ヒマスカラ、サウ云フヤウナ場合ニ大シテ不足ヲ來サナイヤウナ方法サヘ考ヘラレアレバ、其方ガ寧ロ宜イノヂヤナイカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマス、併シ只今御述ニナリマシタヤウニ、實際サウ云フヤウナ場合ニ遭遇シタ時ニ困ルト云フヤウナコトガアッテハナライノデアリマスカラ、ソレニ對シテ相當ナ考慮ヲ廻ラシテ、ソレニ對スル準備ヲスルト云フコトハ決シテ怠ッテ居ル譯デハアリマセスデ、今回ノ追加豫算ノ中ニ、吾々ノ考ヘテ居リマス一端モ現レテ居ルヤウナ譯デアリマス

○河野委員 少シ農林大臣ニ申上ゲテ置キタイノハ、農林大臣ハ總動員法制定ノ認識ガ少シ薄イト思フノデス、私等ト同ジ程度ノ認識ノヤウニ思フ、私等ハ總動員法ハソシナニ必要ヂヤナカラウト云フヤウナ氣持ガ實ハスルノデスガ、政府ノ方デ出サレル

カラ、出サレルニハドノ位ノ覺悟ガ政府ニアルカト云フノ御尋スルノデアリマスガ、實ハ農林大臣ノ所見ハ大體吾々ト同ジデス、併シ其程度ノ所見デヤイカヌラシイデス、

其程度ノ認識デヤイカヌラシイ、ドウシテモ陸軍、海軍ガ軍需トシテ糧秣廠アタリニ整ヘテ置クヤウニ、平時ニ於テ整ヘテ置カナケレバイカヌラシイ、サウ云フヤウニ

整ヘルコトガ總動員ニ對スル準備ナンデス、是カラノ戰爭ハ軍ダケデヤナイ、全國ヲ一丸トシタ國ト國トデアルノデスカラ、糧秣廠ダケ整ヘテ置イテモ駄目デアル、一般ノ國民ガ食フダケノモノヲ整ヘテ置カナケレ

バナラス、サウ云フコトニ私ハナルト思フ、ソコデ糧秣廠程ノコトハ要ラヌニシテモ、其規模ノ小サイヤウナ恰好デ天災地變ニ備

ヘル、飢饉ニ備ヘル、殊ニ壯丁ガ軍ノ方ヘ向フ、又工業ノ方ヘ向フノデスカラ、農村

勞力ガ非常ニ減退スル、其場合ヲ想定シナケレバナラス、デアリマスルカラ、常時ニ於テ或ル程度ノモノヲ貯ヘサセルト云フコト

ハ、是ハ絶對ニ必要ダト私ハ思フ、此認識ガ總動員ノ認識ダト思フ、是ハ一ツ農林大臣モ——モウ餘リソレ以上申シマセヌガ、御考ヲ願ヒタイ、是ハ同時ニ農村ニ取ッテハ非常ニ良イコトナンデス、サウ云フ總動員

ト農村ト巧ク結付ケレバ農村振興ノ一助ニモナルト思フノデ、是非此際御考ヲ願ヒタイ、積極的ニサウ御考願ヘレバ大變宜イト思フノデス

次ニ拓務大臣ガ御見エデスカラ、農林省ニ關聯致シマシテ、臺灣ノ米ノ專賣ノコトニ付テ一ツ御尋シテ見マス、昨年ノ秋カラ暮ニ掛ケテ、臺灣ニ米ノ專賣ト云フ問題ガ起ッ

タ、是ハ總動員法ト關係ガアルト思フ、臺灣ダケ專賣ヲヤルト云フコトハ一寸困ル、總動員法ヲ施行スルヤウナ情勢ニナリマス

レバ、國ヲ舉ゲテ國家的ニ統一ヲシナケレバナラス、其際ニ一部分デアル所ノ臺灣ガ或ル目的ノ爲ニ米ノ專賣ヲヤル、内地ト臺

灣ノ米ノ關係ニ於テ非常ニ支障ガ起ッテ來ルト云フコトガアルノデスガ、是ハ詳シク申上ゲルト長クナリマスカラ、拓務大臣ノ御所見ヲ質シテカラ申上ゲタ方ガ宜イト思

フ、拓務大臣トシマシテハ、將來臺灣ニ内地トハ單獨デ米ノ專賣ヲヤル御考ガアリマスカ、アリマセヌカ

○大谷國務大臣 臺灣ノ米ノ移出ニ關スル法律ヲ作ルコトハ、臺灣ダケノ考デヤッタノデアリマス、此總動員案ト云フモノノ提出以前ニ計畫サレテ居ッタモノデアリマス、此總動員案ガ出來上リマスレバ、日本ニ取り

マシテモ、食糧問題ト云フコトハ非常ニ重要ナコトト思ヒマスカラ、是ト關聯致シマシテ、ヤハリ相當考慮シナケレバナラナイト思ヒマス、總動員法ハ外地ニ於キマシテモ、内地ト同様ノ步調ヲ以テ進ミタイト存ジテ居ルノデアリマスカラ、此法案ノ通過ノ上ニ於テハ農林當局ナリ、或ハ關係各省ト協議ノ上デ、臺灣ノ米ノ問題ニ付テハ十分ニ考究致シタイト存ジテ居リマス

○河野委員 簡單ニ御尋致シマスガ、十分ニ考究ダケデナシニ、總動員法ガ通過致シマスレバ、外地ニ於テモ是ト同様ニ御進ミニナル、是ハ勿論ノコトト思フ、サウ云フ

際ニ於テモ臺灣單獨デ從來御考ニナッタ米ノ專賣ヲヤルヤウナ傾向デ御進ミニナルカナラスカ、其必要ナシト云フ風ニ御考ニナルカナラスカ、斯ウ御尋スルノデス

○大谷國務大臣 是ハ平時ノ問題ト戰時ノ問題ト、兩方ニ付テ十分考慮シテ行キタイト思ヒマスノデ、法ヲ立テマス時ニモ、ヤハリ戰時ノ場合ニハドウト云フコトヲ拵

ヘテヤラナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○河野委員 ソレハ時局ノ認識デスガ、私達ハ此法律ガ出來レバ、此日支事變中ニ於テ、既ニモウ一部適用サレルコトニナッテ來

ルト思ヒマスノデ、サウ云フ風ナ平時戰時ト云フ言葉デー——ソレハ十年先、五十年先ノコトヲ言ヘバ平時戰時デスガ、差當リサウ云フ風ナ認識ヲ持ツ必要ハナイ、唯念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、此間臺灣デ御考

ニナッタ米穀政策ヘ、内地ノ農民ヲ壓迫スルコトガ非常ニ大キイ、斯ウ云フ風ナ總動員體制ヲ施行致シマス際ニ、同ジ國內ニ於テ、外地ノ政策ガ内地ノ農民ヲ壓迫スルコ

トガ非常ニ大デアルト認識サレルモノハ、御止メニナッテ欲シイ、斯ウ云フコトヲ吾々ハ内地ニ居リマス農業團體長會議決メタ、サウ云フ風ニアノ政策ハ吾々ニハ非常ニ迷惑ダト、農業團體長會議決メテ致シマシテ

決メタノデアリマシテ、ソレハ臺灣ノ當局ニモサウ申上ゲテアル、所ガ其時ニハ中々ソレニ應ズル氣配ガナカッタ、其後ドウ云フ譯デ今年ハ御延シニナッタカ私ニハ分ラヌ

ガ、總動員體制下ニ於テハ甚ダ宜シクナイト思フ、其點ヲ拓務大臣ニモ特ニ御考ヲ願ヒタイ

更ニ進ンデ御尋シマスガ、今ノ米ノ問題ニ關聯致シマシテ、臺灣デハ米ヲ移出ノ方面ニ於テ專賣ヲスル、ソレデ儲ッタ金ヲ他ノ産業ノ振興、農業ノ振興ニ充テルト云フヤ

ウナ御考ノヤウデアル、是ノ善シ惡シハ別

ト致シマシテ、其産業政策ノ上ニ於テ、今マデノヤウニ臺灣デ物ガ餘計取レルカラ、其餘計取レル物ヲ臺灣デヤラセル、例ヘテ申シマスレバ砂糖ガ非常ニ儲カル、ソコデ一時ハ砂糖會社ノ手先デハナイカト云フヤウナ非難ガ内地ノ方カラアツタ、サウ云フコトハ別ニシマシテ、砂糖ハ非常ニ儲カルカラ砂糖ノ方ヲヤラセルト云フコトデハ、今日ノ時局柄イカスト思フ、ソレハ内地、外地、滿洲、支那ヲ打ッテ一丸トシタ日本ノ統制アル産業計畫ヲ立テ行カナケレバイカスト云フ時世デアリマスノデ、ソレニ合致致スヤウナ農業指導計畫ヲ臺灣、朝鮮ニ於テハ御立テテ願ヒタイ、從來ノヤウニ一視同仁ト云フヤウナ言葉デ内地ノ農業政策、外地ノ農業政策ノ間ニ議論ノアルコトハ、吾々ハ避ケタイト思フ、今迄ノヤウニ一視同仁ト云フヤウナ言葉デ、朝鮮ノ米ノ政策、臺灣ノ米ノ政策ヲ論ゼラレルコトハ、此總動員體制下、非常時下ニ於キマシテハ止メマシテ、サウシテ産業の見地カラ全部ヲ統制スル産業指導方針ヲ立テル、ソコデ臺灣ニ出來ル品物デ是非國家トシテ必要ナル物ヲ臺灣ニ作ラセル、朝鮮ニ於テモ同様デアル、ソレハ而モ内地、外地ノ農民生活ニ於テ摩擦ヲ起サヌヤウナ立前デ、儲カルト

カ、儲カラヌトカ、損ダトカ、得ダトカ云フ、サウ云フ觀念ハ第二義的ニシテ考ヘナケレバナラヌモノダト私ハ思フ、サウ云フ觀念ニ於テ米穀政策モ片付ケマス、内地モ外地モ片付クト思フ、其認識ガ是非必要ダト思ヒマスガ、拓務大臣ノ御所見ハ如何デスカ

○大谷國務大臣 御説御尤デアリマシテ、

私モ其點ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ臺灣ト申シマスレバ氣候ハ温カデアリマシ、日本内地ニ於テ出來ナイ物、例ヘバ苧麻デアルトカ苧麻デアルトカ、サウ云フ臺灣デナケレバ出來ナイト云フ作物ハ、國策上カラ成ベク獎勵シテ行キタイ、サウシテ内地デ何處デモ出來ル物ハ成ベク臺灣デハ避ケテ、臺灣デナケレバ出來ナイ物ヲ多ク作ッテ行キタイト云フ目的ヲ持チマシテ、臺灣ノ重要産業ニ關スル調査會ノ豫算モ、先般豫算ノ中ニ組入レテ御願シテアルノデアリマス、之ヲ以チマシテ統制アル指導的ノ産業計畫ヲ立テ行キタイト存ジテ居ルノデアリマス、内地ノ農民ヲ壓迫スルヤウナ氣配ノアル物ハ成ベク避ケテ、内地デモ何處デモ出來ル品物ヨリモ、國家的ニ見テ臺灣デナケレバ出來ナイト云フヤウナ品物ヲ、段々作ッテ行キタイト考ヘテ居リ

マス

○河野委員 大變結構ナ御意見デ、是非其通りニヤッテ戴キマスレバ、從來農村問題トシテ懸案デアッタモノハ全部片付クト思フ、一ツ拓務大臣御忘レナク其方針デ、特ニ斯ウ國民總動員ノ際ニ、懸案事項ノ御解決ヲ願ヒタイ

更ニ進ンデ御尋シマスガ、從來往々ニシ

テ肥料政策ニ致シマシテモ、其他ノ政策ニ於キマシテモ、内地ト外地トノ間ニ歩調ガ合ハナカッタコトガ多イ、所ガ總動員ヲ施行致シマス際ニ、内地外地ノ間デ斯ウ云フ風ナ歩調ノ合ハナイ問題ガ起ルト非常ニ困ルト思フ、ソコデ拓務大臣ハ總動員法ノ機構トシテハ、朝鮮臺灣ヲドウ云フ風ニオヤリニナル御積リデスカ、何カ企畫院トノ間ニ計畫ノ御打合ガアルカ、朝鮮臺灣ニハドウ云フ風ナ機關ヲ作ッテ、此總動員法ニ、内地ト共ニ順應シテ行キヤウニナサル御積リデアルカ承ッテ置キタイ

○大谷國務大臣 外地ニ於キマシテモ總

動員法ハ、内地ノ總動員法ヲ其儘適用シテ行キタイト存ジテ居リマス、中ニハ地方々々ノ特別ノ事情ニ依リマシテ、其内容ニ少シク變ハルヤウナ所ガアツテモ、大體ニ於テ同ジ方針ニ於テ、其總督ガ責任ヲ持ッテ之

ヲヤッテ行クト云フ方針ヲ採リ、サウ云フ機構デ行キタイト存ジテ居リマス

○河野委員 總督ノ責任ニ於テオヤリニナルコトハ結構デスカ、アチラニハ企畫院モ何モナインデスカ、其機關ハ今現在アリマス機關其儘デオヤリニナルノデアリマスカ、別ニ何カ作ルノデスカ、ソレハドウナリマスカ

○大谷國務大臣 内地ノ機關ト連絡ヲ取リ

マシテ、サウシテ向フノ機關ヲ充實サセテ行ッテ、十分私ハヤッテ行ケルト存ジテ居リマス

○河野委員 充實サセルトハ何處ヲ所ヲ

充實サセテ、ドウ云フ機關デオヤリニナルノデアリマスカ

○大谷國務大臣 必要ニ應ジマシテ致シテ

行キタイト存ジテ居リマス

○河野委員 必要ニ應ジテト申シマス、

ソレハモウ此法案ガ通レバ直グ必要ニナル、所ガ豫算ハ見受ケラレナイ、充實ト仰シヤルガ、朝鮮ノ豫算、臺灣ノ豫算ヲ見テモ、ソレニ類スル豫算ハナイ、是ハドウ爲サルカ

○大谷國務大臣 ソレハ全部此法案ガ發動

サレル譯デアリマセヌノデアリマスカ、之ニ對スル豫算ト云フモノハ、別ニ取ッテ居

リマセスデゴザイマスガ、總督府ニ於キマシテモ、多少ノ豫備費ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレデ補償致スコトガ出來ルト思ヒマス

○河野委員 ソレハ餘リニ答辯ガ拙イデス

(笑聲)サウ云フコトデハ一寸工合ガ悪い、サウ總動員ヲ輕ク御扱ニナッテハ總動員ハ通りマセヌ、ソシテニ總動員ハ輕イモノデハナイ、又豫備費デ簡單ニ御扱ニナレルヤウニ御考ニナッテハ、拙イデス、ソレハ内地ノ方デス、内地ノ方デハ總動員ヲ發動シテ、補償スルニハ極ク當座ハ豫備費デヤルト言フノデスガ、ソシテ人件費マデ豫備費デヤルト云フヤウナコトハ言ッテハ居リマセヌ、ソレハ今準備ガナイカラ後カラ取ルト云フヤウニ御答辯ニナル方ガ宜イト思フ、充實ヲ致シマスト仰シヤッテ、一方ニハ金ガナイ、ソレデハ非常ニ困ル、臺灣、朝鮮ニ於テハ内地ノヤウニ統計モナケレバ準備モ大體ナイノダカラ、ソレガ簡單ニ行ケルモノデヤナイト思フ、殊ニ精神總動員其他ニ、特別ナ御苦勞ガアルコト考ヘマス、餘程御決心ヲ願ハナケレバ内地ト調子ガ合ッテ行クマイト思フ、ソレ等ニ付テ今ノヤウナ御話デハ、中々ソレハ旨ク行クマイト思フ、是ハ殊ニ外地ノ方ハ、特別ニ前衛ニナッテヤ

ラウト云フヤウナ覺悟デナケレバナラナイ、今ノ拓務大臣ノ御認識デハ吾々非常ニ遺憾ニ堪ヘヌ、是ハ事務當局ノ方カラ、モウ少シ明確ナ御答辯ヲ願ッテ置キタイト思フ

○大谷國務大臣 私ノ答辯ガ洵ニ至ラナイノデ、御叱責ヲ蒙ッタノデアリマスガ、外地ニ於キマシテモ、十分出來得ルダケノ準備ヲ致シテ、此總動員法ノ實施ニ當ラナケレバナラナイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員 出來ルダケノ準備ヲシテデハ

ナイ、モウ準備ガシテナケレバナラスト思フ、此法案ヲ御出シニナッテ、議會ヲ通レバ、四月カラ其準備ヲヤラレルノダカラ、來年度ニ豫算ヲ御取リニナラナケレバイケナイ、準備ガスッカリ出來テ居ナケレバナラス、所ガ法律ノ方ト準備ノ方ト調子ガ合ッテ居ナイ、外地ダケ悪いノデハナク、内地モ同じデス、準備ヲ十分致シマスト仰シヤルガ、政府ガ準備ヲスルト云フコトハ豫算ヲ取ルト云フコトデスガ、豫算ハ何處ニモ出テナイ、豫備費デヤルト云フ御答辯ハ感心セヌ、事務ノ方ニサウ云フコトガアレバ承リタイ、ナケレバ承ラヌデモ結構デス

○棟居政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ、吾々ノ所デ承知致シテ居リマスル範圍ニ付テ御答申上ゲマス、總動員法案ガ成立

致シマシテモ、直グ是ガ全部發動スルモノトハ、吾々ノ方デハ考ヘテ居リマセヌノデ、隨テ之ヲドウ云フ風ニ實施スルカト云フ機構ノ問題ニ付キマシテハ、内地ノ方ノ機構ト外地ノ方ノ機構ト、十分ニ統一アル連繫ヲ立テナケレバナリマセヌノデ、内地ノ方デ決リマシタ立前ニ即應致シマシテ、外地ノ方モソレニ應ズルヤウナ機構ヲヤッテ行キタイ、例ヘバ米ノヤウナ問題、一般ノ食糧品ノヤウナ問題、或ハ船舶管理ノヤウナ問題、或ハ貿易ノ管理ノヤウナ問題、サウ云フ風ニ全國ヲ一丸トシテ統制スルコトニナルト思ヒマスガ、外地ニハ綜合行政ノ立前ガアリマスカラ、全然内地ト一本ノ調子デ全部之ヲ統制スルト云フコトニ付キマシテハ、多少考慮スル點ガアリマスノデ、樺太、南洋等ニ付キマシテハ、是ハ事情ガ大分違フト考ヘテ居リマスガ、朝鮮、臺灣ノヤウナ、相當強力ナ總督政治ヲ布イテ居リマス場所ニ付キマシテハ、或ル程度マデハ總督ニ權限ヲ與ヘマシテ、朝鮮、臺灣等ノ事情ニ最モ適切ナル運用ヲシテ行クト云フコトガ穩當デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、其點ヲ内地ト十分ニ統制ノアル步調ヲ以テ進ミツ、モ、一方外地ノ事情ニ適應致シマシタヤウナ運行ヲ致シテ行キタ

イ、斯様ニ考ヘテ居リマス、完全ナ一元ト云フコトニハ、或ハ行カナイカモ知レマセヌガ、方向ト致シマシテハ固ヨリ綜合的ニ、統制的ニ進ンデ行ク積リデアリマス、機構ノ點ニ付キマシテハ、豫算ガナイデハナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、之ヲドウ云フ風ニヤッテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、企畫院ノ方デ御研究中デアラウト思ヒマスガ、或ル程度ノ案ハ出來テ居ラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス、外地ノ方ニ付キマシテモ、同様ニ豫算ハ取ッテ居リマセヌ、併シ是ガ實行サレル場合ニハ、適當ノ方法デ豫算ガ當然取レルコトと思ッテ居リマス、マダ具體的ニ幾ラノ豫算ヲ取ッテ居ルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○眞鍋委員

議事進行ニ付テ發言ヲ求メマ

ス、只今河野君ノ質問ニ對スル拓務大臣ノ御答辯ハ、側デ聽イテ居リマシテモ、他ノ大臣ノヤウニ胡麻化シノ利カナイ御方デアルダケニ、正直ニ御答ニナッテ居リマスガ、閣内ノ御打合せガ付イテ居ラヌ爲ニ、御苦シミノヤウデゴザイマスカラ、御引上ゲニナリマシタラモウ一遍御相談ノ上、河野君ノ質問ニ對シテ諒解ノ行クヤウナ御答辯ノ御打合せヲシテ、其後ニシテ戴キタイト思

ヒマスノデ、河野君ノ質問ハ今ノ點ヲ除イテ、他ノ點ニ付テノ質問ヲ御進メ願ヘレバ結構ダト思ヒマス

○小川委員長 ドウデスカ、河野君、マダ質問ハ澤山アリマスカ

○河野委員 マダアリマス

○泉委員 議事進行ニ付テ……此問題ハ十二時ニナツタ各派トモ相談スルコトニナツテ居リマスカラ、此程度デ午前中ノ質問ハ御打切願ヒタイト思ヒマス

○小川委員長 ソレデハ是ニテ休憩致シマス、午後二時ヨリ開會致シマス

正午休憩

午後二時二十四分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス——河野君

○河野委員 私ハ數日來政府ニ向ヒマシテ本案ノ重要性ニ鑑ミテ、色々ナ角度カラ御尋ヲ致シタノデアリマスガ、當局ノ御答辯ヲ承リマス、私ノ質問致シマシタ範圍ニ於キマシテハ、頗ル用意不十分、調査不徹底、全ク何等ノ確信ヲ得ルコトモ、諒解ヲ得ルコトモ出來ナイノデアリマス、此儘現在ノ情勢ニ於キマシテ質問ヲ續ケマシテモ、私ノ是ヨリ聽カントスル所ニ向ッテ御答ヲ願ヒマスコトハ、唯同様ナ狀態ヲ繰返スバ

カリト考ヘルノデアリマス、政府當局ニ於

カレマシテハ、委員會ニオ出デニナラナカッタ方モ多イノデアリマスガ、閣僚初メ其他

關係官ニ於カレマシテハ、速記録ヲ十分御讀ミ下サイマシテ、今マデ政府ノ答辯ノ不

徹底デアリマシタ點、又不十分デアリマシタ點、是等ニ關シマシテ更ニ調査ヲ進メラ

レ、研究ヲ進メラレテ、然ルベキ機會ニ於テ是非御答辯ヲ願ヒタイ、特ニ農林、商工兩

省ノ關係、即チ産業ノ關係等ニ於キマシテハ、例ヘバ總動員體制ヲ作ルニ致シマシテ

モ、其準備ニ於テ全ク缺ケル所ガアル、總動員法ガ通過致シマシテ愈、其體制ヲ整ヘ

ルト致シマシテモ、唯法律ガアルダケデアッテ何等ノ效果ハ擧ゲラレナイ、一朝有事ノ

際ニ眞ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガアルト思フノデアリマス、形ヲ作りマシタ所ガ、内容

ハ實ニ空疎ナモノニナルト云フコトハ明カデアリマス、隨ヒマシテ私ト致シマシテハ、

他ノ委員諸君ノ質問モ十分アルコトト考ヘマスノデ、殘餘ノ質問ハ各委員ノ質問ノ終

了致シマシタ最後マデ留保致シマス、特ニ其意味ニ於テ政府ニ於キマシテモ、ソレマ

デノ間ニ十分ニ研究ヲ重ネラレマシテ、御答辯ヲ賜ランコトヲ御願致シマス、私ハ左

様ニ委員長ニ於テ御取計ヲ願ッテ、質問ハ一

先ヅ中止致シマス

○西岡委員 議事進行ニ關シマシテ簡單

ニ……

○小川委員長 西岡君

○西岡委員 質問者ハマダ二十五六名殘ッ

テ居リマス、今マデ終了致シマシタノガ僅ニ七名デアリマス、吾々ハ出來ルダケ此法

案ニ對シテハ慎重審議デ臨ンデ居ルノデアリマスガ、又今河野君モ言ハレマシタヤウ

ニ、マダ腑ニ落チナイ點ガ多アルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ委員ダケト政

府側トノ懇談會ヲ催シテ、「フリー・トーキング」ノ形式ニ於テ十分意ノ在ル所ヲ承ッテ

見タイト思フノデアリマス、昨日宮脇委員カラモ發言ヲ致シマシテ、政府モ秘密會ヲ

開イテ、其秘密會ノ席上ニ於テ、政府トノ間ニ胸襟ヲ披イテ語ルト云フ言明ヲ致シテ

居ルノデアリマス、ソレデ其懇談會ヲ秘密會ト致シテ、何時開クカト云フコトハ、西

尾君ノ質疑ヲ終リマスレバ大體一巡致スノデアリマス、其機會ヲ以テ懇談會ヲ開イテ

戴キタイト思フノデアリマスガ、政府ニ於カレマシテハ此懇談會ノ席上ニ於キマシテ

ハ、十分吾々委員ノ納得ノ行クダケノ御説明ノ御準備ト、御用意ヲ願ッテ置キタイノデア

リマス、其コトヲ豫メ政府ニ希望致シテ

置キマス、其何時開クカニ付テノ吾々ノ希

望トシテハ、質疑ガ一巡致シマシタ機會ガ、最モ適當ナル時デアルト思フノデアリマス、

ケレドモ政府ノ準備モアリマセウカラ、委員長ニ於カレマシテ然ルベキ機會ニ於テ、

其措置ヲ御執リ下サランコトヲ希ッテ置キマス

○小川委員長 今西岡君ノ御話ニナツタコトニ付キマシテハ、政府ト能ク相談致シマシテ、ソレカラ後ニ何レ申上ゲタイト思ヒ

マス——作田君

○作田委員 私ノ質問ハホンノ僅力數點ニ過ギナイノデアリマス、數點デアリマスル

ガ、問題ハ今マデ一二回ノ關聯質問ニ依ッテ御尋シテ、其御答ガ明瞭ヲ缺イテ居ル點モ

含マレテノ話デアリマスカラ、極メテ簡單デアリマスガ、尙ホ時間ヲ節約スル意味

ニ於テ、私ノ本案ニ對スル態度ヲ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ私モ大體國家

總動員法ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、是ガ第一點、第二點ト致シマシテハ、委任

立法ノ増加ト云フモノヲ認メル者デアリマス、時代ノ要求ハ委任立法ガ段々殖エルデ

アラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯本案ガ如何ニモ廣汎デアリ、深刻デア

ル所ニ疑問ガアルノデアリマシテ、何モ彼モ

勅令ニ讓ルト云フコトガ、憲法違反デアルコトハ申ス迄モナイノデアリマシテ、ソレニ近クハナイカト云フ所ニ憲法論ガアルト、私ハ考ヘテ居ル、私ノ憲法違反ニアラズヤト考ヘル點ハ、即チ此點デアリマス、ソレカラ又屢、論議サレマシタ國民ノ不安ト云フコトデアリマスルガ、國民ノ不安ノ點モ亦此處ニアルノダト考ヘテ居ルノデアリマス、何ヲサレルカ分ラヌ、是ガ即チ國民ノ不安デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ大體此二點ガ一番大キナ疑問ダト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ本法ヲ運用スル組織及ビ作戰用兵トノ關係、及ビ議會トノ關係、斯ウ云ツヤウナコトニ付テ、之ヲ明ニシテ戴イテ贊否ヲ決シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ立前デ御話スルノデアリマスルカラ、政府ニ於カセラレテモ、左様ナ限ラレタル意味ニ於テ、御答辯ヲ御願致シマスレバ、頗ル圓滿簡單ニ進行スルト考ヘテ居ルノデアリマス、順序ト致シマシテハ本案運用ニ對スル組織ト云フモノガ、一番大切デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、是ハ總理大臣、陸軍大臣ノ御臨席ヲ願ハネバ、行掛リ上能ク分ラヌト思フノデアリマシテ、ソレカラ順次御尋シテ行クト云フコトガ、本法ノ疑問ヲ明ニ

スル上ニ於テ、最モ宜シイカト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、政府ノ御都合ニ依リマシテ出來マセヌノデ、遺憾ナガラ斷片的ニ御聽キ致シマスルガ、私ノ大體ノ考ヘ方ト云フモノガ、其處ニアルト云フコトヲ御含ミヲ願ヒタイノデアリマス

第一ニ伺ヒタイノハ、本法第一條ニ戰時及ビ戰時ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ムト云フ文字ガアルノデアリマスガ、此戰時竝ニ戰時ニ準ズベキ事變ノ場合ト云フノハ、如何ナル場合ニ其始期及ビ終期ガ確定スルノデアルカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○瀧政府委員 戰時宣戰ノ布告ガアツタ場合ニハ、是ハ明瞭デアリマス、宣戰ノ布告ノナイ場合ニ何時事變ガ始マルカ、斯ウ云フ御尋ト諒解致シマスガ、其時ニハ政府ニ於テ御裁可ヲ經テ、之ヲ明ニスルコトナ

ルダラウト思ヒマス、是ガ事變ノ始マリデス、終リハ如何ニスルカト申シマスレバ、是モヤハリ御裁可ヲ經テ終期ヲ決定致シマス、然ラバ何等カ、其處ニ客觀的事實ハナイカ、斯ウ云フ問題ニナリマス、是ハ過日ノ議會ニ於テモ問題ニナツタコトト記憶シテ居リマスガ、客觀的事實ガ現レテ來ルト思ヒマス、即チ相手國トノ間ニ協定ガ成立スルト云フモノツノ事實ダラウト思ヒ

マス、ソレカラ又用兵ノ狀態ガ、平常ニ復シタト云フヤウナ事實ノ現レタコトモ、是モ客觀的事實ノ一ツダト思ヒマスガ、斯ノ如キ事實ノ發生ノ下ニ、御裁可ヲ經テ時局ノ終期ヲ決定スルコトト相成リマス

○作田委員 宣戰ノ布告ガアリ、講和條約ノ成立ト云フコトガアレバ、ハッキリシテ居ルト思フノデアリマス、戰爭ニ準ズベキ事變デアリマスルガ、今ノ御答辯ハ何處カラ出テ來ルノデアリマスカ、單ニ此内閣ノ御決メニナツタコトデアリマスルカ、何カ據ルベキ根據ガアルノデアリマスカ

○瀧政府委員 是ハ方針デアリマス

○作田委員 今次事變ニ付テ見マシテモ、始マリハ申ス迄モナク現地解決、不擴大ト云フコトガ、今日見ル如キ大事變ニ迄發展シテ居ルノデアリマス、而シテ今日南京ハ陷落シ、一部ノ軍隊、更迭シテ居ル、此事實ヲ前ニシテ、尙ホ政府ハ長期抗戰ト云フコトヲ力説高調シテ居ラレマス、本法ノ發動ハ憲法第二章ノ臣民ノ權利義務ニ關スル重大問題ヲ處理スル爲ニ發動スルノデアリマスカラ、其發動ヲスル前提トシテ、戰爭若クハ戰爭ニ準ズベキ茲ニ確定シタ法律的時間ガアツテ、然ル後尙又必シモ是ハ發動スルノデハナイ、勅令ニ依ッテ各、施行時期ヲ御決

メニナル段取ニナツテ來ルダラウト思フノデアリマスガ、少クトモ本法發動ノ前提トシテ宣戰ノ布告ニ該當スルガ如キ、茲ニ大キナ認定ト云フモノガ現ハレテ來ルノデアリマス、其大キイ認定、謂ハバ憲法ノ第二章ノ權利義務ニ重大ナル影響ヲ及ボスベキ認定ト云フモノヲ、今ノ政府ハ勅裁ニ仰グト云フ御話デアリマスガ、他ノ政府ハ何等據ル所ナク、勅裁モ仰ガズ、獨斷專行ニ依ッテ之ヲ御決メニナルト假ニシマシテモ、如何ナル形ニ於テ之ヲ公布サレルカ、私ハ押問答ハ致シマセヌガ、簡單明瞭ニ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、樞密院官制ヲ見マス、其第一條ニ「樞密院ハ天皇親臨シテ重要ノ國務ヲ諮詢スル所トス」斯ウ書イテアリマシテ、其第六條ノ第三號ニ「憲法第十四條戒嚴ノ宣告同第八條及第七十條ノ勅令及其他罰則ノ規定アル勅令」ト書イテアルノデアリマスガ、此憲法第十四條戒嚴ノ宣告ハ、恐ラクハ國內ノ一部ニ限ラレタル場合ガ多イノデアリマシテ、近キ例ハ大震災デアリマス、斯ウ云フヤウナ一部ノ限ラレク期間、限ラレタル場所ニ於テ行ハレル戒嚴ノ宣告ガ、樞密院ニ於テ諮詢サレルト云フコトニナツテ居ルノデアアル、宣戰ノ布告ハ大權ノ發動デアリマスカラ、是

ハ論議スベキ限デハアリマセヌガ、此程度ノ低イ戒嚴ノ宣告ガ、樞密院ニ諮詢サレルコトニ確定シテ居ル、然ルニソレヨリモ數倍若クハ數十倍シタ所ノ此事變ト云フモノノ認定ヲ、一内閣ガ獨斷デヤルト云フコトハ不安ガアリハシナイカ、政府ハ樞密院官制第六條ヲ改正シテ、本法ニ關スル前提トシテノ戰爭ニ準ズベキ事變ノ認定ト云フモノヲ、樞密院ニ諮詢スル意思アリヤ否ヤ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○瀧政府委員 政治的ニ輔弼ノ責任ヲ持ツ内閣ガ、全責任ヲ以テ當ルベキモノト信ジテ居リマス

○作田委員 ソレハ御答トシテハ一應宜カラウト思ヒマスガ、唯今申上ゲル戒嚴ノ宣告ト、是ト凡ソ樞密院ト云フモノヲ置イテ之ヲ諮詢スルト云フ立前カラ行キマシテ、ソレヨリ程度ノ低イ戒嚴ノ宣告ヲ御諮詢ニナリ、ソレヨリモ程度ノ高イモノヲ斯ウ云フ内閣ノ獨斷專行ニ依ッテ決スルト云フコトハ、立法トシテ適正ナリヤ否ヤニ付テ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○瀧政府委員 只今御答シタ通りノ立前デ考ヘテ居リマス

○豐田委員 委員長、關聯シテホンノ一言……

○小川委員長 豐田君

○豐田委員 只今瀧總裁ノ御言葉ニ依レバ、宣戰ノ布告ヲ以テ戰爭ノ開始ト云フコトデアリマシタガ、一應御尤デアリマス、併シ過去ノ實際ニ顧ミマスト、「ヘーゲ」條約締結前ニ於テハ、殊更ニ其狀態ガ濃厚デアッタノデアリマスガ、「ヘーゲ」條約ニ於テ明ニ宣戰布告ヲ以テ開始スルコトニハ條約上ナッテ居ルニ拘ラズ、實際問題トシテハ、宣戰ノ布告ヲ爲サザル前ニ戰爭ヲ既ニ開始サレルノデアリマス、サウスルト、本法ノ初期ハ一體何處カラ始マルカ、其一點デス

○瀧政府委員 御言葉ニ付テ二様ノ意義ヲ私感ズルノデアリマス、第一點ハ事變ノ初期ハ何時カト云フ意味ト、本法發動ノ初期ハ何時カ、斯ウ云フ風ニ聞エマス、サウシテ事變ノ始リハ御裁可ヲ經テ、政府ノ責任ヲ以テ内閣決定シマス、斯ウ云フ御答ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、本法發動ノ初メハ何時カ、斯ウ云フコトニナリマスト、是ハ其時期ヨリ少シ前ニ發動スルコトモアリマス、ト申シマスルノハ、政府ノ方針ガ既ニ本法發動ノ準備ノ必要アリト斯ウ感ズル場合ニハ、「戰時又ハ事變ニ際シ」ト云フ、「際シ」ノ意味ガ少シ事變決定ノ、即チ御裁可ノ以前ニ發動スル必要ガアリマスノ

デ、ソコニ多少時期ノ喰違ヒガ生ジマス

○作田委員 今ノ御答ハ私ハ不満足デアリマスガ、斯ウ云フ風ニ大キイ問題ヲ議會カラ委任ヲサレ、憲法上ノ重大機關デアル樞密院ニ當然諮詢スベキ程度デアルニ拘ラズ、又之ヲアナタハ認メテ置キナガラ、諮詢セザル理由ト云フモノニ付テハ仰シヤラナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ガ、私等ノ稱シテ不安トスル所デアルノデアリマスガ、御答辯トシテハアレ以上ノコトガナケレバ追及ハ致シマセス

其次ニ伺ヒタイノデアリマスガ、マダ企畫院總裁ニ伺ヒタイコトガ二三點アリマスガ、陸海軍大臣ガ御見エニナッテ居リマスカラ、此方ニ關聯シテ御質問致シマス、第五十條デアリマス、「本法施行ニ關スル重要事項」ト云フコトハドウ云フコトデアリマスカ、是ハ企畫院總裁カラ御答ヲ願ヒマス

○瀧政府委員 一寸雜談シテ居リマシテ、若シ聽キ違ヒマシタラ何デスガ、斯ウ云フコトニ聽キマシタ、本法五十條ノ審議會ニ掛ケル重要事項トハドウ云フモノカ、斯ウ云フ御質問ト考ヘマス、是ハ「軍機ニ關スルモノヲ除ク」、斯ウ云フコトガアリマスノデ、多分ソコニ關係シタ御質問カト考ヘマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○作田委員 一寸待ッテ下サイ、モウ一遍能ク申シマス、「本法施行ニ關スル重要事項」此總動員審議會ニ御掛ケニナル重要事項ト云フコト自身ハ、軍機ト云フ問題ヲ除ケテ重要事項ト云フモノハ、如何ナルモノヲ想定シテ御掛ケニナルカ、斯ウ云フ意味デアリマス

○瀧政府委員 勅令ノ内容タルベキ重要ナル事項、斯ウ云フコトデゴザイマス

○作田委員 勅令ノ内容タルベキ重要事項ト云フコトニナリマスト、勅令其モノハ御掛ケニナラスノデアリマスカ

○瀧政府委員 左様デゴザイマス

○作田委員 實ハ本法五十條ノ審議會ト云フモノハ、初メハナカッタノデアリマセウ、是ト二十條ノ新聞紙ニ關スル問題トハ、輿論ニ顧ミテ後ニ御加ヘニナツタカノ如ク私心得ヘテ居ルノデアリマスガ、其折ニハ新聞等ノ關係ニ付テモ勅令ヲ掛ケルノダ、隨テ此議會ニ代ルベキ一ツノ審議會ト云フモノヲ設ケテ、民意ヲ反映セシメテ勅令ヲ掛ケル、隨テ任シテ置イテモ大シタコトデハナイデハナイカト云フ風ニ心得テ居ッタノデアリマス、所ガ今伺ヒマスル勅令ハ掛ケナイノダ、勅令ノ中ノ重要事項ト云フコトニナリマスト、其發布セラルベキ勅令

ト其重要事項ト云フモノトノ關係ヲ、今少シハッキリサシテ載キタイノデアリマス、勅令ニ記載スベキ重要事項デアルノカ、勅令ト云フモノハ掛ケナイデ、政府ガ拵ヘテシマツテ、其勅令ノ或ル一部分ノ施行ニ關スルコトヲ御聽キニナルノカ、斯ウ云フ意味ニ於テ此重要事項ノ内容ヲモウ少シ詳シク納得出來ルヤウニ、一ツ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○瀧政府委員 勅令ト申シマスト實ハ御裁可ヲ經テ 天皇陛下ノ思召トシテ出ルノデアリマスルカラ、之ヲ審議會ニ掛ケルト云フ譯ニハ、法理上行クマイト考ヘテ居リマス、其内容タルベキ重要事項、斯ウ御考下サレバ略、御想像ガ付クコトト存ジマスガ、如何デゴザイマスカ

○作田委員 ドウモ一寸分ラヌヤウニナリマシタガ、勅令ハ今ノドウ云フ御言葉デアリマシタカ知リマセスケレドモ、大權ノ發動——勿論是ハ大權事項デアリマスガ、所謂大權ノ發動ト此勅令トヲ混淆サレタヤウナ議論ニ見エマスガ、 天皇大權トシテノ立法大權ニ屬スルモノデアリマシテ、此法律モ御親裁ニ依ッテ發布セラレルノデアリマスルガ、ソレヲ議會ニ於テ論議シテ居ルノデアリマス、今私ハサウ云フ細カイ憲法論

ニ付テ記憶ハアリマセヌノデ、ハッキリ頭ニ浮シデ來ナイノデアリマスガ、憲法ヲ議論ヲシテハイカナイ、法律ハ議論ヲシテハイカナイガ、同ジモノデ勅令ハ 天皇ノ名ニ於テ出ルノダカラ、論議シテイカスト云フコトニナツテ宜シイノデスカ、是ハ大キイ問題ト思ヒマスガ、大權事項ヲ臣民ノ議會ノ論議スベカラザルモノデアルト云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ、ソコヲモウ少シハッキリ御説明願ヒタイ

○瀧政府委員 勅令ハ行政上ノ命令デハアリマス、併シソレハ勅令ハ勅令トシテ出ルベキモノデアリマスカラ、勅令其モノヲ審議會ニ掛ケルノハ宜シクナイト思ヒマス、其内容ヲ掛ケルノガ至當ダト考ヘマス

○作田委員 サウスルトソレハ論議シマセスガ、勅令ノ内容ヲ爲スモノハ大體ニ於テ此審議會ニ御掛ケニナル、是デ宜シウゴザイマスカ——ソレナラサウ承ッテ置キマスガ、サウ致シマスルト是ハ陸軍、海軍ノ政府委員ナリ、大臣ノ方デモ宜シウゴザイマスガ、「軍機ニ關スルモノヲ除ク」、此軍機ト云フモノハドウ云フモノデアリマスカ、之ヲ一ツ御聽カセ願ヒタイ

○山脇政府委員 軍機ハ軍ノ機密事項デゴザイマシテ、其内容ノ漏洩ニ依ッテ用兵、作

戰ハ固ヨリ、其他ノ用兵上ノ軍ノ諸計畫等ノ窺知セラレルモノデアル、斯ウ云フ工合ニ解釋シテ居リマス

○池田委員 一寸今ノ作田君ノ質問ニ關聯シテ、瀧總裁ニ伺ッテ見タイノデアリマス、今作田君トノ應答ヲ見マスレバ、勅令ハ掛ケラレナイ、是ハ當然ナコトデゴザイマス、御裁可ヲ經テ後審議會ニ掛ケル、ソシナコトハアリ得ベカラザルコトデアル、併ナガラ恐ラクハ作田君ノ意ハ、勅令案ヲト云フ意味デアラウト思ヒマス、サウスレバ機關トシテ出來テ居ルナラバ、法制局ガ審議スルト云フコトニ何ノ差支ガナイト同ジ意味ニ於テ、審議會ト云フモノガ出來マスレバ、其處ニ勅令案ヲ掛ケルト云フノハ、非合法デゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ、出來得ベカラザルコトデアリマセウカ

○瀧政府委員 勅令案ヲ掛ケルト云フコトハ、ドウモ先例ニモナイヤウニ存ジテ居リマス、ヤハリ其内容ノ重要事項ヲ掛ケル、斯ウ云フ方針デ居リマス

○作田委員 今ノ軍機ノ點デアリマスガ、サウ致シマス、軍機保護法ニ謂フ軍機ト、本法第五十條ノ「軍機ニ關スルモノ」ト云フコトトハ、ドウ云フ關係ガアリマスカ

○瀧政府委員 今ノ重要事項ト云フ意味

ト、軍機ト云フモノノ意味ト、軍機ニ關スル事項ト、此三ツニ分ケテ御話シタイト思ヒマス、軍機ト云フ言葉ノ意味ハ、只今陸軍側カラ御答ニナツタ通りデゴザイマシテ、軍機、軍令ハ此審議會ニ掛クベキモノデハアリマセヌ、審議會ニ掛クベキモノハ國務ニ關スルモノデアリマス、國家總動員法ノ關スル事項ハ國務ニ關スル事項デアリマシテ、軍機、軍令ニ關スル事項ハ、統帥權ニ屬スル事項デアリマス、隨テ國務ニ關スル事項トシテ、國家總動員法ノ發動ニ關シテ勅令ノ内容トナルベキ重要ナル事項ハ、審議會ニ掛ケテ行キタイト考ヘテ居ルノデアアルノデアリマス、ソコデ關スルトハドウ云フコトカ、茲ニ難カシイ明白ニ識別シ難イ問題ガ、實ハ生ジテ來ルノデアリマス、軍機其モノニアラズト雖モ、軍機ニ關スル事項ト云フモノハアリマス、而シテ關スル事項ニ程度ノ差ガアリマス、非常ニ關係ノ深イコトト關係ノ淺イコトトアリマスガ、其非常ニ關係ガ深クテ困ル場合ハ、是ハ審議會ニ掛ケルコトノ出來ナイコトニナルト考ヘテ居リマスガ、關係ノ淺イ部分——元來是ハ國務ニ關スル問題デアリマスルカラ、其方面ハ出來ルダケ審議會ニ掛ケテ行キタイト云フ考デ居リマス

○作田委員 陸軍當局ニ今ノ軍機保護法ト

ノ關係ヲ、御述ヲ願ヒタイ

○山脇政府委員 軍機ト云フ字義ハ同様ト

考ヘテ居リマス

○作田委員 成ベク簡單ニスル爲ニ私言葉

ヲ少ク致シマシタカラ、私ノ本意ガ御分リ

ニナラヌ結果ト思ヒマスガ、私ノ聞カント

欲スル所ハ、本法第五十條ノ審議會ト云フ

モノヲ御設ケニナツテ、ドノ程度ゾモノヲ御

掛ニナルカト云フ内容ガ分レバ宜イ、問題

ハ其處デアリマス、軍機ニ關スルモノヲ除

クト云フコトヲ書イテアル、而シテ軍機保

護法ニ依リマスルト、其第一條ニ「本法ニ

於テ軍事上ノ祕密ト稱スルハ作戰、用兵、

動員、出師其ノ他軍事上祕密ヲ要スル事項

又ハ圖書物件ヲ謂フ」斯ウ云フコトニナツテ

居リマス、ソレカラ軍機保護法施行規則ニ

依リマスルト、其第一條ニ於テ、「イ」トシテ

「國防又ハ作戰ニ關スル諸計畫ノ内容」、ソ

レカラ「ロ」トシテ「現在及將來ニ互ル國防、

作戰、用兵ノ準備又ハ實施ニ關スル命令ノ

内容、發受令者、下達時期、下達地點」ト

云ツタヤウナコトガ書イテアルノデアリマ

スガ、此軍機ニ關スルモノガ、軍機保護法

ニ謂フ作戰、用兵、動員、出師、斯ウ云ツタ

ヤウナモノガ根幹ニナツテ、出來上ツテ居ル

ト致シマスルト、本法施行ニ關スル軍機以

外ノ國務ト云フコトヲ總裁ハ仰シヤツタノ

デアリマスガ、國務ト云フ廣イ範圍ニ於テ、

私ハヤハリ國務トハ軍事モ國務ノ一ツデハ

ナイカト思ウテ居ルノデアリマスガ、帷幄

上奏ニ關スルコトト、國務ト云フモノト、

軍事ト云フヤウナモノノ議論ニナツテ來マ

スト、餘程面倒ニナリマスカラ、是ハ此處

デ議論ヲ差控ヘマスガ、要スルニ斯ウ云フ

ヤウナ軍機ニ關スルモノヲ除イテ、ドレダ

ケノモノヲ御掛ニナル積リデアルカ、ドウ

云フモノガアルカ、具體的ニ一ツ言ウテ裁

キタイノデアリマス

○瀧政府委員 全ク御尤ナ御質問ダト思ヒ

マスガ、例ヲ以テ御答致シマス、兵器、彈

藥ノ製造、幾何ノ兵器ヲ造ルカ、ドレダケ

ノ彈藥ヲ造ルカト云フコトニナリマスルト、

是ハ軍機ニ關スルモノデアリマス、併ナガ

ラ其兵器若クハ彈藥ヲ製造スル工場、此工

場ヲ管理スル——使用若クハ收用スルト云

フ段ニ至リマス、是ハ國務ニ屬スルモノ

デ、サウ云フ工場ノ管理ナドハ、審議會ノ

議ニ掛ルベキモノト考ヘテ居リマス

○作田委員 茲ニ二ツノ所謂勅令若クハ勅

令案ノ掛ケル所ノモノデアリマスガ、各條

章ニ基イテ發布セラレル勅令内容ト云フモ

ノヲ、審議會ニ掛ケルト云フコトニナルノ

デアリマスルガ、サウスルト勅令案ト云フ

モノガ、例ヘバ五十箇條出來テ居ル折ニ、

軍機ニ關スルモノガ三十箇條アレバ、軍機

ニ關セザルモノヲ二十箇條シカ御見セニナ

ラスト云フコトニナル、結局チグハグナ何

ガ何ヤラ分ラヌモノヲ見セテ貰ツテ、ソレデ

賛成ヲ表サナケレバナラスト云フコトニナ

ルト思フノデアリマス、私ノ言フノハ是

デモ審議會ノ利益ニ解釋シテノ話デアリマ

ス、此勅令案其モノガ軍機ニ關スル事項ア

リトシテ、御掛ケニナラスト云フコトニナ

ルト、此條文ハ完全ニ空文ニナル、是デハ

所謂民意ト官憲トノ緩衝地帯トシテ折角御

設ケニナル條文ガ、今ノ御説明デハ果シテ

緩衝地帯トナツテ、民意暢達ノ機關ニナルカ

ドウカ、吾々ハ多大ノ疑問ヲ持ツノデアリ

マス、唯斯ウヤツテ如何ニモ審議會ト云フ

モノヲ拵ヘテ、民意ヲ容レルガ如ク裝ウテ、

其實ハ名ヲ軍機ニ藉リテ、一切之ヲ審議會

ニ掛ケヌトサレテモ、其時ニナツテ一言半句

モ言フコトハ出來ヌノデヤナイカト私ハ考

ヘルノデアリマス、此點ニ於テハ陸海軍大

臣カラ一ツ明晰ナル御答辯ヲ得テ置キタイ

ノデアリマス

○杉山國務大臣 茲ニ審議會ヲ設ケマシタ

所以ハ、只今作田君ノ述べラレタ通りノ意

見デ、之ヲ作ツテ居ルノデアリマス、隨テ此

審議會ノ目的ヲ十分ニ達シ得マスル如ク之

ヲ利用スルニアラザレバ、是ハ效力ガナイ

ノデアリマス、其邊ハ能ク當局トシテ注意

ヲシテ、第五十條ヲ運用シテ行キタイト考

ヘテ居ルノデアリマス

○作田委員 抽象論トシテ今陸軍大臣ノ御

答辯ハ結構デアリマス、御拵ヘニナルト云

フ御積リデアリマスルカラ、此五十條所定

ノ目的ニ向ツテ御考ニナルト云フコトハ、當

然過ギル程當然ノコトデアリマス、唯吾々

ノ聽カントスル所ハ——是ハ前ニ陸軍大臣

ガ御居デニナツタカドウカ知リマセヌケレド

モ、私ハ立前トシテ斯ウ云フ總動員法ノ必

要ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、唯廣汎ナ

ル範圍ニ於テ、委任命令ヲスルト云フ所ニ不

安ガアリ、憲法違反論ガアルトスルナラバ、

ソレハ其處ニアリト云フノガ私ノ本法案ニ

對スル立前態度デアリマス、斯ウ云フ態度

カラ見マシテ質問ヲ續ケテ居ルノデアリマ

シテ、其態度、心構ヘカラ見マスルト、斯

ウ云フ問題ヲハッキリ致シマシテ、謂フ所

ノ國民ノ不安ト云フモノヲ除キ、憲法違反

ノ疑アリヤ否ヤト云フコトヲ質スト云フコ

トガ、即チ本法ニ贊意ヲ表スル根本ニナル

ノデアリマス、唯拵ヘテアルカラ、成ベクソレニ副フヤウニヤルト云フコトデハ、私ハ答辯ニナラスノデハナイカト思フ、モウ少シ具體的ニドウ云フ程度ノモノヲ掛ケテ行クガ故ニ、此五十條所定ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フコトヲ仰シヤラネバ、安心スルコトハ出來スノデハナイカト思フノデアリマス、モウ一度御答ヲ願ヒタイ

○山脇政府委員 只今陸軍大臣カラ答辯セラレマシタコトヲ、モウ少シ敷衍シマシテ具體的ニ私カラ申上ゲタイト思ヒマス、軍機事項ヲ其儘勅令ニ出スト云フコトハ、只今私ハ考付カナインデアリマスルガ、企畫院總裁カラ答辯ニナリマシタ軍機ニ關スル事項ト云フコトニ付キマシテ例ヲ申シマス、對敵取引ノ禁止制限ノ勅令ヲ出ス場合ニ、其國或ハ品物ノ如キモノハ、事前デゴザイマス、是ハ用兵ノ機密ヲ探知セラル、コトニナルモノト解釋致シマス、ソレカラ施設ノ擴充、新設ノ如キモノデゴザイマシテモ、事前デゴザイマスルト、軍ノ整備ヲ企圖シテ居ル其計畫ヲ知ラレマスカラ、ヤハリ軍機ニ關スル事項ト考ヘテ居リマス、大體サウ云フコトヲ考ヘテ居リマスルガ、是ハ時期的ニハ軍機ニ關スル秘密デアリマシテ、又時期的ニハモウ既ニ秘密デナイモ

ノモアルト思ヒマス、又其事柄モサウ澤山アルトハ豫期セラレナイト考ヘテ居リマス

○作田委員 モウ少シハ明瞭ニシテ置カレル方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマスルガ、ドウモ御答辯ガナケレバ……

○瀧政府委員 國家總動員法ノ關スル事項ハ、是ハ國務ニ關スル事項デアリマスルカラ、其中ニ規定サレテ居ル勅令ノ中ニハ、軍機ハ一切入リマセス、國務ダケニ付テ國家總動員法ガ適用サレルノデアリマスルカラ、重要事項ハ殆ド審議會ニ掛カルモノダト云フ此原則ヲ、十分御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、勅令ハ公布サレマス、勅令ハ公布サレマスカラ、其中ニ軍機軍令ノ秘密ナルコトハ、アリ得ナイコトニナルノデアリマスカラ、ドウゾ左様御諒承ヲ御願致シマス

○作田委員 ドウモ分リ難クナッテ來タノデスガ、國務デアアルガ故ニ軍機ニ關スルコトガナイト云フコトニナレバ、五十條ニ態、軍機ニ關スル事項ヲ除クト云フコトヲ御入レニナル必要ガ何處ニアルカト云フコトニナル、軍機ニ關スルモノヲ除クト云フコトヲ御入レニナルト云フコトハ、本法施行ニ付テ重大ナル軍機ニ關スル事項ガアリト考ヘナケレバナラス、此處ヲ吾々ハ伺ッテ居

ル

○青木政府委員 勅令ニ規定致シマスル事項其モノハ、今企畫院總裁カラ御話ノ如ク、發表サレマシテ結局ニ於テハ公知ノ事實ニナリマスガ、今陸軍側ノ政府委員ノ述べラレマシタ如ク、時期的ニハ其部分ニ付テモ秘密ト云フコトハアリ得ルノデアリマス、此場合「關スル」ト云フ事項ガ最も多ク適用ガアルト思ヒマスノハ、勅令ノ内容其モノデナシニ、此勅令ニ基ク運用ノ方針ニ付テ、此審議會ニ諮問致ス場合ニ多ク起ッテ來ルコトト思ヒマス、即チ勅令ガ公布セラレマシテモ、其勅令ニ基イテ此法律ヲドウ云フ風ニ運用シテ行クカ、行政處分ノ發動等ニ付テ、ドウ云フ方針デヤッテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ軍機ニ關聯ヲ持ッテ來ル場合ガ多クアルト思ヒマス、サウ云フ場合ニ「關スル」ト云フ除外例ガ適用サレルコトヲ豫期シテ居ルノデアリマス

○作田委員 重ネテ御伺致シマスルガ、五十條ニ所謂重要事項ト云フコトハ、勅令ノ内容ヲ成スコト以外ニ、勅令ノ施行ニ關スル事項ヲモ含ムト云フ、今ノ青木次長ノ御話デアリマスカ

○青木政府委員 左様デゴザイマス

○作田委員 サウシテ此事項ニ關シテノ、

軍機ニ關スル事項ガアリト云フコトニ例ヘバ今ノ御話ハ斯ウ云フ風ニ私ハ諒解シテ居ルノデアリマス、先程總裁カラ御話ニナリマシタ工場——爆彈製造ノ工場ト云フモノヲ管理スルト云フコトデアリマスガ、爆彈ヲ拵ヘテ居ルト云フ所マデハ秘密デハナイ、所ガソレヲ幾ラ拵ヘテ居ルト云フコトガ秘密ダト云フコトニナルノデアリマスガ、問題ヲ法律關係ニ戻シテ見テ、勅令制定事項ト云フモノハ、政府ハ工場管理ヲスルコトヲ得ト云フコトヲ書クト、其處マデハ公布サレルノデアアルカラ軍機デハナイ、唯ソレカラ先ノ事項ニ關シテ、其報告ヲ求メ、報告ノ内容ヲ見ルト云フコトガ軍機ニ關スルカラ除クノダ、斯ウ云フ風ナ御心構ノヤウデアリマスガ、其處マデ行ケバ悉ク是ハ軍機デハナイカ、サウ云フヤウナ立前デ行クト、吾々ガ大體初メカラ關スル所デハナイノデス、吾々ハ此非常時總動員法ガ發動サレル折ニ、苟モ國ノ秘密ニ關スルガ如キコト迄立入ッテ考ヘルガ如キ考ハ毛頭持ッテ居ラスノデアリマス、問題ハドウ云フ風ニ管理サレルカト云フ所マデ宜イノデス、吾々國民代表トシテ關心ヲ持ツノハ其處マデデス、其處マデデアリマスカラ、其範圍ニ於テ吾々ハ此五十條ノ問題ヲ審議シテ居

ルノデアリマスガ、其先マデ行ケバ軍事ノ機密デアルカラ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、其處マデ行ケバ軍機ガ多イカラト云フコトニナルノデアリマスガ、然ラバ其處マデ行ッテ軍機ニ關セザルモノガアルノデスカ、之ヲ一ツ承リタイ、事項實施ニ關シテ軍機ニ關セザルモノガアルカドウカ

○青木政府委員 軍需ノ統制充足ヲ目的トセズニ、國民生活ノ確保、或ハ經濟界ノ圓滑ナル運行ヲ所期スル爲ニ、本法ガ發動スルコトハ度々申上ゲタ通りデアリマスガ、是等ノ場合ハ多ク軍機ニ關係ナイコトニナルト考ヘテ居リマス

○作田委員 ドウモ結局吾々ニハ分ラナイ、恐ラクハ本法五十條ノ規定ト云フモノハ、完全ナ空文ニナルデアラウト思ヒマス、是ハ甚ダ遺憾デアリマスルガ、是レアルガ爲ニ所謂緩衝地帯ニナルデハナイカト云フ期待ガ、只今ノ答辯デ完全ニ裏切ラレタト私ハ理解致シマス、ガ併シ視野ヲ變ヘテ伺ヒタイト思ヒマスガ、此軍機ニ關スルモノハ除クト云フ此條文カラ類推シテ見ル所ノ此組織デアリマス、先達私ノ質問ニ對シテ陸軍大臣カラ、戰時ハ必要ニ應ジテ假稱管理省ヲ置ク、平時ニ於テハ商工省ノ外局ニ依ッテヤル、斯ウ云フ御説明ガアツキヤウニ記憶

シテ居ルノデアリマス、其後小山君ノ質問ニ對シ總理大臣ハ少シ變ヘラレテ、平時ハ企畫院ニ依ッテ各省ヲ統制シテヤルノダ、斯ウ云ツキヤウナ御話ガアツタノデアリマスルガ、此二十條迄ハ兎モ角ト致シマシテ、準備ニ關スル事項ノ如キハ、本法成立ト同時ニ是ハ發動シテ行カネバナラヌノデアリマスルガ、サウ云フ折リ大體企畫院ヲ中心トシテ各省ニ依ッテヤラレルカドウカ、此軍機トノ關係デアリマス、只今瀧總裁ノ御答辯中ニモアリマシタガ、軍機ト云フコトハ軍機保護法ニ依リマシテモ、作戰用兵ニ關スルコトデアリマス、作戰用兵ハ所謂憲法第十一條ノ統帥大權ニ屬スルコトデアリマス、斯ウ云フ風ニ一ツノ軍機ニ關スルト云フコトヲ、段々押擴ゲテ行キマスルト、結局憲法第十一條ノ統帥大權ニ迄一貫シテ行ク所ニ、日本ノ法制ガアルト私ハ理解シテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ナ觀點カラ見マシテモ、或ハ古イ話デアリマスケレドモ、イツモ吾々ノ引用致シマスル伊藤公爵ノ「憲法義解」デアリマスガ、此憲法義解ノ第十一條ノ解釋、及ビ第十二條編制大權ノ條文等ヲ通シテ、軍機保護法及ビ本法ト云フヤウナモノヲ考ヘテ見マスルト、ドウシテモ茲ニ普通ノ行政官廳ニ於テハヤレナイ點ガアル

ノデヤナイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味デ私ノ問ヲ進メテ行クノデアリマスルガ、其前ニ近衛總理ヨリ企畫院ニ於テ各廳事務ヲ調整統一ラシテ行クト云フ御話ガアツタノデアリマス、是ハ陸軍大臣カラ御答辯ヒマスガ、ソレハ後デ陸軍大臣カラ御答辯ヲ願フコトニ致シマシテ、總理ノ御答辯ニ依ッテ考ヘテ見マスニ、企畫院官制ノ第一條ノ第四項ニ於テ、國家總動員計畫ノ設定及ビ遂行ニ關スル各廳事務ノ調整統一ニ關スルコトト云フコトヲ書イテアル、企畫院ガ出來タ折ニ、既ニ本法マデ御考ニナツタコトヲ、私ハ驚イタノデアリマスルガ、之ニ書イテアル、所ガ謂フ所ノ各廳事務ノ調整統一ト云フコトハドウ云フコトニナルカ、凡ソ私が言フ迄モナク、各省デ事務ヲ取扱ハスト云フコトニナリマスルト、各省長官ハ獨立シタ官廳デアリマシテ、何人カラモ他ノ行政官廳カラノ指圖ヲ受ケベキモノデナイト私ハ心得テ居ルノデアリマスルガ、企畫院總裁ハ各省長官ニ對シテ命令ヲ發スルコトガ出來ルト御考ニナルノデアリマスカ、之ヲ一ツ聽カシテ戴キタイ

○青木政府委員 企畫院ノ國家總動員上扱ヒマスル事務ニ付テノ所管大臣ハ、内閣總理大臣デアリマスルカラ、各省大臣ニ對シテ綜合調整ノ任務ヲ圓滑ニ果シ得ルコトト考ヘテ居ル次第デアリマス

○作田委員 一寸此處ヘ各省官制ヲ持ッテ來ナカッタノデアリマスガ、内閣總理大臣ハ各省長官ニ對シテ、斷ジテ命令權ハナイト私ハ考ヘル、アリト御考ニナリマスカ

○内田政府委員 内閣總理大臣ハ各省長官ノ大臣ニ對シテ、指揮命令スル官制ハアリマセス、内閣官制デモアリマセス、唯内閣官制ニ依リマシテ、總理大臣ハ内閣ト云フモノヲ總轄スルト云フ職分ヲ持ッテ居ル譯デアリマス、其範圍ニ於テ、例ヘバ各省ノ大臣ノ處分ヲ一時中止セシムルト云フヤウナ權限ハ、内閣官制ノ規定ニアリマス、指揮命令ト云フ確立シタモノデアリマセスガ、内閣總理大臣ノ職責カラ見マシテ、十分此綜合調整ヲ取ッテ行ケル立場デアルト考ヘテ居リマス

○作田委員 内閣總理大臣ガ命令權ガ無イト云フコトハ、今私が言ウタコトヲ御認メニナツタノデ、ソレデ宜イノデアリマスガ、處分ヲ中止セシメ勅裁ヲ經テ云々ト云フ規定ガ慥カアツタト思ヒマス、私記憶ハハッキリアリマセスガ、慥カサウデアリマス、ソレハ全ク違フノデアリマス、本當ニ調整ラスルト云フコトハ、閣議ヲ開イテ閣議ニ於テ

滿場一致決議シタモノデナケレバ行ハレナイ、法制局長官モ居ラレマスルガ、此點ハ異論ハナイト思フ、ソコデ詰リ斯ウ云フ事務的ノコトヲヤルノニ、一々閣議ノ決定事項トスル所ノ煩ヲ省ク爲ニ、恐ラクハ企畫院ニ於テ斯ウ云フ調整統一ト云フコトヲ御決メニナツタノデアラウト思フガ、命令權ノ伴ハナイ所ニ、斯ウ云フコトガ行ハレルカドウカ、今本法ニ於テハ洵ニ以テ身慄ノ立ツヤウナ嚴刑酷罰ヲ以テ臨シデ居ラレル、斯ウ云フ刑罰ヲ以テ臨マナケレバ此法律ハ實行ガ出來ナイカ、況ヤ今日迄ノ歴史ハ事實ガ證明シテ居リマスガ、各省長官ガ各々各省ニ割據シテ豫算ノ分取り主義ヲヤツテ居ル、統一デハナイ屢、内閣不統一ヲ暴露シテ居ルノデアリマス、是ハ惡口デモ何デモアリマセヌ現實ノ事實デアリマス、アナタ方ノ惡口ヲ言フノデハナイガ、サウ云フ傾キガ多分ニアル今日ノ日本ノ内閣ノ組織ニ於テ、此非常ナ大キナ法律ヲ取扱フノニ、命令體系ノ無イ企畫院總裁ガ、如何デゴザイマセウカト言ウテ、毎日自動車デ以テグルグル廻ッテ御願ヲシテ僅ニ調整シテ行ク、イヤダト言ハレタラオ終ヒデス、ドウシテ準備ガ出來マス、斯ウ云フコトデハ到底出來マセヌ、是ハ最初カラ申上ゲテ居ル通り、

モウ少シ具體的ニ本法ガ發動スル準備ニ於テモ、イマ少シク御研究ヲ煩シテ、ハッキリ國民ノ前デ此法律ハ如何ナル組織ニ依ッテ、如何ナル方法ニ依ッテ運用サレルト云フコトヲ理解スルヤウナ方法ヲ執ッテ戴キタイ、瀧總裁ハ練達堪能ノ士デアリマスカラ、瀧總裁自身ガ御廻リニナレバ、仕様ナシニ、コラヘテ呉レルカ知レマセヌガ、次ノ總裁ハ何人カ分リハシナイ、ソレガグル／＼廻ッテモ、オ前ハ餘計ナコトヲスルナト言ハレタラオ終ヒデアリマス、サウ云フ跛ノヤウナ法律ヲ拵ヘテ、是程大キナ問題ヲ取扱フト云フコトガイケナイ、平時ハ僅ナコトデソレデモ宜イガ、茲ニ非常ナ大キナ缺陷ガアル、況ヤ是ガ一度戰時ノ事ニ移ッテ行ク時ニ、ドウ云フ組織ヲ御執リニナリマサルカ、是ハ先ニ行ッテ愈、ト云フ時ニハ、軍需省ヲ置クト云フコトハ大體陸軍大臣ノ言明ト、總理大臣ノ或ル機關ヲ置クト云フコトト、同ジヤウニ今考ヘルノデアリマス、是ハ假説デアリマスカラ、今軍需省ト仰シヤッタモノガ、ドウ云フ名前ノ機關ニナッテモ差支ハナイ、出來ナイ相談ヲスルノデハナイノデアリマス、大體一ツノ大キナ機關デ御ヤリニナルノデアラウト思フノデアリマスカ、私ノ聽キタイノハ、繰返シテ申シマス

ル通り、如何ナル組織ヲ以テ運用サレルヤウニナルカト云フ所ニ、國民ノ不安ガアル、是ハ蓋シ空氣デモアル、今日ハ動モスレバ所謂「フアジョ」的ノ氣分ト云フモノガ、社會ノ一部ニ主張サレテ居ル、サウ云ッタヤウナ空氣ノ中ニ此法案ガ出タ、是ガ運用ノ形ト云フモノガハッキリシナイト云フ所ニ、大ナル國民ノ不安ガアルト私ハ考ヘル、斯ウ云フ意味ニ於テ軍需省ナラ軍需省ト云フモノハ、ハッキリシテ置カレタイト思フノデアリマス、ソレヲ更メテ茲ニ陸軍大臣、海軍大臣、ドナタデモ宜シイガ、一ツ御述ヲ願ヒタイ

○杉山國務大臣 國家總動員ニ於テ、其業務ヲ調整統一ヲスルモノハ、是ハ内閣ガ當ルノデアリマス、而シテ此調整統一ニ依ッテ施行致シマスル、即チ施行機關ハ各省デアリマス、現在ニ於キマシテハ此制度ニ於テ進シデ居ルノデアリマス、今後事變ガ段々ト大キクナルニ伴ヒマシテ、此各々ノ機關ガ段々ト強化擴充サレナケレバナラヌト思ッテ居リマス、愈、國家ガ最高ノ國力ヲ發揮ヲ致サナケレバナラヌト云フ時期ニ於キマシテハ、此前申上ゲタヤウナ有力ナル施行機關ヲ作ルト云フ事柄ガ必要デアルト考ヘルノデアリマス、即チ私ガ前回ニ述べマ

シタ所ト、總理大臣ノ述べマシタル所ト、何等異ッテ居ル所ハナイノデアリマス、尙ホ只今作田君カラ御尋ニナリマシタ内閣ニ於テ企畫院ガ調整統一ヲシテ居ルト云フコトニ付テノ御意見ガアッタノデアリマスルガ、若シ斯ノ如キ機關ガアリマセヌ場合ニ於キマシテ、平時ニ於テモ左様デアリマスルガ、戰時ニ於キマシテ、各省ガ各、軍需ノ爲、或ハ民需ノ爲希望スル所ノ人、物ヲ要求スル場合ニ於テ、之ヲ適當ニ調整統一ヲ致スル所ノ機關ガナイ以上ハ、何時マデ時間ガ掛ッテモ歸著スルコトガ出來スト云フヤウナ狀態ニナルノデアリマシテ、此歸著スル所ノ標準ヲ造ル爲ニハ、斯ノ如キ機關ガ必要デアルト思フノデアリマス、併ナガラ此機關ハ決シテ實行權力ヲ持ッテ居ルノデアリマセズニ、御承知ノ如ク企畫院ニ各省カラ事務官ガ出テ居リマスル外、各省ヨリ參與或ハ兼任トシテ職員ガ參加シテ居リマシテ、サウシテ各省ノ關係ヲシテ居ル事柄ヲ、能ク討議ヲ致シマシタ後ニ、茲ニ一ツノ調整統一ヲ圖ルコトガ出來ルノデアリマス、此調整統一ヲスル案ガ出來マスト、之ヲ今度ハ各省ニ於テ施行機關トシテ實行スルノデアリマシテ、作田君ノ御述ニナリマシタヤウナ御意見ノヤウニ動クモノデナクシテ、只

今私が申シタヤウナコトニ運用ガサレテ居ルノデアリマス

○植原委員 議事進行ニ付テ一寸……只今

作田君ト企畫院總裁、陸軍大臣トノ質疑應答ニ關スル問題ニ付テハ、先日私が要求シテ置キマシタ此總動員法ヲ運営スル所ノ機關ノ組織、内閣トノ關係、ソレヲスツカリ御出シ下サレバ、極メテ此審議ヲ進メルノニ容易イコトデアラウト思フテ、先日御願致シマシタガ、未ダニ御約束ニナツタダケデ、其書類ガ參ッテ居リマセヌ、委員長ヲ通ジテ、

此國家總動員法ガ實施サレル場合ニ於テ、全能力ヲ發揮セシムル時ニ、如何ナル機關ニ依ッテ是ガ運営サレルノカ、其組織ノ大綱、是ト内閣トノ關係、ソレ等ノモノヲ御示シテ願ヒタイト申上ゲテ、ソレヲ差出サウト云フ話デアリマシタ、數日ヲ經過シテ居リマセヌガ、ドウカ委員長ヲ通ジテ至急ニ之ヲ御出シ下サルヤウニ、政府當局ニ御申達ヲ願ヒタイノデアリマス

○杉山國務大臣 只今植原君ノ御尋ノコト

ニ付キマシテハ、先日ノ委員會後ニ於キマシテ、此問題ニ付キマシテ度々論議ヲ重ネテ居リマシタ、植原君モ政府ノ考ヘテ居ル所ハ、御分リデアッタラウト思フテ差出サ

ナカッタノデアリマス、併ナガラ尙ホ御要求デアリマスマナラバ差上グルヤウニ取計ラウコトニ致シマス

○作田委員 植原サンノ仰ッシャツコトガ

ハッキリスレバ、御聽キスルノニ非常ニ便利ニナルノデスガ、此間カラ質疑應答ヲ重ネテ居ッテ所デハ、吾々ニハ分ラナイ、吾々ハ苟モ理解ノ出來タコトヲ執拗ニ理解出來得ザルガ如キ顔ヲシテ質疑スルト云フコトハ、斷ジテシテハ居ラナイ、私ノ只今聽イ

テ居リマスル企畫院トノ關係ト云フヤウナコトハ、現ニ出來ナイコトヲ出來ルカノ如ク考ヘテ居ラレル所ニ、私ハ少クモ政府ノ錯覺ガアルカ、調査不十分ナ所ガアルト思フ、ソレデアリマスカラ、出來ナイコトヲ御ヤリニナルト云フヤウニ見ヘルカラ、オカシイデハナイカト御尋ラスルノデアリマス、殊ニ軍機トノ關係デアリマス、軍機ヲナゼ斯ウ云フ風ニ聽クカト云ヘバ、繰返シテ申シマスレバ、第五十條ノ活用ト云フモノニ依ッテ、吾々ハ本當ニ緩衝地帶ヲ他ニ求メルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付テ、

疑ヲ持ッテ居ルカラ徹底的ニ御聽キシテ居ル、成程ソレナラ五十條ノ點ニ相當ノモノヲオカケニナリ、吾々ノ發言ガ行ハレルカドウカト云フ安心ガ出來ルカドウカ、斯ウ

云フコトヲ聽クノデアリマス、ソレ以上ニ他意ハナイ、軍機ト云フモノヲドウ云フ風ニ御取扱ニナルカ、今吾々ハ國家非常時ニ際シテ、ソノナ祕密ヲ知ル必要ハナイ、ソレデアリマスカラ唯ソレダケ知レバ宜イノデアリマス、ソレヲ重ネテ御聽キ申シテ居ルノデアリマス、モウ一ツ確メタイノデアリマスガ、茲ニ五十條ニ依ル軍機ト云フモノガ、軍機保護法ニ依ル軍機ト云フコトト同ジヤウニ御解釋ニナツテ、サウシテ其中ニ

作戰、用兵ト云フコトガ書イテアル、作戰、用兵ト云フモノハ憲法第十一條ノ統帥大權ニ屬スルト云フコトハ、今企畫院總裁モ言明ニナツテ居ル、統帥大權ニ關スルコトト、モウ一ツ軍機ニ關スルコトハ、勅令デナイトカ云フヤウナ總裁ノ御答辯ガアリマシタガ、陸海軍ノ統帥ニ關スル軍令ガ公布サレルノデヤナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フ關係ヲ色々方面カラ考ヘテ見テ、軍機ト云フモノヲ、統帥大權ノ發動デアルト云フ風ニ考ヘテ行キマスルト、今御ヤリニナツテ居

ル陸海軍大臣以外ノモノハ、此準備ガ出來ヌノデヤナイカト考ヘル、根本的ニ陸海軍大臣、若クハ大本營、斯ウ云フヤウナ方面ニノミ是ガ行ハレルノデアツテ、謂フ所ノ企畫院ニ依ッテ各省ヲ統制スルト云フガ如キ

コトハ、單ナル今日ノ思付キニ過ギナイ、行ク所マデ行ッテ統帥大權ノ作用上、陸海軍大臣ハ出來ナイノデハナイカ、平時ニ於テ——況ヤ戰時ニ於テ是ガ發動スル時ニ軍需大臣ト稱スルモノハ、陸海軍大臣ノ兩方ノ資格ヲ兼ね備ヘテ居ルヤウナ、帷幄上奏ノ權利ヲ持ッ大キナル組織ト、大キナル權限ヲ持ッ人ニノミ限ラレテ、之ヲ運用スルノデハナイカト私ハ思フテ居ル、此端ナル私ノ所見デ誤ッテ居ルカドウカ、御教ヲ願ヒタイ

○杉山國務大臣 軍機ニ付キマシテハ、既

ニ作田君ガ先刻御述ニナリマシタヤウニ、用兵ノ方針デアルトカ、作戰計畫デアルトカ、或ハ動員計畫デアルトカ、或ハ戰時ノ編成ニ關スル事柄デアルトカ、斯ウ云フヤウナ事柄ハ是ハ純粹ナル軍令デアリマシテ、即チ憲法ノ第十一條ニ關スル事柄デアリマス、而シテ憲法第十二條ニ於キマスル所謂編成大權ト申シマスカ、此中ニハ用兵作戰ト密接ニ關係ヲ持ッテ居リマスルモノト、

關係ヲ持チマセヌモノトアルノデアリマス、其ノ持ッテ居リマセヌモノニ付キマシテハ、是ハ當然審議會ニ掛ケルト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマスルガ、統帥ニ關係ヲ持チマスル事柄デモ非常ニ輕重ガ

アルノデアリマス、又總動員ヲ遂行致シマス爲ニ、此審議會ノ重任ニ携ッテ居ル者ニハ、或ル程度ノ諒解ヲ得サセナケレバナラヌト云フヤウナ點モアルノデアリマス、又之ニ「軍機ニ關スルモノヲ除ク」トシテ居リマスルガ、是ハ軍機トシテ外ニ漏レテハ

工合ガ惡イト云フ事柄ハ、是ハドウシテモ申上ゲルコトガ出來ヌノデアリマス、其程度ノ輕イモノニ付キマシテハ——又先刻政府委員ノ申シマシタヤウニ、時期的カラ考ヘマスト祕密ニセヌデモ宜イヤウナモノモアルノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ御考下サツタナラバ、大體審議會ニ付スベキモノハ如何ナルモノデアリ、又之ヲ審議スルニ當リマシテ、審議ノ材料トシテ承知ヲシテ置カ

ナケレバナラヌモノハドウ云フモノデアアルカト云フ位ハ、協議ガ出來得ルト存ジテ居リマス

○作田委員

私不明ニ致シマシテ軍事上ノ知識ガ頗ル淺イノデ唯法律ノ表カラ見マシテ、色々ノ想像ヲシテ御聽シタノデアリマスガ、此五十條ノ運用如何ト云フ問題ハ、本法ヲ成立セシメルカ否カニ重大ナル關係ガアルノデアリマスカラ、何カノ方法ニ於テ殘リマスヤウニ、法律的ニ讀上ゲテ貰フヤウナモノヲ一ツ御書キ下サツテハッキリサシ

テ、何時見テモソレデ判斷ガ出來ルモノヲ一ツ御言明ヲ御願申上ゲテ置キマス

○杉山國務大臣

所謂憲法ノ第十二條ニ於キマシテ、是ダケハ明瞭ニ御示ガ出來ルト云フモノガアリマス、而シテ他ノ半面ニ於テ統帥事項ニ密接ナル關係ヲ持ッテ居リ、或ハ其程度ノ薄イモノモアルノデアリマス、其邊ノ所ハ、此處マデ行クノデアルト云フコトハ、今確定シテ申上ゲルコトハ困難デアリマスガ、御希望ノ點ハ能ク承知致シマシタ

○作田委員

ドウモ結局ハッキリ致サナイコトニナツタノデアリマスガ、此點ニ關シテハ打切ッテ、次ニヤハリ總裁ニ向ッテ伺ッテ宜イノデアリマスガ、少シ陸海軍大臣ノ御考モ時ニ依レバ伺ヒタイと思ヒマスノデ、モウ少シデアリマスカラ御聽取ヲ願ヒタイノデアリマスガ、ソレハ本法ト既存ノ法律トノ關係デアリマス、一例ヲ申シマスルト今回成立セントシテ居リマスル所ノ電力管理案デアリマスガ、此電力管理法ガ通リマスト、發送電ニ關スル限リ茲ニ確定不動ノ法律的ノ働キト云フモノガ確定スルノデアリマス、所ガ此國家總動員法ガ發動致シマシタ時ニ、電力ヲ總動員物資トシテ考ヘマスル時ニ、電力ノ發電カラ送電、配給一

切ヲ管理スルト云フコトガ便利デアルト御決メニナリマシテモ、茲ニ既存ノ法律ト云フモノニ於テ既ニ發送電會社ニ依ッテヤルト云フコトガ確定シテ居リマスノデ、是ハ手ヲ付ケルコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ資金調整法ニ於テモサウデアリマス、最近昭和七年以來ノ所謂非常立法トシテ立法セラレタルモノハ、大部分國家總動員法

ニ喰込ンデ居ル、而モ是ハ事變後一年デ廢止スルト云フコトヲ言ッテ居リマスカラ、廢止サレルモノモアリマスケレドモ、最初申上ゲマシタ通り委任立法ノ増加ト云フコトハ、是ハ世界的ノ趨勢デアアルノデアリマシテ、假ニ戰後一年ナリ半年ナリデ資金調整法トカ、其他ノ所謂戰時立法ト云フモノガ廢止サレマシテモ、其代リニ必ズヨリ大ナルモノガ來ルノデアリマス、即チ一波ガ萬波ヲ生ムノデアリマス、統制ハ統制ヲ生ムノデアリマシテ、多々益々此委任立法的ノ立法ガ殖エテ行クノデアリマス、斯ウ云フヤウニ段々委任立法ガ擴大強化サレル折ニ、此國家總動員法ヲ發動致シマスルト、茲ニ色々書イテアリマスケレドモ、悉クソレハ既存ノ法律ニ拘束サレルコトニナツテ、十分ナル働キガ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ考ヘ

ルノデアリマスガ御認ニナリマスカドウカ

○船田政府委員 只今作田君カラ御質問ノ點ハ、國家總動員法ト既存ノ法律トノ關係デアリマスガ、國家總動員法ハ御承知ノ通り戰時又ハ戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ニ於テ發動致スベキモノデ、而モ其目的ハ國防目的ノ發生ノ爲ニ國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムルト云フコトニ相成ッテ居リマス、隨テ其時期、其目的ノ範圍ニ於キマシテハ、他ノ既存ノ法律ニ優先スルモノト思ヒマス

○作田委員

ザウスルト勅令ニ依ッテ法律ヲ變更セラレルト云フ御解釋ニナルノデアリマスカ

○船田政府委員

勅令ヲ以テ法律ヲ變更スルト云フコトハゴザイマセヌ、只今作田君ノ御質問ノ點ハ、憲法第九條ノ命令ノ問題デアリマスナラバ、勿論勅令ヲ以テ法律ヲ變更スルト云フヤウナコトハゴザイマセヌ

○作田委員

私ガ聽キマスノハ、此立法化セラレテ居ル國家總動員法ニ書イテアルモノハ、他ノ既存ノ立法ニ優先スルコトハ認メルノデス、之ニ基イテ發布セラレタル勅令ト云フモノニ依ッテ、實ハ仕事ヲ爲サラウトスルノデアリマス、所ガサウ云フコトヲ勅令デ決メラレルト云フコトハ、既ニ既存ノ立法トシテ立法化サレテ居ル資金調整法其他澤山アルノデアリマス、サウ云フ風ニ

細々ニ規定シテアル所ノ既存立法ト云フモノ

ノガアル時ニ、本法ニ依ッテ勅令ヲ發動シヨウト思ッテモ餘地ガナイ、ソレヨリ以下ノコトナラ出来マスケレドモ、ヨリ強度ノ、

ヨリ高度ノ統制ヲ必要トスル時ニ、既存立法ト云フモノガ足手纏ヒニナッテ出来ヌノ

デハナイカ、斯ウ言フノデス

○青木政府委員 臨時資金調整法トノ關係

ヲ例トシテ御尋デアリマスガ、法律論ト致シマシテハ、大體同ジ目的ノ爲ニ、二ツノ法律ガアル、斯ウ云フ形ニナッテ居リマス、但シ其規定ノ範圍ハ本法ノ方ガ若干廣イコト

ハ、先般來御指摘ノ通りデアリマス、ソレデ前回臨時資金調整法ヲ今日ノ儘運用シテ行キマシテ、ソレニ該當スル部分ノ本法ノ規定ハ暫ク發動シナイ方針デアルト申上ゲ

マシタノハ、是ハ方針デアリマス、既存ノ法律ガアルカラ、本法ガ法律上發動出来ナ

イト云フ法律論カラ來テ居ルノデハナイノデアリマス、方針ト致シマシテ、今施行勅

令モ出、施行命令モ出、ソレカラ機關モ具ハリ、國民モ運用ニ慣レテ居ル分ニ付テハ、

ソレヲ變更シテ本法ニ基イテ新シイ組織ヲ作ルノハ適當デナイト云フ考カラ、是マデノ御説明ガ出テ居ルノデアリマス、ソレカラ只今本法ニ依ル委任ノ命令ニ依ッテ、既存ノ

法律ト違ッテ規定ガ出来ルカト云フ御趣旨ノ御尋モアリマシタガ、委任ニ依ル命令ハ、其事ガ出来ルト考ヘテ居リマス

○作田委員 モウ一點只今ノ點ニ付テ伺ッ

テ置キタイノデアリマスガ、私ノ聽キマスノハ資金調整法ハ面倒デアリマスカラ、電力案ニ付テ申シマス、發送電株式會社ニ

依ル電力ノ發送電管理ト云フモノデハ物

足りナイ、ヨリ強力ナル統制ノ必要アリトスル折ニ、第二條ノ總動員物資トシテ、電力ノ問題ガ茲ニ發動ノ必要ガ生ジテ來ル、

其折ニ發送電マデモ全部國家管理ニ依ッテ——政府ガ總動員法ニ依ッテ取上ゲテ、實施スルト云フ必要ガアルノニ拘ラズ、既存法律

ト云フモノガ發送電ニ關スル限り既ニ法律化シテ居ルノデアアルカラ、此點ニ付テハ

政府ハ一指モ染メルコトガ出来ヌノデヤナイカ、斯ウ云フノデス

○青木政府委員 戰時ニ於キマシテ總動員上ノ必要ガゴザイマスレバ、今回ノ新機構ニ依リ、電力ト云フモノニモ本法ニ依ル

統制ガ及ブコトガアラウカト思ヒマスガ、今回ノ如ク總動員上ニ必要ガアリマスレバ、出来ルト考ヘテ居リマス

○作田委員 サウスルト本法ニ依ッテ發セ

ラレタル勅令ニ依ッテ、既存法律ヲ變更スル

コトガ出来ルト、斯ウ云フ御回答ニナルノデアリマスカ

○船田政府委員 委任勅令ハ本法ニ基イテ

發セラレタル場合ニ於キマシテ、而モ先程御答辯申上ゲマシタヤウニ、本法ノ目的及ビ

其時期ニ於キマシテハ、只今御質問ノ通りニ相成ルト考ヘマス

○作田委員 一寸分ラヌノデスガ、質問ノ通

リニナルト云フコトハ、兩方言ッテ居ルノデスガ、ナルノカナラヌノカラ言ッテ居ル

ノデスカラ、其通りダト言ヘバナクナラナカッタリスルノデスガ、既存法律ヲ變更スルコトハ、私ハ決シテ出来ヌト思フガ、出

來ルト云フノカ出来ナイト云フノカ、一ツハッキリ答ヘテ戴キタイ

○船田政府委員 是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、本法ノ發動ハ戰時又ハ戰爭ニ準ズ

ベキ事變ノ場合デゴザイマシテ、而モソレハ國家ノ國防目的達成ノ爲ニ、國ノ全力ヲ

最モ有效ニ發揮セシムルト云フ、其目的ノ爲ニ發動スルノデアリマシテ、其時期、其範圍ニ於キマシテハ、既存ノ法令ニ拘ラズ本法ガ有效ニ發動スルノデアリマス、而モ本法ニ基イテ發スル委任命令ノ範圍ニ於キマシテハ、本法ト一體ヲ爲スモノデアリマス

ハ、既存ノ法令ニ優先スルト考ヘマス

○作田委員 是ハ非常ニ重大問題デアリマスカラ、吾々ハ此勅令ニ如何ナル内容ヲ付

ケラレタルコト云フコトガ餘リニモ廣イ爲ニ、茲ニ非常ナル不安ガアッテ、憲法論ヲ致シテ

居ルノデアリマス、其廣汎ナル勅令ニ依ッテ、既存法律ガドシ／＼變ヘラレルト云フコト

デハ、大變ナ問題ト思ヒマス、併シ其前ニ政府ニモウ少シ「戰時ノ場合ハ仕樣ガナイデヤナイカ」ト呼フ者アリ「仕樣ガアルトカ

ナイトカ云フ問題ハ論議シテ居ラス、仕樣ガナイト言フデラバ法律ハ要ラナイ

「戰時ノ場合ダ」ト呼フ者アリ

○小川委員長 私語ヲ禁ジマス

○作田委員 ソレデ第六條ニ於テ法令ニ關係ナクト云フコトガ前ニ規定セラレテ居リ

マシテ、囂々タル非難ノ下ニ是ハ御取除ケニナッタノデアアル、之ヲ第六條ノ從業者ニ對スル問題ニ付テノミ——所謂勞働爭議ニ關スルコトモアリマセウ、從業者ニ關スル問題ニ付テノミ、既存法律ニ關係ナク、ドシドシ此勅令ニ依ッテヤレルト云フコトヲ御書キニナッタ爲ニ、囂々タル非難ガアッテ御取止メニナッタ、ソレカラ第十二條ノ末文ニ「社債ノ募集又ハ資本ノ増加ニ付商法第二百條又ハ第二百十條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以

テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フ風

ニ、第十二條ニ於テハッキリ別段ノ規定ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ書イテ居ルノ

ニ拘ラズ、若シ前ニ御話ニナツタヤウナコトニナレバ、此條文ハ要ラナイコトニナル、

勅令ガ法律ニ先立ツト云フ法律解釋ノ主義ヲ、絶對ニ變更ナサルト云フコトニナラナケ

レバイケナイト思フノデアリマスルカラ、重ネテ是ハ能ク御協議ニナツテ間違ノナイ

御答辯ヲ願ヒタイ

○小山委員 議事進行ニ付テ……、只今作田君ト政府當局トノ間ノ質問應答ヲ拜聽シテ

居リマス、問題ハ極メテ重大デアリマス、而シテ政府ノ御答辯ハ吾々ノ見ル所デハ、

更ニ一段ノ御研究ガ必要デアル、斯様ニ存ジマス、故ニ此意味ニ於テ暫ク休憩シテ政

府ノ十分ナ議ヲ練ツタ上ニ於テ、更ニ御答辯アランコトガ必要ダト思ヒマス、茲ニ暫時

休憩ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成〕「ト呼フ者アリ」

○小川委員長 ソレデハ暫時休憩致シマスガ、政府ニ申上ゲマス、只今ノヤウナ委員

會ノ空氣デアリマスカラ、ドウカ十分ニ御研究ニナリマシテ、明ニ御答辯アランコトヲ望ミマス、暫時休憩致シマス

午後三時五十分休憩

午後四時四十三分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——青木政府委員

○青木政府委員 先程御尋ノ點ハ、第六條ノ、當初御示致シマシタ案ニ「他ノ法令ノ

規定ニ拘ラズ」、ト云フ字句ガアツタノニ、ソレヲ削ツタ理由、ソレカラ第十二條ニ於キマ

シテ、「商法第二百條又ハ第二百十條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ

得」ト斯ウ云フ風ニ書イタ理由、此二點ニ付テノ關聯シテノ御質問デアツタノデアリ

マスガ、第六條ニ付キマシテ、御示ノ如キ字句ヲ使ツタ案ガ、政府ニ於キマシテ研究中

ノ未定稿トシテ御示シタモノノ中ニアツタコトハ事實デアリマス、併シソレハ當時御

斷リ致シマシタ如ク、全ク一種ノ原稿時代デアリマシテ、政府ノ成案ハ今回提出シタ

條文ニ依ツテ御諒承願ヒタイト思ヒマスガ、削リマシタ理由ハ、委任命令ノ本質トシテ、

法律ト同様ノ效力ヲ持ツモノデアルカラ、左様ナ文句ハ必要ナイ、斯ウ云フ趣旨デ削

除シテ、本案ヲ得タ次第デアリマス、然ラバ第十二條ニ於テ先程朗讀致シマシタ如キ

規定ヲ採リマシタ理由ハ、此十二條ハ社債ノ募集ノ限度、ソレカラ資本ノ増加ノ限度

ニ關スル其規定ト違ツタ限度ヲ作ルコトダ

ケガ、唯一ノ目的トスル條文デアリマス爲ニ、

斯ノ如キ立法ノ形態ヲ取ツタノデアリマスガ、若シ之ヲ逆ノ言ヒ方ニ致シマスレバ、例

ヘバ「政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ總動員業務タル事業ヲ營ム會社ノ當

該事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲メ勅令ノ定ムル所ニ依リ拂込資本金額又ハ現存資

産ガ拂込額以下ナルトキハ其ノ資産額ヲ超エテ社債ヲ募集シ又ハ株金全額拂込前ニ於

テモ資本ノ増加ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウ云フ風ニ書イテモ勿論宜シカッタノデアリマス

ガ、簡明直截ニ商法ノ例外ヲ必要トスル條文ダケヲ此處ヘ列舉シマシテ、本案ノ如キ

立法ノ形ヲ取ツタノデアリマシテ、斯ウ云フ形ヲ取ツタ時ダケガ、法律ニ違フ規定ヲ

爲シ得ルト、斯ウ云フ趣旨カラ出タノデハナイノデアリマス

○作田委員 サウスルト第十二條ノ立法ハ、立法技術トシテ過ツテ居ツタト、斯ウ了解シテ宜シイデアリマスガ

○青木政府委員 過ツテ居ルトハ考ヘマセスガ、他ニモ方法ガ無い譯デハナイト云フ

コトハ、是認致シマス

○作田委員 此十二條ノ前ノ十一條ニ、資本ノ増加、社債ノ募集等ニ付テノ規定ガアルシ、十二條トノ關係ヲ考ヘルト、今ノ御

説明デハ尙ホ私ハ不十分ナ點ガアルト思フ

ノデアリマスガ、是ハ餘リ細カイ法律論ニナリマスカラ一應他日ニ讓ルコトニ致シマ

スガ、只今ノ御説明ニ依ツテ一應ノ御説明ハ付クデアリマセウ、サウスルト改メテ伺ハ

ネバナラヌノデアリマスルガ、第十二條ノ「商法第二百條又ハ第二百十條」等ト云フ限

定ヲシテアル分ニ付テハ、其限定ヲシタ範圍ニ於テノミ總動員法ガ發動スルノデアリマ

スカ、此書キ方カラ見マスルト、例ヘバ其前條ハ制限又ハ禁止ト云フ範圍ニ入ル以上

ハ、會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、社債ノ募集、第二回以後ノ株金ノ拂込

ト云フヤウナモノハ、全ク此第十一條ヲ發動スル折ニ、商法、民法、其他關係法規一

切ヲ無視シテ、生殺與奪ノ權限ヲ第十一條ニ依ツテ振廻ス、斯ウ云フコトニ諒解シテ宜

シイノデアリマスガ

○青木政府委員 是ハ大體現行ノ資金調整法ト同ジ規定デアリマシテ「制限若ハ禁止」

ハ此處ニ書イテアル事項ノ關スル限り、制限ナク發動出來ル、斯ウ云フコトニナリマス

○作田委員 問題ハ再ビ茲ニ立法事項ヲ増加スベキヤ否ヤト云フコトニ戻ッテ來ルノデアリマスガ、吾々ハ政府ガ斯ウ云フ簡單

ナ法律ニ基イテ勅令ヲ發布致シマシテ、サ

ウシテ今ノヤウニ「制限若ハ禁止」ト云フコトニ入ル限リハ、商法、民法一切ノ規定ガ縱横無碍ニ叩キ捲ラレト云フ所ニ憲法違反ガアリ、同時ニ國民ノ不安ガアル、斯ウ云フコトニ吾々考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ此法律ノ發動致シマスルコトガ、戰時若クハ事變ノ折ニハ、又考ヘ様モアリマセウガ、是ハ例ヘバ第二十四條ノ總動員業務ニ關スル計畫ヲ設定セシムルトカ、或ハ當該計畫ニ基キ必要ナル演練——演練トハ演習練磨ト云フヤウナ言葉デアリマセウ、演練ト云フコトハ今回此法文ノ新發明デアリマスガ、此演練ヲヤルト云フヤウナ時ニ、此法律ハ當然發動シテ居ラネバナヌノデアリマスガ、此法律ノ發動スル所、今ノヤウニ既存ノ法律一切合財學ゲテ蹂躪セラレル結果ニナルノデアリマスガ、之ヲ重ネテ伺ヒタイ

○青木政府委員 第二十四條ニハ「總動員業務ニ關スル計畫ヲ設定セシメ又ハ當該計畫ニ基キ必要ナル演練ヲ爲サシムル」斯ウ云フ積極的義務ヲ負擔サセルノデアリマスガ、之ニ依ッテ現行法上ノ權利、自由ヲ蹂躪スルト云フヤウナ、廣イ意味ノモノデハナイト考ヘテ居リマス

○作田委員 青木次長ニ繰返シテ申上ゲル

ノデアリマスガ、私ノ質問スル所ヲ、モウ少シハッキリ捉ヘテ貰ハナケレバ困ル、私ハ今朝デアリマシタカ、昨日デアリマシタカ、五條、十五條ノ點ニ付テ御尋シタノデアリマスガ、ソレハ斯ウ云フモノヲ入レルコトガ出來ルカ出來ヌカ、原則トシテハ此勅令事項ニスルコトヲ、法律ニ依ッテ規定ヲスルコトガ出來ルカ、出來ヌカト云フ原則論ニ基ク一ツノ例トシテ御聽キシタノデアリマス、之ニ對シテ、十五條ハ立法事項デハナイノダ、命令事項デアルガ故ニ、之ニシタノダト云フコトヲ御答辯ニナツタ、法律論トシテハ洵ニ至レリ盡セリ、申分ナイ、併シ原則論トシテ五條、十五條ヲ聽イテ居ル以上ハ——六條モサウデアリマス、總テ斯ウ云フヤウニ、全部頭ニ出テ來ナイカラ申上ゲナイダケデ、時間ガアッテ一々研究スレバ、サウ云フ問題ガ出テ來ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトニ原則ハナルノデハナイカト言ヘバ、唯十五條ノ命令事項ナリヤ否ヤ、法律事項ナリヤ否ヤト云フコトヲ聽イタモノトシテノ御答辯ヲナサルカラ、吾々ハ詭辯デアアル、遁辭デアルト言フ、サウ云フ枝葉末節ノ形式論ハ聽キハシマセヌ、原則トシテ此法律ガドウ云フ形ニ於テ發動スルカト云フコトヲ聽イタノデアリマ

ス、隨テ此二十四條ノ演練ト云フコトヲ御聽キスルノハ、此演練ノ規定ヲ動カス爲ニ、此法律ガ事變前ニ發動スルノデハナイカト言フノデアアル、事變前ニ發動スルコト云フコトニナレバ、此全部ノ規定ガ縱横無碍ニ斬リ捲クルト云フ結果ニナルノデハナイカ、斯ウ言フノデアリマス、宜シウゴザイマスガ、戰時若クハ事變以前ニ、本法發動ノ機會アリヤ否ヤ、若シ發動ノ機會アリトスレバ、今ノヤウナ立法事項ト云フヤウナモノヲ、勅令デ斬リ捲クルト云フヤウナ結果ニナルノデハナイカ、斯ウ云フ二段ニ付テ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○青木政府委員 御説ノ如ク、第二十四條ノ計畫ヲ設定又ハ演練ノ問題ハ、戰時前、即チ平時カラ戰時ヲ通ジテ御説ノ如ク發動致シマス、併ナガラ此内容ニ付キマシテハ、此義務ヲ課セラレタ者ニ著シキ負擔トナラナイヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、之ニ依ッテ臣民ノ權利自由ニ付テ著シキ拘束、其他ノ問題ヲ生ジナイヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○作田委員 私ハ現内閣ノ方針デアリマスレバ總理大臣ニ伺ヒマス、又次ノ内閣ノ方針デアレバ、ソレハ現内閣ノ近衛總理ニ伺ッテモ分リハ致シマセヌ、況ヤ本法制定以後

何十年掛ルカ、何百年掛ルカ知ラヌケレドモ、其間ニ於ケル本法活動ノ範圍、若クハ發動振リヲ青木次長ニ聽イテ満足スルト御考ニナリマスガ、ソレナ御答辯ヲサレテハ、冗談モ休ミ——言ヘト言ヒタクナル、アナタ

ノ心持デ之ヲドウスル積リデアリマスト云フコトガ、立法事項トシテ永久ニ殘ルト御考ニナリマスガ、問題ハ其處ニアルノデハナイ、此法律ガ發動シタ折ニ、ドウナルカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデス、アナタノ意見ニ依ッテ、穩カニ濟マシテヤラウト考ヘテ居リマスナドト云フコトハ、兒戲ニ類スルコトデアアル、ドウモアナタノ答辯ハ吾々ノ頭ヘビント來ナイ、モウ少シ能ク御練リニナラナイト時間ガ掛ッテ仕樣ガナイ、ドウカ間意ヲ穿キ違ヘヌヤウニ御答辯ヲ願ヒタイ、重ネテ御聽キ致シマスガ、此法律ハ今言フヤウニ演練等ノ事項ガアリマスカラ、戰時事變ニナラナイ以前ニ、是ガ發動スル機會アリヤ否ヤ、若シアリトスレバ、今ノヤウナ命令ニ依ッテ、一切ノ既存法律ヲ改變スルコトガ出來ルト云フ結果ニナルノデアリマスカドウカ、斯ウ言フノデス、是ハ一ツ司法大臣カラデモ御答辯ヲ願ヒマセウ

○鹽野國務大臣 御答ヲ致シマス、第二十四條ハ計畫ヲ設定サセルコトト、ソレカラ

必要ナル演練ヲ爲サシムルコト云フコトガ、臣民ノ權利、義務ヲ束縛スル主要ナル點デアリマス、之ヲ……(司法大臣ヂヤイカス)ト呼ヒ其他發言スル者アリ)マア御聽キ下サイ、之ヲ實行スル手續等ヲ勅令ニ於テ規定致スノデアリマスルカラ、此條文ヲ振廻スト仰シヤイマスガ、振廻シテモ練習スル程度、又計畫ヲ設定スル程度ニ止マルノデアリマシテ、何等差支ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論此條文ハ平時ニ於キマシテモ行ハレルシ、戰時ニ於テモ行ハレル、斯ウ云フコトニナリマス

○作田委員 司法大臣ハ初カラ國務大臣トシテ御答辯ニナツテ居リマスルカラ、此點ニ付テモ十二分ニ御研究ガアツト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、今ノ御答辯ニ依リマスト、ドウモ私ノ同意ヲ御了解ニナツテ居ラスヤウデアリマス、是ハ先刻カラノ質疑應答ノ續デアリマスルカラ、ヤハリ瀧總裁ナリ、法制局長官ナリ、事務官ノ御方デモドナタデモ宜イガ、ドウモ青木サンハ私ノ同意ヲ取違ヒテ居ラレルヤウデアリマスルカラ、青木サン以外ノ方ガ宜イノデスガ、其外ノ方ニ御答辯ヲ願ヒマス

○植村政府委員 只今ノ二十四條ノ關係ニ付キマシテ、先ヅドウ云フコトヲヤルノデ

アルカト云フコトヲ先ニ申上ゲマス、ソレハ一番主ナル例ト致シマシテハ、工場等ニ戰時増産ヲ致シマス計畫ヲ作ラセル、斯ウ云フノガ一番「テイピカル」ナ例デアラウト思ヒマス、ソレカラ演練ノ關係ニ付キマシテハ、只今ノ例ニ付キマシテ申シマス、平時ニ於テハ餘リニ造ル經驗ヲ持タナイヤウナ戰時用品ト云フヤウナモノヲ、其處デ造ラセルト云フヤウナ場合ガゴザイマス、サウ云フ時ニソレノ増産ノ計畫ヲ作ラシメ、更ニ教育註文ト稱シマスガ、豫算ヲ取ツテサウ云フ所ニ註文ヲスル、ソレガ演練ニナルト、斯ウ云フノガ實體デゴザイマス、ソレカラ私取違ヘテ居ルカモ知レマセマス、先程來ノ御質問ノ點ハ、本二十四條ハ戰時、平時何レモ發動スル譯デアリマスルカラ、平時ニ於テモ先ヅ發動シマス、ソレカラ外ノ法規トノ關係ト云フ御話デアリマスルガ、是ハ計畫ヲ設定セシメ又ハ必要ナル演練ヲ爲サシメルト云フコトデアリマスルカラ、同様ノ事項ニ付テ外ニ法規ガアリマスレバ、是ハ優先ト云フ風ナ問題モ出ルノダラウト思ヒマスガ、外ニ一寸サウ云フコトガ考ヘラレナイノデアリマス

○作田委員 詰リ私ガ聽キタイノハ、此國家總動員法ガ何時發動スルカト云フ問題デ

アリマスガ、是ガ第一條ニ規定シテアル戰時ニノミ發動スルノデアレバ、苟モ戰時事變ニ際會シテハ、斯ウ云フコトニナツテモ致方ガナイト云フコトハ是ハ誰デモ諦メル、ソレガ即チ二十四條、是ハ一例デアリマス、二十四條其他澤山平時發動ノ條文ガアルノデアリマス、殊ニ逆カラ言ヘバ罰則ニ致シマシテモ、平時カラ是ハ發動スルノデアラウト思フ、ソレカラ先刻御尋致シマシタ本法施行ニ關スル重要事項審議會モ、ヤハリ事變前ニ發動スルノデアラウト思フ、サウ云フ風ニ色々考ヘテ見マス、此法律ガドレダケ戰時ニ殘リ、ドレダケ發動スルノカ、大體ニ於テ是ハ平時ニ於テ發動シテ來ルノデハナイカ、ドノ分ダケガ戰時ニノミ限ラレルノデアアルカ、ドレダケガ平時ニ發動スルカ、詰リ戰時ダケト云フコトニナレバ、總テノ法律ヲ改廢スルト云フコトハ一應承ッタ、其意味ニ於テハ御説ハ了解スル、ソレガ平時ニ發動シテ來ル條文ガ澤山アルノデアリマスルカラ、平時ニ發動シタナラバ……國家總動員法成立直後ニ、一部ハ是ガ發動スルノデアリマスガ、其發動シタ勢ニ依ッテ、他ノ法律ヲ片ッ端カラ雜倒スコトニナルノデハナイカト、斯ウ云フノデス

○植村政府委員 只今ノ戰時ノミニ發動致シマスノハ、申ス迄モナク各條ニ「戰時ニ際シ」ト書イタ分ニナリマス、ソレ以外ノ實際規定ハ平戰兩時ニ適用サレルコトニナルト思ヒマス、又他ノ法律決メラレテアリマスル諸事項トノ關係ト云フ點ニナリマス、平時ニモ同様ニ發動ガアルト云フ條文ハ、權利關係ト云フ風ナモノハ餘リ決メテナイノデ、結局只今例ニ御出シナリマシタ二十四條ニ致シマシテモ、計畫ヲ作ラセルト云フコトヲヤツテ居ルダケデアリマス、ソレカラ或ハ試驗研究ヲ命ズルトカ、又ハ技能者ノ養成等ニ付テ必要ナル命令ヲ爲スト、是モ技能者ヲ養成シテ貰フト云フコトデアリマシテ、ソレノ適當ナル補償ナリナンナリノ方法ガ付イデ、大ナル負擔ニナラスヤウニ出來テ居ル次第デゴザイマス

○作田委員 サウスルト平時ニ發動スルト云フモノハ、戰時ト書イテナイ條文ダケデハナイト思フノデスガ、ソレデ宜イノデスカ、戰時ト云フコトヲ書イテナイ條文ハト云フ御話デアリマシタケレドモ、例ヘバ罰則ニシテモ戰時モ平時モナイ……

スル本條が働キマセヌケレバ、自ラ働カナ
イト云フコトニナルダケデアラウト思ヒマ
ス

○作田委員 大體ハ薄分リニ分ツヤウデ

アリマスルガ、ヤハリ問題ハ根本ノ、所謂
本法ガ所期シテ居ル所ノ勅令ヲ、モウ少シ
立法事項トシテ殖ヤシテ行クト云フコトガ、
即チ國民ノ不安ヲ除キ、憲法違反ニアラズ
ヤトノ疑ヲ解クコトニナルノデアリマス、
此點ニ付テ昨日司法大臣ノ御答辯ヲ得タノ
デアリマスルガ、私満足シ得ナカッタノデア
リマスカラ、更メテ御聽キ致シマス、ドナ
タデモ宜シウゴザイマスカラ御答辯ヲ願ヒ
タイノデアリマスルガ、此點ニ付テ立法事
項ト命令事項ト云フモノノ區別ヲ、青木次
長ハ御説明ニナツタノデアリマスルガ、今御
聽キスルヤウニ、此勅令ニ依ッテ一切ノ法律
ヲ改廢スルト云フノデアリマスカラ、勅令
事項ナルガ故ニトカ、立法事項ナルガ故ニ
トカ云フコトハ出テ來ナイ、之ニ入ッテ來ル
モノハ當然立法事項ダト云フコトヲ言ヒ得
ルノデアリマス、隨テ端的ニ御聽キ致シマ
スルガ、之ニ書イテアル以上ニモウ少シ解
リ宜イヤウニ、例ヘバ十二條ニ書イテアル
ヤウナ書キ方ニシテ、ハッキリ分ルヤウニシ
テ、總テノ條文ヲ立法事項ヲ増加スル、斯

ウ云フ意思ガアルカナイカ之ヲ承リタイ、
是ハ本法審議ノ中心點デアリマスルカラ、
御親切ナル、御丁寧ナル御答辯ヲ願ヒタイ
ノデアリマス

○鹽野國務大臣 重要ナル御質問デアリマ

スルカラ努メテ御説明ヲシテ見タイト存ジ
マス、憲法第二章ニ依ッテ保護サレテ居リマ
スル、所謂立法事項、臣民ノ自由、財産、權
利等ヲ束縛或ハ剝奪スル場合ニ於テハ、必
ズ法律ニ依ラナケレバ相成ラヌト云フ趣旨
ニ基キマシテ、本法ニ於キマシテモ何レモ
臣民ノ權利、義務ヲ束縛致シマスル事柄ヲ、
各本條ニ於テ定メテ居リマス、併ナガラ各
條ニ於キマシテ勅令ノ定ムル所ニ依ルト云
フ字句ガ多數使ッテアリマス、甚ダ目障
リノヤウデアリマスルガ、是ハ前ニモ申
上ゲマシタヤウニ、事態ノ變化ノ大キイ戰
時ニ於キマシテハ、想定スルコトガ可ナリ
困難デアリマス、又之ヲ明ニ法文ニ規定シ
テ置キマスルト、實際ノ運用ノ上ニ於テ、
直チニ改廢ヲ必要トスル場合モアリマス、
又或ハ早く書イテ置ク事ガ、帝國ノ不利益
ニナル場合モアリマセウ、隨テ勅令ニ讓テ
置ク方ガ妥當デアルト考ヘテ居ルノデアリ
マス、勿論此勅令ニ定メマスル所、即チ委
任命令ノ内容トナリマスル所ハ、結局種々

ナル手續上ノ規定モアリマセウケレドモ、其
法律論トシテ主要ナル點ハ、臣民ノ權利義
務ニ影響スル事項ニ付テノ規定デアリマ
ス、ソコデ命令ニ依リマシテハ本來ガ臣民

ノ權利義務ヲ束縛スルコトハ出來ナイノデ
アリマス、必ズ法律ニ依ラナケレバ相成ラ
ヌノデアリマスガ、法律ニ依ッテ束縛ヲ致シ
マシタル其範圍内ニ於テ細カイ制限ヲスル
コトニ付テハ、命令ニ委任スルコトガ出來
ルト云フノガ、學說上ニ於テモ、亦實例ニ
於テモ一定致シテ居ル所デアリマシテ、此
法案ニ於キマシテモ、ヤハリ從來ノ例ニ依
リマシテ、勅令ニ規定スル所ノ内容ハ、臣
民ノ權利、義務ノ本質ニ觸レルモノデハナ
イノデアリマス、例ヘバ四條ノ臣民ヲ徵用
シテ業務ニ従事セシムルト云フ條文ニ付テ
考ヘテ見マスルト、臣民ヲ徵用シテ業務ニ
就カセルト云フコトニナレバ、臣民ノ自由
ヲ束縛スル所デアリマシテ、之ヲ本條ニ決
メテ居ル、但シ臣民ニハ男女ノ別モアルシ、
年齡、若クハ技能等、詰リ臣民其モノノ從
屬性ト申シマスカ、臣民其モノニ直接シテ
居リマスル事項デアリマス、是等ノ事項ハ
ヤハリ立法事項デアアルノデアリマスガ、併
ナガラ本體デアアル臣民ト云フモノノ中ニ含
マレテシマフ事項デアリマス、隨テ臣民ヲ

徵用スルト云フ中ニハ男ヲ徵用スルカ、女
ヲ徵用スルカ、或ハ少年カラ老年マデヲ徵
用スルカ、總テノ者ヲ含ムノデアリマス、
是ガ丁年前後ノ男ダケヲ假ニ徵用スルト致
シマスルト、帝國臣民タル男子ヲ徵用シテ、
ト書ケバ明瞭ニナリマス、併ナガラ戦局ノ
狀態ニ於キマシテハ、少年モ或ハ老年ノ人
モ徵集シテ、ソレ相當ノ業務ニ服セシムル必
要モアリマセウ、女モ亦徵用シテ業務ニ従事
セシムルコトモ必要ニナリマセウ、徵用スル

臣民ノ年齡、技能、男女別ト云フモノニ對照
致シマシテ、ソコデ必要ノ程度ニ於テ、之
ヲ規定スル、詰リ衛生材料、繻帶ノヤウナ
モノニ付テハ女デモ徵用シテ使フ、或ハ十
七歲前後ノ少年モ使フ、老年者モ使ヒ得ル、
或ハ勞作ニ従事スル腕力ヲ必要トスルモノ
ニ付テハ、十八歲以上カラ四十歲マデ、ト
云フヤウナ業務、竝ニ徵用スベキ人ノ種類
ニ依リマシテ、適當ノ制限規定ヲ設ケル、
斯ウ云フ爲ニ勅令ニ讓ルノデアリマス、其
徵用スル順序デアルトカ、色々ノ方法等ニ
付キマシテハ、是ハ全ク立法事項デアアリ
マセヌカラ、問題ニハナラスノデアリマス
ガ、問題ノ點ハ詰リ臣民ニ直接スル部分デ
アリマシテ、然ラバ茲ニ十二歲以上七十歲
マデノ臣民、即チ男女ヲ問ハズ臣民ヲ徵用

シテ業務ニ從事セシムル、斯ウスレバ何デモ皆引括メテシマフデハナイカト云フコトニナリマスルガ、サウスルト却ッテ臣民ニ非常ニ不安デアル、戰ニナクナラバ子供モ引張ラレル、老人モ引張ラレルト云フヤウナコトニナルノデアリマスルガ、ソコガ即チ總動員ノ計畫の方針カラ或ル仕事ニハ老人デモ宜イ、女デモ宜イ、少年デモ宜イト云フ場合ニ、此勅令ニ於キマシテ其從事スル年齢トカ、性別トカ、或ハ業務等ヲ對應セシメテ、然ルベク規定スルト云フヤウナコトが必要ニナルノデアリマス、ソレモ戰時ノ實際上ノ必要カラシテ、若者ダケデ宜イト云フ場合モアルシ、非常ノ場合ニハ老年者ヲモ徵用シナケレバナラヌト云フ事情モアリマセウ、ソレ等ニ對スルコトヲ其時ニ即應スルヤウニスルコトガ極メテ必要デアリマシテ、之ヲ法文ニ書キ表ハスコトハ極メテ煩雜デアルノミナラズ、却テ實際ニ當ッテノ運用ニ差支ラ生ズル場合ガアラウトモ推測サレルノデアリマス、又場合ニ依リマシテハ、ソシナニスル必要ノナイ場合ガアリマスカラ、臣民ヲ徵用シテ業務ニ從事セシムルト云フ程度ヲ、成ベク明確ニ、最小限度ニ勅令ニ依ッテ規定シテ置クコトガ、臣民ニ對シテハ極メテ親切ナヤリ方ト考ヘルノ

デアリマス、是ガ戰時ノ場合ニ於キマシテハ、即チ四條カラ二十條マデ、何レモ變化致シマスル戰時ノ事情ニ即應スル爲ニハ、勅令ニ讓ッテ置クコトガ適當ト考ヘラレルノデアリマス、其勅令ニ讓ル範圍ト申シマス所ハ、尙ホ更メテ申上ゲマスガ、本文ニ書イテアル義務以上ニハ出ナイノデアアル、寧ロソレヲ制限スルヤリ方デアリマスカラ、是ガ從來トモ認メラレテ居リマスル委任命令ノ實體デアリマス、決シテ其委任命令ガ他ノ法令ト反シマスルト申シマシテモ、ソレハ本文ニ書イテアル程度ニ於テ他ノ法律ヲ排斥致スノデアリマス、又命令ノ内容ハ、即チ本法各本條ノ内容デアリマスル其意味合ニ於キマシテ、他ノ法律ニモ拮抗シ得ルノデアリマス、命令デアアルカラ法律ヲ變更スルト申スノデアアリマセヌデ、此法律トシテ他ノ法律ニ對抗スルノデアリマス、平時ノ規定ニ於キマシテハ、ヤハリ勅令ニ定ムル所ガ澤山アリマス、是モ從來平時カラ戰時ニ互ッテ使ハレル所ノモノデアリマシテ、此範圍モ當然各本條ニ規定致シテ居リマスル臣民ノ權利義務ヲ束縛スル以上ニハ出デナイノデアリマス、若シ出デマシタナラバ、ソレハ不法ノ命令ニナリマス、左様ナ意味合ニ於キマシテ此勅令ガ澤山アルカラ

ト申シマシテ、ソレニ依ッテ他ノ法令ヲ、サウ縦横無盡ニ蹂躪スルト云フモノデアアリマセヌ、又元來此國家總動員法ハ、動員ニ必要ナル勞力、物資、資金、其他ノ關係ニ留ッテ居ルノデアリマス、是等ノ主ナル事項ヲ此處ニ集メマシテ、其運用ニ付テノ細目ヲ勅令ニ讓ル、斯ウ云フコトニナリマス、之ヲ一ツ／＼離シテ單行法ニ致シマシテ、非常ニ手續法マデヲ混ゼタ立法ニ致シマス、其間ニ於テ統一ヲ缺クヤウナ問題モ起ルノデアリマス、各個ノ法案ニ於テ、別々ニ改正變更ヲ致スヤウナ場合ガ起キマスルヨリモ、斯様ニ一覽的ニ一ツノ立法ノ下ニ集メテ睨ミ合セヤル方ガ、適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、一應御説明致シテ置キマス

○作田委員 今ノ鹽野司法大臣ノ御答辯ニ對シテ、重ネテ御尋シタイノデアリマスガ、法制局長官御用ノヤウデアリマスルカラ、一寸御尋シタイノデアリマス

官吏制度ノ問題ハ、本年今期議會ニ於ケル重要ナル問題ノ一ツデアリマス、豫算總會其他有ユル機會ニ於テ、議員諸君カラ御質疑ガ出テ居ルノデアリマス、之ニ對シテ相當御研究ニナッテ居ルヤウデアリマス、新聞紙等ニ於テハ屢々散見スルノデアリマスルガ、公式ニ議會ニ對シテ御見セニナラヌヤ

ウデアリマス、勿論變更サレルコトモアルノデアリマセウガ、今ノ此統制經濟時代ニ於ケル官吏ノ任用制度、若クハ行詰ッテ居リマスル所ノ此身分保障令、之ヲ非常ニ大キイ問題トシテ皆ガ見テ居ルノデアリマス、殊ニ此國家總動員法ガ一部ニシテモ行ハレテ、サウシテ何時如何ナル時ニ、本當ノ大キイ問題ガ發生スルカ分ラヌト云フヤウナ時代ニ於ケル官吏ノ任用制度、及ビ官吏任用制度ニ關聯致シマスル所ノ學校其他ノ官吏ノ養成ニ關スル制度、斯ウ云フコトニ付テハ非常ニ吾々ハ關心ヲ持ッテ居ルノデアリマスルカラ、今マデ御研究ニナッテ居ル所ヲ、未定稿デモ宜シイノデアリマスルガ、茲ニ本委員會ニ於テ御發表ニナルコトガ出來マセウカドウカ、之ヲ御尋スルノデアリマス

○船田政府委員 只今作田君カラ官吏制度全般ニ付テノ改善ノ内容ニ付テ、御質問ガゴザイマシタガ、是ハ本議場竝ニ各種委員會ニ於キマシテ、總理大臣カラ御答辯ガアリマシタ通り、目下法制局ニ於テ研究ヲ致シテ居リマシテ、稍々成案ニ近イ草案ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ其内容ニ付キマシテハ、樞密院ニ御諮詢ヲ奏請シナケレバナラヌ問題ガアリマスノデ、是ハ此委員會ニ其全貌ヲ

明瞭ニ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、併ナガラ只今考ヘテ居リマスル所ノ概要ヲ申上ゲマスレバ、既ニ新聞ニモ其一部ガ傳ヘラレテ居リマスル通りニ、先ヅ第一ニハ高等試験令ノ改正ノ問題デアリマス、

此問題ニ付キマシテハ、從來御承知ノ通り法科萬能ト云フ御非難ガアリマスノデ現下ノ時局ニ鑑ミマシテ適當ナル試験科目ノ改正竝ニ試験ノ方法ニ付テノ改善ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、例ヘバ從來ハ法律科目ニ付テノミノ試験デアリマスガ、出來得ベクンバ經濟トカ國史トカ云フヤウナ科目ニ付テモ、之ヲ試験科目ノ中ニ加ヘル、又單純ナル學術試験バカリデナクシテ、人物試験ヲ加味スルコトノ出來ルヤウナ試験制度ヲ採用シタイト云フ考ヲ以テ、目下立案ヲ致シテ居リマス

次ニ文官任用ノ制度ノ問題デアリマスガ、之ニ付キマシテモ自由任用、若クハ特別任用ノ範圍ヲ出來ルダケ擴張致シマシテ、官海ニ有爲ノ人材ヲ出來ルダケ入り得ル所ノ門戸ヲ開キタイト云フ考ヲ以チマシテ、勅任文官ニ付テハ出來ルダケ特別任用ニ依ッテ採用スルヤウナ途ヲ開キタイ、又奏任文官ニ付キマシテモ、出來ルダケ特別任用ノ範圍ヲ擴張スルコトニ目標ヲ置キマシテ、

目下立案研究ヲ致シテ居リマス
次ニ此任用ニ關シマシテ、市町村或ハ其他ノ公共團體ノ事務ニ堪能ナル人々ヲ、地方ノ事務官等ニ採用出來ルヤウナ方法モ、目下考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ文官分限制度ノ問題デアリマス、是ガ恐ラク委員各位ノ非常ナ關心ヲ持ッテ居ラレル所ト考ヘマスガ、此問題ニ付キマシテハ、昭和九年齋藤内閣ノ下ニ於テ、文官分限令中ノ第十一條ヲ改正セラレマシテ、御承知ノ通り身分保障制度ガ設ケラレタノデアリマス、當時身分保障制度ガ制定ニナリマシテ趣旨ハ、既ニ諸君モ御承知ノ通りニ、幾多ノ弊害モアリマシタノデ、官吏ノ恆久性ヲ保持シメテ、官吏ヲシテ十分ニ能率ヲ發揮セシメルコトニ致シタイト云フ考ヘカラ、此保障制度ガ出來タノデアリマス、併シ其後ニ於ケル實情ヲ見マスト、動モスレバ其保障制度ノ爲ニ、官界ノ士氣ヲ沈滞セシムルト云フ非難モボツ／＼アルノデアリマスカラ、隨テ或ル程度ニ此保障制度ニ改善ヲ加ヘマシテ、官界ノ空氣ノ一新ヲ圖リタイト云フ考ヲ以テ、今研究ヲシテ居リマス、又銓衡制度、即チ勅任文官ナリ、奏任文官ナリノ特別任用ニ付テノ銓衡制度ノ改善ト云フヤウナ問題ニ付テ

モ、考慮中デゴザイマス、又各省ニ於ケル各省割據ノ弊害ヲ除キ、人事ノ圓滑ナル運營ヲ圖リマス爲ニ、中央ニ統轄機關ヲ設ケルカドウカト云フ問題ニ付キマシテモ、目下研究ヲ致シテ居リマス、必ズ設ケルトハ申上ゲラレマセヌガ、出來ルダケ人事行政ノ調整ト統一ヲ圖ルト云フコトノ趣旨ヲ以チマシテ、何等カ適當ナル制度ノ改善ヲ圖リタイト云フ考ヲ持チ、以上ノヤウナ要旨ヲ以テ目下立案ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○作田委員 大體諒ト致シマス、モウ私ノ

ハ僅カデアリマスガ、今ノ司法大臣ノ御答ニ關シマシテハ、最初カラドウモ吾々ハ理解シ得ナイノデアリマス、本法ニ規定シテアル點ハ、立法事項デアルカラ、規定シテアル其以外ノ勅令ニ讓ルモノハ、命令事項デアルカノ如キ御説明デアリマシタガ、ソレハ例ヘバ第五條關係ニ付テ見マシテモ、協力ニ對シテハ必要ニ應ジ其實費ヲ辨償スルト云フコトガ書イテアル、實費ヲ辨償シ、報酬ニ依ッテ徵用シ協力セシムルト云フコトト、只デソレヤルト云フコトハ、臣民ノ權利義務ニ非常ニ大キナ影響ガアルト思フノデアリマシテ、是ハ命令事項デハナイト私ハ考ヘテ居ル、一々斯ウシテ見レバ澤

山ノ例ガアルノデアリマスガ、是ハ當然立法事項ニ入ルモノト思ヒマス、然ルニ斯ウ云フモノヲ何故御除ケニナツタカト云フト、今度ハソレハ變化ニ應ズル爲メダト仰シヤル、變化ト云フモノガ、戰爭等ノ場合ニ於テハ、吾々ノ常識ヲ以テ判斷シ、豫測シ得ラレザル大事變ガ起ルデアラウト云フコトハ、想像シ得ルノデアリマス、所ガ例ヘテ申シマスレバ、必要ニ應ジテ實費ヲ辨償スルト云フコトガ、事變ノ大小ニ依ッテ變化スルカドウカ、支那事變ニ付テ本法ガ發動シタトシテ、支那事變ニハ必要ニ應ジテ實費ヲ辨償出來ルガ、露西亞ヲ敵トシ、或ハ英吉利ヲ敵トスルヤウナ場合ニ於キマシテハ、必要ニ應ジテ實費ヲ辨償スルコトガ出來ナイカト云フト、私ハ區別ハナイト思フ、絶對ニ幾ラ／＼遣レト言ヘバ、ソレハ國力ニ應ジテ困ルコトガアリマセウケレドモ、必要ニ應ジテ實費ヲ辨償スルト云フコトヲ書込ムコトハ、事變ノ大小廣狹ニ依ッテ斷ジテ是ハ變化スルモノデハナイ、隨テ千變萬化ノ事變ノ狀況ニ應ジテ、實費ヲ遣ルト云フコトハ、命令事項デハナクテ、立法事項デハナクテ故ニサウ言ヘルノデアルガ、命令ト法律トノ關係ニ付テハ、サウ云フヤウナ風ニ御逃ゲニナルシ、其處マデ突ッ込ンデ行

クト、變化ニ應ズルト御答ニナルガ、如何ナル變化ニ對シテモ、應ジ得ル幾多ノ規定ガアルト云フコトハ、司法大臣其他常識ノアル人ニハ分ル筈デアル、ソレガサウデナイト云フノハ、強辯デアルト私ハ考ヘマス、更ニサウ言ヘバ、今度ハ統一スルノダト仰シヤル、統一ハ結構デアリマス、統一ニハ更ニ意見ハナイノデアリマスケレドモ、本法ニ基イテ勅令ト云フモノハ唯一本デオヤリニナルノデハナイト思フ、此間カラノ質問應答ニ依ッテモ、數十本、數百本ノ勅令ガ要ルカノ如ク理解シテ居ルノデアリマス、一ツノ勅令デアアルナラバ統一ト云フコトガ出來マセウケレドモ、數十本、數百本ノ法律ニ依ッテヤルコトガ、果シテ統一統制ヲ保ツ所以デアアルカドウカ、斯ウ云フ風ニ論ジテ行クト、吾々ノ聽カントスル所ノモノラ飽マデ逃ゲル爲メノ答辯以外ノ何モノデモナイ、ソコデ更メテ御聽キ致シマスガ、端的ニ御答ヲ願ヒタイ、此法案ノ法條ヲ今少シク擴大シテ、今日人智ノ想像シ得ルコトデ、大シタ變化ノナイコトヲ御入レニナル意思アリヤ否ヤ、之ヲ御聽キスルノデアリマス

○鹽野國務大臣 勅令ハ御説ノヤウニ何本モ出ルコトハ考ヘラレルノデアリマス、殊

ニ本法ニハ個々ニ見マスト、關係ノ離レタ部分ガアリマスカラ、勅令ノ種類ハ可ナリ多數ニナルト思ヒマス、併ナガラ總動員法ト云フ一ツノ法律ノ中カラ出ル所ノ勅令デアルト云フ頭ヲ以チマシテ作リマス場合ニハ、他ノ勅令トノ關係ヲモ能ク配合セルコトガ出來ルノデアリマス、ソレガ別々ノ單行法デアルト、其點ニ付テハ往々ニシテ缺陷ヲ生ズル虞ガアルト考ヘルノデアリマス、又立法事項ヲモウ少シ詳シク書イテハドウカト云フ御尋デアリマスガ、其點ニ付テハ本法ノ程度ヲ以テ適當ト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、之ヲ擴メルト言ヒマスガ、詳シク書クト云フ意圖ハ持つテ居リマセヌ、尙ホ例ニ御擧ゲニナリマシタ實費ノ辨償ト云フコトハ、立法事項デハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○川崎委員 今ノ問題ニ關聯シテ簡單ニ申上ゲタイ、段々承ッテ居リマスト、大體一般ノ法律ノ立法ノ立前ニ付テノ委員ノ御質問、政府ノ御答辯ト往ツタリ來タリシテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ハ斯ウ思フノデアリマス、ドノ條文ヲ例ニ取ッテモ宜シイノデアリマスガ、所謂各本條ノ實體法律ニ於テ、勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フ規定ガアリマス、是ハ所謂委任勅令ノ授權ノ規定デ

アリマス、此點ニ付テノ委員ノ方々ノ御質問ハ、人ニ依ッテ多少ハ違ヒマスガ、意見ハ別トシテ、私ノ伺ッテ居ル所デハ、要スルニ此委任勅令ヲ斯ク廣範圍ニシテ置ケバ、ドウ云フヤウナ内容ノ勅令ガ、此授權ニ依ッテ規定セラレルカ分ラヌ、其全貌ガ分ラヌト、吾々ハソコニ不安ガアル、斯ウ云フヤウニ私ハ承ッテ居ルノデアリマス、隨テ人智ノ及ブ限リニ於テ、現在ニ於テ將來ノコトヲ豫想シ得ル限リニ於テ、不安ノナイヤウニ茲ニ出來ルダケ明確ニシタナラバ宜イデハナイカト云フノガ、委員ノ方々ノ狙ヒ所デアリマス、所ガ政府ハ之ニ對シテ、オ前達決シテ心配セヌデモ宜イ、元々授權サレテ居ルコトハ各本條ニ於テ制限ガアル、即チ是ガ發動スル時ハ何時デアアルカト言ヘバ、此法ノ所謂戰時又ハ戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合デナケレバ、決シテ發動セヌ、發動ハ此場合ニ限ラレテ居ル、而モ大體ニ於テ戰時規定ハ不必要ナ時ニハヤラス、國家總動員上必要ナル場合ニ於テ、初メテ是ガ行ハレルト云フコトデアアル、而シテドウ云フコトヲ規定シ得ルカ、政府ノ權限ハ各本條ニ依ッテ規定サレテ居ル、隨テ如何ナル場合ニ於テモ、所有權ノ制限ニシテモ、禁止ニシテモ各本條ニ實體的ニ規定シテアル、

是以上ノコトハヤラスカラ心配ハ要ラス、最大限ハ示サレテ居ル、寧ロ勅令ノ内容ハ必要ナリ——ト言ッテハ語弊ガアリマスガ、此中ニ直接國防ノ目的、國家ノ安全ヲ期スル爲ニ必要ナル——政府ノ爲ニ辯護スル意味デ言ヘバ、最小限度ニ必要ナルモノヲ勅令ニ依ッテ規程スル、何モサウ此授權ヲ濫用シテ、無暗矢鱈ニ不必要ナルコト迄モ規定スル意味デハナイ、此授權ノ内容ノ勅令ハ制限的ニヤル積リデアアルカラ、寧ロ安心シテ宜シイデハナイカト云フヤウナ御答辯ノヤウニ伺フノデアリマスガ、ソレヲハッキリ仰シヤレバ宜イノニ、ドチヲモ其點ヲハッキリサセズ、吾々ノ方カラ言ヘバ、不安ノ念ヲ持つテ居ルノニ、政府ノ方デハ、安心セイ、心配セヌデモ宜イ、是ハ制限的ニ規定スルカラ、臣民ノ權利、自由ヲ寧ロ寬大ニシテ尊重スル意味ニ於テ規定スルカラト云フヤウニ伺ッテ居ルノデアリマスガ、ソレヲハッキリ仰シヤッタナラバ、論點ハ明ニナル、但シ私ハ政府ノ言フコトヲ是認スルノデアリマセヌ、ト申スノハ私達ノ申上ゲルノハ、度々問題ニナッテ居リマスガ、現在ノ近衛總理ノ人格ヲ信用シ、現在ノ内閣ノ施政方針ヲ信賴シテ居ルカラ、サウ云フ無茶ナ立法ヲサレルコトハナイカラ安心シテ

宜シイ、現内閣ノ近衛總理ナリ、現内閣ノ諸公ハ吾々諒解シ、サウシテ其施政方針ヲ諒解シテ居リマスルカラ、無茶ナコトハサレナイト思フ、ソレダカラ此法ヲ此儘ニ運用サセテモ宜イ、併ナガラ是ガ十年、二十年、國家ノ恒久法トナツタ場合ニ於テハ、如何ナル内閣ガ茲ニ出現スルカモ知レヌ、ドウ云フ大臣ガ出テ來ルカモ知レヌ、サウ云フ場合ニ於テ、私ハ不祥ナコトヲ言ヒタクハアリマセヌケレドモ、假ニ之ヲ想像スレバ、惡意ヲ以テ、或ハ惡意ガナクテモ自分ノ一ツノ政治方針トシテ、施政ノ方針ヲ以テ此法ヲ運用シテ、自分ノ固ク信ズル所ナリ、斯ウシヤウト云フコトニ付テ此法ヲ運用シヤウ、濫用シヤウトスレバ、ソレハ濫用シ得ルデヤナイカ、其餘地ガアルノデヤナイカト云フコトヲ、吾々ハ考ヘナクテハナラス、不祥ナコトデアリマスルガ、ソレヲ一ツ國家永遠ノ爲ニハ如何ナル場合ニ於テモ、法律ガ如何ニ濫用サレテモ、人民ガ之ニ依テ塗炭ノ苦ミニ陥ルトカ、總テノ權利、自由ヲ剝奪スルト云フコトノナイヤウニ、吾々ハシナケレバナラス、是ガ又吾々ノ責任デアル、其意味カラ云ヘバ、此勅令ハ唯茲デ授權ヲシテ置ケバ宜イト云フ、

政府諸公ニ於テハ是ハ制限的デ、寧ロ人民ノ權利、自由、財産ヲ尊重スル意味デ、不必要ナコトハヤラナイ、國家總動員上必要ナ限度ニ於テヤルト仰シヤイマスケレドモ、併ナガラソレガ法文ノ何處ニモ現ハレテ居ラナイ、ダカラヤラウト思ヘバドノ法文ヲ取ツテ來テモヤレル、例ヘバ十一條ラ此處ニ運用シテ持ツテ來レバ「政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、社債ノ募集若ハ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付制限若ハ禁止ヲ爲シ」トアル、是ガ一ツデセウ、ドンナ會社デモ何デモ彼デモ是カラ資本ノ増加ハ許サヌ、設立モ是カラハ許サヌ、合併モ何モ彼モ許サヌ、如何ナルモノデモ全部禁止シヤウト思ヘバ禁ズルコトガ出來ルデヤナイカ、其次「會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ」トアルデセウ、此一ツノ例ヲ取ツテモ、會社ノ利益金ノ處分ニ對シテハ、會社ニ利益金ガ幾ラアツテモソシナモノヲ配當シテハイカスト云フコトモヤレル、又利益ノ何分マデハ配當シテ宜イガアトハイカヌ、例ヘバ利益ノ配當ハ七分マデハ宜イガ、アト二分ハ何

處カノ公共團體ニ寄附シナケレバイカヌト云フコトモ出來ル、是ハ法律ニ依ツテ勅令ニ授權サレテ居ルカラ、勅令ニ依ツテサウ云フ命令ヲスルト致シマスレバ、其時ノ内閣ガ合法的ニヤレルモノデアルト言ハナケレバナラス、政治上ノ批判ハ別デセウガ合法的ニヤリ得ル餘地ガアル

○小川委員長 川崎君、關聯質問デスカラ其積リデ……

○川崎委員 關聯質問デスガ、之ヲ説明シナケレバ分ラナイ、ドウモ今迄ノ委員トノ質問應答ガチグハグデス、要スルニ此處ヲ突込ンデ言ハナケレバ分ラヌデス、關聯質問デスガ、結局此趣旨ヲ言ツテ居ルノデス、少シ長クナツテモ是ガ分レバ此問題ニ付テ今後無益ナ問答ヲ繰返ス必要ガナイ、例ヘバ「銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定スル」ト云フノデアルカラ、ドウ云フモノヲ指定シテモ宜イノデセウ、是ハ其他ニ類似スルモノヲ指定シテモ宜イノデセウ、指定シタモノノ運用ニ付テ、何万圓以上ハ政府ノ認可ヲ要スル、假ニ甲ノ會社ガ認可ヲ貰ヒニ行ツタ時ニ、オ前ハイケナイ、認可ヲシナイ……

○小川委員長 川崎君、大體ノ趣旨ハ分ツテ居ルヤウデスカラ……

○川崎委員 サウ云フ風ニサレテハ困ルガ、其點ヲ御考デスカ、而モ是ガ第四條以下二十條マデ皆網羅サレテ居ル、ダカラ此法ヲ惡用スレバ、國民經濟ノ活動ハ總テ支配シ得ル譯デス、總動員法ノ必要ナリヤ否ヤト云フコトハ誰ガ判斷スルカ、政府ガ判斷スル、而モ救済規定モ何モ設ケテナイ、一般ノ行政救済規定以外ニ、特別ナモノハ何モ設ケテナイ、然ラバ政府ガ總動員上必要ダカラヤルト言ヘバ、其必要ノ是非ニ付テ人民ハ爭ヘナイ、サウ云フ意味ニ於テ吾々ハ此内閣ヲ信用シ、信賴シテ居ルカラ宜シイトシテ、將來ノコトヲ考ヘレバ、諸公ハ常ニ國家ノ最大、最惡ノ場合ヲ考慮サレルト仰シヤルガ、吾々人民ノ側カラ言ヘバ、最惡ノ内閣ガ出來タ時ニ、ソレガドウ云フ運用ヲスルカト云フコトヲ考ヘル、此處ヲ能ク御考ニナツテ御答辯賜ランコトヲ此機會ニ申上ゲテ、此點ニ付テノ政府ノ御答辯ヲ促シテ置キマス

○瀧政府委員 川崎サンノ御質問ハ、要約サレタ要點ヲ申シ述べラレタト思ヒマス、若シ最惡ノ政府ガ出來テ、之ヲ濫用シタ場合ニハ、議會ハ嚴然トシテ健在デアリマスルカラ、委任立法ハ何時デモ取消スコトガ出來マス、御心配ハナイト思ヒマス、ソレ

カラサウ云フ心配ガアルニ拘ラズ、尙且ツ斯ウ云フ法律ヲ作ラナケレバナラスト云フコトハ、實ハ申上ゲズニ居リマスクレドモ、總動員計畫ト云フモノガアリマシテ、其必要上ヤルノデアリマスルカラ御諒承ヲ願ヒマス

○川崎委員 一寸關聯デスカラ、見逃シ難イ一點ニ付テ簡單ニ……

○小川委員長 簡單ニ願ヒマス

○川崎委員 假ニ今ノ瀧君ノ御話デ、サウ云フヤウナ無茶ナ内閣ガ出テ之ヲヤレバ、委任立法ダカラ、ソレハ議會ガ健在デアレバ廢止スレバ宜シイ、成程仰シヤル通りデアアル、緊急ナ立法ガ出レバソレハ議會ガ次ノ議會ニ於テ廢止スレバ宜シイ、併シ法律ノコトニ付テハアナタモ御承知デアリマセウ、私ハ却テ素人ダカラ分リマセヌガ、政府ハ發案權ヲ持ッテ居ル、議院モ發案權ヲ持ッテ居ルケレドモ、政府ノ方ハ議會ヲ通レバ直チニ御裁下ヲ經テ、ソレノオヤリニナルガ、吾々貴衆兩院ガ一致シテ法律案ヲ出シテ、而シテ貴衆兩院ヲ通過シタト云フ場合ニ於テモ、假ニサウ云フ最惡ノ内閣ガ出來レバ、吾々が折角貴衆兩院ヲ通過シテ法律案トシテモ、是ハ御裁下ヲ經テ交付サレヌ、サウ云フ場合ニ於テハ議會ハ悲シイ哉無力デス、

只今アナタハ議會ガ健在デアレバ、サウ云フ不都合ナ事ヲスレバ何時デモ委任立法ヲ取消セバ宜シイト仰シヤルガ、日本ノ憲法ノ條章ナリ、日本ノ立法ノヤリ方ヲ、モウ一遍御研究ヲ願ヒタイ

○作田委員 今川崎君カラモ御述ニナリマシタガ、要スルニ本法ノ生死ヲ握ッテ居ル大キイ問題デアリマスカラ、政府ノ方デモウ少シ胸襟ヲ開イテ御答辯ニナツテ、立法化シ得ルモノハ立法化スル、例ヘバ今年齡ノ問題デ縷々御述ニナツタヤウニ思ヒマスガ、年ノ範圍ヲ七十歳ト十歳ト云フコトニ決メレバ、國民ハ驚クト思フ、之ヲ五十歳ト二十歳ト假リニ御決メニナツデモ、ソレヲ變更スル方法ハ幾ラモアルト思フ、議會開會中デアレバ、戰時ニ際シテイザト言ヘバ一瞬ニシテ、此法律ノ規定ハ出來マス、議會閉會中デアレバ憲法第八條ノ發動モアリマセウ、或ハ三十一條ノ發動モアリマセウ、千變萬化千變萬化ト言ハレルガ、年マデ千變萬化ハナイノデアリマス、斯ウ云フ點ヲモウ少シ御決メニナルト云フコトニナレバ、吾々が不安ニ思フコトハ皆——皆デハアリマセヌケレドモ、餘程無クナル、モウ少シ之ヲ無クシテ、國民ノ不安ヲ少クシテ、此立法ヲ完成シテ行ク意思ナキヤ否ヤト聽イテ居ル

ニ拘ラズ、今日マデ御ヤリニナツタコトヲ金科玉條トシテ支持サレテ居ル所ニ、吾々ハ不快ナル感ジヲ持ツ、今日マデ是ガ成案ニナル迄ニハ、輿論ニ押サレテ第六條ヲ變更サレタリ、二十條ヲ變更サレタリ、色々ヤツテ居ラレル、是ハ官僚ガ御ヤリニナツタコトデモ、斷ジテ金科玉條デナイト云フコトヲ映ズル唯一ノ證據デアアル、ダカラ是ダケノ異議ヲ言フ譯デアアル、是ダケノ論議ヲ口ヲ揃ヘテスル者ガアルノデアアル、之ヲ擴メテ行クト云フコト、之ニ對シテ政府ガ襟度ヲ大ニシテ、此程度ナラ出來ルト云フコトニサレルノガ、此大立法ヲヤル時ノ必然ノヤリ方デアルト思フ、斯ウ云フ意味ニ於テ、既ニ今御列席ノ政府委員諸公デハ御答辯出來マセヌカラ、改メテ私ハ近衛總理大臣ニ御尋ネスルコトニ致シマシテ、此問題ハ是デ打切りマス

ソレカラ鐵道大臣ノ出席ヲ請求シテ置イタノデアリマスガ、鐵道省ノ才役人ドナタカ見エテ居リマスガ、見エテ居リマセヌカ、ドナタデモ宜イノデス、大臣差支ガアレバ局長デモ誰デモ宜イノデス——一寸見テ來テ下サイ、其間ニ内務大臣ニ御聽キ致シマスガ、實ハ總理大臣ニ御聽キシテ、其次ニ内務大臣ニ御聽キシタイト云フ者ヲ私ハ持ッ

テ居ルノデアリマス、ト申シマスルノハ大體此議會ノ機能ト云フ問題デアリマスルガ、斯ウ云フ風ニ立法ノ傾向ト云フモノガ、漸次ニ行政府ニ移ッテ行クノデアリマス、今日マデ吾々が考ヘテ居タ立法ト云フモノハ、微ニ入り細ヲ穿チ殆ド間然スル所ナキマデノ規定ヲヤルト云フコトガ、立法ノ習ハシデアリマスガ、今日此複雜セル時代ニ即應致シマスノニハ、ドウシテモ法三章的ノ規定ニ依ッテ、大部分ヲ行政府ニ委セルト云フ立前ヲ採ルト云フコトハ、是ハ日本デ言ヘバ昭和七年齋藤内閣ガ爲替管理法ヲ御決メニナツテ以來、今日マデノ一貫セルヤリ方デアアル、多々益々殖エツ、アルノデアリマス、其結論ノ大キイノガ此總動員法デアリマスルガ、今日以後尙ホ續々是ハ殖エルモノト、吾々ハ覺悟シテ居ラナケレバナラス、是ハ獨リ日本バカリノ傾向デハアリマセヌ、三權分立ノ儼乎トシテ確立シテ居リマスル亞米利加ニ於テモ、議會ニ最モ大ナル權限ヲ持ッテ居リマスル英吉利ニ於テモ、ヤハリ行政府ニ多大ノ權能ヲ委シテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ風ナ立法ノ傾向ヲ見マスル時ニ、偕テ議會ハドウスレバ宜イノデアアルカ、吾々ハ之ヲ痛切ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、齋藤内閣以來今日マデ政黨内閣ハ出來ナ

イ、所謂舉國一致内閣ト云フモノガ出来テ居ルノデアリマスルガ、今日ノヤウナ時勢ニハ益、サウ云フコトガ必要デアルデハナイカト、私ハ痛感シテ居ルノデアリマス、此事實ヲドウ云フ風ニ見テ居ルカ、斯ウ云フ空氣ヲ見テ、動モスレバ議會ヲ否認シ、或ハ政黨ニ對シテ解消ヲ求メル、斯ウ云フヤウナ空氣ハ随分一部ニアルノデアリマス、私等ハ一體議會否認ノ空氣ト云フモノハ、何處カラ出テ來タカ知ラヌノデアリマスケレドモ、今ハ文明國ト言ヘバ伊太利トカ、獨逸トカ云フモノヲ見テ居ルノダラウト思フノデアリマスケレドモ、而モサウ云フコトヲ言フ人ハ、多クハ右翼ト稱セラレル者デアル、右翼ハ結構デアリマス、結構デアリマスケレドモ、一體伊太利ノ皇室ハ何處ヘ行ツテ居ラレルカ、獨逸ノ皇帝ハ何處ニ居ラレルカ、獨逸、伊太利ト云フモノヲ防共協定ノ樞軸トシテ、是ト聯繫ヲ保ツト云フコトニ付テハ、吾々ハ賛成スルノデアリマス、ケレドモソレガアルガ爲ニ、總テサウ云ツタヤウナ所ヲ採ツテ來テ、喧々囂々如何ニモ立派ナ制度組織カノ如キ宣傳ヲスルコトニ付テ、吾々ハ非常ナ不快ノ感ジヲ持ツテ居ル、而モサウ云フ空氣ガ屢、現實ノ問題トシテ現レルノガ、政黨ノ占據事件デアリマス、

或ハ襲撃事件ト云フヤウナ形ヲ變ヘテ現レテ居ル、之ニ對シテ動モスレバ内務當局ノ取締ガ完全ニアラズト云フガ如キ印象ヲ、吾々ハ持ツノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ國家總動員法ハ出テ居ル、而モ廣汎ナル權限ヲ行政府ニ取ルノデアリマス、而モ吾々ハ已ムヲ得ナイトシテ之ヲ認メル時ニ、内務大臣ハ他ノ委員會カ本會議カ存ジマセヌガ、新聞紙ニ依リマス、選舉法ヲ改正スルト云フコトヲ仰シヤツテ居ルノデアリマス、選舉法ノ改正ト云フコトハ、是ハ數年來ノ問題デアリマスケレドモ、此選舉法ガ齋藤内閣ノ折ニ提案ニナツテ破レテ、其後下ノ内閣デアツタカ、或ハ齋藤内閣デアツタカモ知レマセヌガ、出來上ツテ今日ニナツテ居ルノデアリマスルガ、其當時カラ選舉法改正ヲ喧々囂々サレタ問題ハ、枝葉末節ノ問題デアルト私共ハ見テ居ツタノデアリマス、所ガ時代ハ今ノヤウニ急激ニ變化シツノアルノデアリ、而モ斯ウ云フ法案ヲ前ニシテ、議會ノ機能ヲ何處ニ認メルカト云フコトハ、苟モ一國ノ政治ヲ掌ツテ、一國ヲ指導スル立場ニアル人トシテ、當然御考ニナラナケレバナラヌ問題デアル、私共ハ斯ウ云フ法案ヲ出ス時ニ、行政府ト對立シテ居ル所ノ立法院ノ權限機能ト云フモノヲ、何處ニ

持ツテ行クカト云フ凡ソノ標準ヲ決メテ行ツテ、サウシテ其決メテ行ツタ形ニ依ツテ行政府、立法院ト云フモノガ渾然トシテ一致融和スル所ニ、總動員態勢ト云フモノガ完全ニ生レテ來ルト考ヘルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ選舉法ト云フモノヲ御考ニナルトスルナラバ、ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、是ハ總理大臣ニ向ツテ、貴族院ノ改革ノ問題及ビ衆議院ノ問題、竝ニ政黨ニ對スル認識ノ問題、斯ウ云フコトニ關聯シテ、サウシテ總動員法ヲオヤリニナル心構ト云フコトニ付テ、之ヲ資料トシテ態度ヲ決スル、斯ウ云フ立前デ伺フノデアリマスガ、本日ハ總理ハ御見エニナリマセヌ、内務大臣ハ長ク御待タセ致シマシタノデ、總理大臣ノ代リニ内務大臣ニ伺フノデアリマス、サウ云フコトニ付テ一ツ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

重ナ研究ヲ要シマスノデ、只今此處デ選舉法ノ改正ヲ行フトモ行ハナイトモ申上ゲル時機ニハ達シテ居リマセヌ、又議會ヲ尊重スルコトハ、モウ議論ノナイ所デアリマス、議會ガドウデアルカト云フ問題ト、此總動員法トハ私ハ關聯ハナイト考ヘテ居リマス

○作田委員 關係ガナイト御覽ニナルノモ見方デアリマセウ、私ハ斯ウ云フ立法ヲスル折ニ、心構トシテ議會ノ機能ト云フモノヲ、如何ニ發揮サスカト云フコトガ、國民精神總動員ノ上カラ言ツテモ、斯ウ云フ國家總動員體形ヲ作ル上ニ於テモ、最モ必要ナルコトデアリ、吾々トシテハ多大ノ關心ヲ持ツコトナンデアル、斯ウ云フ立前デ伺ツタノデアリマスガ、關係ナシトノ御見解デアレバソレモ一個ノ御主張デアリマセウ、ソレ以上承リマセヌ

次ニ鐵道大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、本法ト鐵道ノ關係デアリマスルガ、本法發動ノ時ニ、鐵道省ハ此總動員計畫ノ中ニ御入りニナルノデアリマスガ、ナラスノデアリマスガ、之ヲ承リタイ

○中島國務大臣 本法發動ノヤウナ場合ニハ鐵道省ト致シマシテハ、全力ヲ擧ゲテ之ニ參加スルノデアリマシテ、實質的ニハ總動員ニ溶ケ入ルノデアリマス

○作田委員 今ノ御話ハ鐵道省ノ御持チニ
ナッテ居ル鐵道ハ、總動員法ニ謂フ總動員物
資トカ、或ハ業務トカ云フモノノ適用ヲ受
ケナイ、斯ウ云フコトニ承ッテ宜イノデアリ
マスカ、本法ノ適用ヲ受ケルカ受ケナイカ、
斯ウ云フコトニ付テノ御答辯ヲ願ヒタイノ
デス

○中島國務大臣 國有鐵道ハ政府ノ機關デ
アリマスカラ、當然之ヲ發動スル場合ニハ
自主的ニソレニ入ルノデアリマス、其適用ヲ
受ケル受ケナイト云フコトハ問題外デアッ
テ、自主的ニ之ニ入ルノデアリマス

○作田委員 鐵道大臣ニ私ノ法律論ヲ申上
ゲルコトハ、ドウモ御迷惑ト思フノデアリ
マス、鐵道省ノ局長デモ御見エニナレバ宜
イト思フノデアリマスガ、自主的ニ入ルト
云フコトハ、此本法發動ノ折ニ流レ込ムト
云フ風ニ聞エルノデアリマスガ、一國ノ機
能ト云フモノハ、流レ込ム折ニハ流レ込ム
法律ガナレバイカヌ、鐵道大臣ノ氣持デ
流レ込ムダリ、流レ込マナカッタリスルヤ
ウナ問題デハナイノデアリマス、ソレデ本
法ノ適用ヲ受ケルト云フコトニナレバ、受
ケルコトニ付テ私ハ質問ガアル、受ケナイ
ト云フコトニナレバ、受ケナイトシデノ質
問ガアルノデアリマシテ、自主的ニヤルト

仰シヤルガ、自主的ト云フコトハ日本ノ法
律ニハナイ、私ハ法律ニ付テ聽イテ居ルノ
デス、法律關係デ自主的ニ流レ込ムト云フ
ヤウナ法律ハナイ、サウ云フ法律ノ言葉ハ
ナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、
私ハ局長サンデモドナタデモ宜シイ、法律
ノ分ッテ居ル人ヲ出シテ貰ヒタイ

○內田政府委員 鐵道省ノ業務ガ總動員業
務ノ中ニ入ルカ入ラナイカト云フ點ニ於キ
マシテハ、總動員業務ノ中ニ入ルノデアリ
マス、唯適用ヲ受ケルカ受ケナイカト仰シ
ヤイマスガ、其點ハ各條ニ付テ考ヘテ行カ
ナケレバナラス問題デアリマス、例ヘバ收
用使用ト云フ方面カラ申シマスト、勿論國
營ノモノデゴザイマスカラ、收用使用ノ對
象ニハナラナイノデアリマス、是ハ當然デ
アリマス、ソレカラ例ヘバ第四條ノ、總動
員業務ニ從事セシムル爲ニ帝國臣民ヲ徵用
スル、斯ウ云フ總動員業務ト云フ中ニハ、
鐵道省ノ經營スル運輸業ト云フモノハ勿論
入ル、斯ウ云フ關係ニナルノデゴザイマス、
ソレカラ例ヘバ總動員物資ノ中ニ、鐵道用
品ハ入ルカ入ラナイカト云フコトデスガ、
是ハ入ル譯デアリマス、隨テ總動員物資ノ
生産ヲ命ズルト云フヤウナ場合ニハ、鐵道
用品ノ生産ヲ命ズルト云フコトヲ豫定シテ

居リマス、併シ總動員物資ヲ收用使用スル
ト云フヤウナ條文ノ根據ト致シマシテハ、
鐵道用品、鐵道省ノ所管ノ物資ヲ收用スル、
使用スルト云フコトハ勿論考ヘラレナイノ
デゴザイマス

○作田委員 國家ガ國家ノモノヲ收用スル
ト云フコトハ出來ナイデセウ、ソレヲ聽ク
ノデハナイ、詰リ日本ノ鐵道省ノ鐵道ハ、
日本ノ鐵道ノ大部分デアリマス、而モ戰時
ニ際シマシテ、鐵道ト云フモノハ戰捷目的
ヲ達スル上ニ至大ノ關係ガアル、ソレカラ
民有ノ物ハ之ヲ政府ガ收用シ管理スルノデ
アリマス、其折ニ鐵道大臣ハ、内閣ノ色々
ノ協定ハアリマセウケレドモ、法律問題ト
シテ、組織ノ問題トシテ承リマスト、大臣
獨自ノ見解ニ於テヤルト云フコトニナッテ
ハ、他ノ私設鐵道ノ收用トカ、使用トカ云
フコトト喰違ヒガ出來ルノデアリマス、是
ハ當然ナ話デ、議論ハナイノデアリマス、
デアリマスカラ何處カニ出來ル所ノ、例ヘ
バ軍需省ナラ軍需省ナリデ、鐵道省ノ物ヲ
モ同ジヤウニ管理スルト云フコトニスルノ
カ、若クハ全然仲間ニ入レナイト云フノカ、
斯ウ云フコトニ對スル御考ガナケレバナラ
スト思ヒマスガ、之ヲ御聽キスルノデアリ
マス

○內田政府委員 今ノ御尋ハ、鐵道省ノ業務
ガ總動員法施行上ノ組織トシテ、ドウ云フ
コトニナルカ、斯ウ云フ點ニアルト考ヘマ
スガ、其點ハ總動員法ノ執行ニ當ル機關ト
云フモノハ、大臣カラモ御説明ガゴザイマ
シタヤウニ、差當リ各省ノ所管ニ依ッテ決マ
ルノデゴザイマス、隨テ執行機關ト致シマ
シテハ、鐵道ノ輸送關係ニ付キマシテハ、
鐵道省ガ其執行ノ擔任官廳デアリマス、此
全體ノ調整ヲ取リマスルノハ、企劃院ニ於
テ其調整ノ事務ヲ執リマシテ、其間ニ各省
トノ間ノ關係ニ於キマシテ、矛盾ノナイヤ
ウニ致シテ行ク考デゴザイマス、而シテ鐵
道省ト民間鐵道トノ關係、斯ウ云フコトニ
ナリマスト、是ハ鐵道省ガ其運輸上ノ最高
ノ執行機關トシテ責任ヲ持チマシテ、其下
ニ民間ノ鐵道等ヲ使ッテ行ク、斯ウ云フ關係
ガ生ジテ來ルト思ヒマス、尤モ軍需輸送ノ
關係等カラ考ヘマスト、特殊ノ鐵道、或ハ
戰地ニ近イ地域ニ於ケル鐵道ト云フヤウナ
モノハ、軍ニ於テ管理スルト云フヤウナ場
合モ考ヘラレルノデゴザイマス、サウ云フ
特殊ノモノデナイ限りハ、一般ニ鐵道省ニ
於テ執行ヲ擔任シテ、民間鐵道モ含メテ統
制シテ行ク、斯ウ云フ關係ニナリマス

○作田委員 鐵道大臣ガ先刻居ラナカッタモ

ノデスカラ……、先刻軍機ヤ何カノコトヲ御聽キシタ折ニ此問題ヲ述ベレバ宜カッタノデアリマスガ、鐵道大臣ニ御聽キスル積リデ殘シテ置イタノデ、チグハグニナッテ洵ニ長ク時間ヲ費スヤウニナッテ、恐縮デアリマスガ、直グ簡單ニ濟マセマス、私設鐵道ノ管理ヲ鐵道省ガヤルト云フコトハ、先ヅ此法律カラ考ヘナケレバナラス、鐵道監督規程トカ何トカ云フヤウナ、監督局デヤッテ居ル仕事ガアリマセウガ、此規定デハ鐵道省ガヤルト云フコトハ出テ來ナイヤウニ思フノデアリマスガ、運輸ト云フコトハ鐵道ダケデハアリマセヌ、自動車ヤ其他澤山アル、ソシナモノハ鐵道省ガヤルト限ツタコトデハナイ、現ニ私ハ知リマセヌガ、電力案ニ付テ御話ヲ聽キマス、信濃川ノ電力デアリマスガ、鐵道省ノモノハ入レナイト云フコトダサウデアリマス、民間ノモノハ調整シナケレバナラス、統一シナケレバナラスケレドモ、競争線ヲ政府ガ勝手ニ拵ヘテ、發送電會社ヲ拵ヘテ——ソシナ馬鹿ハシナイガ、理窟ハサウデス、總動員法ニ付キマシテハ、總動員法活動ノ場合ニ鐵道ト云フ任務ハ、洵ニ申ス迄モナク重且ツ大ナルモノガアル、此重且ツ大ナル鐵道ガ、個々ノ組織ニドウ云フ風ニシテ入ッテ來ルカト云フ

コトニ付テハ、餘程御研究ニナッテ置カネバナラスモノガアルト思フノデアリマスカラ、茲ニ承ルノデアリマスガ、今ノヤウナ御説明デ其機能ガ動キマスガ、平時ハ兎ニ角——平時ト致シマシテモ、戰時ト致シマシテモ、鐵道ヲ調べサヘスレバ、何ヲ運送シテ居ルカ、ドウ云フ物ヲ出シテ居ルカト云フコトハ皆分ルノデアリマス、サウ云フ所ニ軍機トノ關係ガアル、所謂軍令軍政ト云フヤウナ憲法上ニ關スル問題ガ關聯シテ來ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、モウ少シハッキリシタ御答辯ヲ得タイノデアリマス、重ネテ追究ハシマセヌ、簡單ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○内田政府委員 軍機トノ關係デゴザイマスガ、勿論一口ニ此軍機ト申シマシテモ、軍機軍令、詰リ統帥ノ關係ト云フモノハ、是ハ國務ノ範圍外デアルコトハ申ス迄モナイ、併シ鐵道省デ輸送關係ヲ扱ヒマスル上カラ致シマシテ、軍機事項ニ關聯ヲ持ッテ居ルト云フ事柄ハ無論デアリマス、例ヘバ出兵ノ場合ニ兵隊ノ數ト云フヤウナモノモ鐵道省デハ分リマス、斯ウ云フヤウナ關係モアリマセウト思ヒマス、隨テ軍機ニ直接關係ヲ持ッテ來ル點ガ随分アル譯デアリマスガ、サレバト云ッテ之ヲ軍機ニ關聯シテ居ルカラ、軍ガ直接ヤラナケレバナラス、斯ウ云フ譯ニモ行カナイト思フノデアリマス、モノニ依リマシテ、例ヘバ先程一寸申シマシタガ、戰地ニ近イ地域ニ於ケル鐵道ト云フモノハ、是ハ作戰用兵等ニ密接ノ關聯ヲ持チマスノデ、場合ニ依リマスト軍自體ニ於テ管理シナケレバナラス、斯ウ云フコトモ豫想サレマスケレドモ、サウ云フ特殊ナモノヲ除キマスレバ、一般ニ鐵道省ニ於テ管理ラスル、ソレガ爲ニ其軍機ノ漏洩ヲ防グト云フコトニ付テハ、色々方法ハゴザイマスケレドモ、軍機ヲ取扱フカラト云ッテ、ソレヲ陸海軍デヤラネバナラス、斯ウ云フコトニハナラナイノデハナイカト考ヘマス

○作田委員 是ハ先程司法大臣ガ言ハレテ居ル、統一シテ戰時體制ヲ整ヘルト云フ本法制定ノ目的ヲアタハオ忘レニナッテ居ル、バラ／＼事件ノヤウニ、アレハ鐵道省デアル、是ハ陸軍省デアル、海軍省デアルト云フヤウニナルコトヲ防グ爲メノ本法デアル、其本法ノ説明ニ當テバラ／＼ナ説明ヲサレルト云フコトニナッテハ、是ハ何ニモナラナイ、鐵道ノ問題ハ今後ノ問題デアリマシテ、是ハ人民ノ權利、義務ト云フコトデハナイノデアリマスルケレドモ、先刻私ガ聽キマシタ組織ト云フモノノ御研究ガ少シ足ラナイ、足ラナイカラ鐵道ナンカノコトニ付テノ研究ガ自然出來テ居ラスノデハナイカト云フ疑ガアルノデアリマス、ソレデ私ハ重ネテ茲デ聽イテ居ルノデアリマスガ、是レ以上モウ聽イタッテ仕様ガアリマス——委員長々御迷惑デアリマシタガ、ココデ私ノ質問ハ打切りマス、他日總理大臣ガオ見エニナツタ折ニ、都合ニ依リマシテイマ一點同ヒタイ點ガアルノデアリマスガ、ソレハ序ノ時デ宜シウゴザイマス、私ハ是デ一應打切りマス

○小川委員長 是ニテ散會シマス、明日ハ午前十時ヨリ豫算委員會ニ於テ開會致シマス

午後六時十二分散會